

Shinsei

ラベルパートナー

HALLO **Happy Pri**

for Windows

取扱説明書



ラベルパートナー For Happy Pri

概要

ラベルパートナー For Happy Pri は、抽選設定機能付きラベル作成ソフトです。
(以下、ラベルパートナーと呼びます。)

このラベルパートナーを使用して、印字データの編集・作成・削除を行います。
作成されたデータ(最大40件)は日付・時間項目以外をイメージデータとして
Happy Pri 本体に登録しラベルを発行します。(以下、本体と呼びます。)
また、本体内の印字(登録)データをイメージでパソコンに取り込み、内容の確認をすることができます。
パソコンと本体を接続した状態で作成した印字データのラベルを発行することができます。(印字データ作成中の確認用に利用します。)

ラベルパートナーで使用するフォントは、パソコンに依存します。

パソコン環境の確認

ラベルパートナーは、下記の環境で実行できます。ご確認下さい。

- OS: WindowsXP、WindowsVista、Windows7、Windows8
CPU: 32ビット版、64ビット版に対応
- メモリ: 256MB以上(WindowsVista、Windows7、Windows8は1GB以上)
- ハードディスク: 200MB以上
- 解像度: 1024×768以上(画面の色は16ビット以上)

本体と通信するには、Happy Pri 用のUSBドライバをインストールする必要があります。

* USB-HUBを利用する場合、通信できない可能性があります。

インストール方法は、本書のインストール手順書を参照して下さい。

起動方法

ラベルパートナー For Happy Pri のCDからラベルパートナーを正常にインストールした後、ラベルパートナーを起動する方法

1. デスクトップ上のショートカットからの起動
ラベルパートナーをインストールすると、デスクトップ上に【Happy Pri Partner】というショートカットが作られます。



このアイコンをダブルクリックするとラベルパートナーが起動します。

2. スタートメニューからの起動
【スタート】→【すべてのプログラム】→【Shinsei】→【Label Partner For Happy Pri】→
Happy Pri Partner をクリックするとラベルパートナーが起動します。

目次

1、使用する為の準備	6
1-① 製品の確認	6
1-② 本体の準備	6
1-③ 本体とパソコンの接続準備	6
2、ラベルパートナーとUSBドライバのインストール	7
2-① ラベルパートナーのインストール手順 (Windows XP)	7
2-② ラベルパートナーのインストールの確認	11
3、ラベルパートナーを起動	18
4、操作画面(メイン画面)	19
5、データ作成	20
5-① ラベルパートナーを起動	20
1 ショートカットからラベルパートナーを起動	20
2 ラベルパートナー表示の拡大・縮小	20
3 ラベルパートナーのファイルを開く	20
4 開いたテンプレートファイルイメージ表示	21
5-② データ作成	21
1 品名の作成	21
2 消費期限 文字の作成	22
3 消費期限 カレンダー 日付の作成	22
4 消費期限 カレンダー 時間の作成	23
5 量目作成 1パック	24
6 価格 ¥350 の作成	24
7 画像イメージデータの作成	25
8 会社名データの作成	27
9 QRコードの作成	27
10 住所データの作成	29
11 住所 数字データの作成	30
12 電話番号データの作成	31
13 四角枠の作成	31
14 線の作成	33
15 データの移動	34
16 データの保存	35
○データタブ	36
① データ名称	36
② データタブ表示記号	36
③ データタブの移動	37
④ データタブのプロパティ	38
6、項目一覧	40
7、テンプレート	42
① ラベルパートナーの起動	42
② ラベルパートナー表示の拡大・縮小	42
③ テンプレートファイルを開く方法	43
④ テンプレートファイルの選択	43
⑤ テンプレートファイルのプレビュー	43
⑥ テンプレートファイルの決定	44
⑦ データの保存	45
⑧ テンプレートファイルの種類	45

8、印刷設定	46
8-① 印刷設定	47
1 印刷設定 データタブから	47
2 印刷設定 編集から	48
3 印刷設定 ラベルイメージから	48
4 印刷設定 テンプレートから	49
8-② 印刷設定(詳細設定)	50
1 印刷設定 データ名	51
2 印刷設定 ラベル幅	51
3 印刷設定 ラベル長	51
4 印刷設定 ラベルタイプ	51
5 印刷設定 ラベルギャップ	52
6 印刷設定 印字濃度	52
7 印刷設定 発行モード設定	52
8 印刷設定 剥離モードの操作	52
9 印刷設定 発行枚数画面を表示	52
8-③ 印刷設定 オプション(印字動作などに関する設定)	53
1 印刷設定 連続モードの送り量	53
2 印刷設定 剥離モードの送り量	53
3 印刷設定 ラベルの出し方向	53
4 印刷設定 印字位置調整	54
5 印刷設定 初期値に戻す	54
6 印刷設定 センサー設定	55
7 印刷設定 印字速度	55
9、ツールボックス	56
9-① 文字	57
1 名前	58
2 フォントタイプ	58
3 フォントサイズ	58
4 プレビュー	58
5 フォント形状 太字・斜体・反転・白抜き	59
6 文字の高さ・幅	59
7 文字の回転	60
8 文字の間隔	60
9 フォント設定の初期値に戻す	60
10 データ	61
11 テキストボックス	61
12 ナンバーリング	63
13 印字	64
14 OK・キャンセル ボタン	64
9-② バーコード【一次元バーコード】	65
1 名前	66
2 種類	66
3 高さ	66
4 モジュール幅	67
5 拡大率	67
6 回転	68
7 付帯文字	68
8 付帯文字の配置	69
9 データ	69
10 プレビュー	71
11 NONPLU・プライスチェック・CD	71
12 印字	73
13 OKボタン・キャンセルボタン	73

9-③ 2次元コード【QR・GS1・PDF417】	74
QRコード	74
1 名前	74
2 回転	54
3 種類	75
4 オプション	75
5 データ	76
6 プレビュー	76
7 印字	76
8 OKボタン・キャンセルボタン	76
GS1 DataBar	77
3 種類	77
4 オプション	77
5 データ	77
6 プレビュー	78
7 印字	78
8 OKボタン・キャンセルボタン	78
PDF417	79
3 種類	79
4 オプション	79
5 データ	79
6 プレビュー	80
7 印字	80
8 OKボタン・キャンセルボタン	80
9-④ 価格 価格データ	81
1 通貨記号	82
2 通貨記号と価格フォントの比率	82
3 データ	83
4 カンマ区切り	83
9-⑤ 日付 日付データ	84
1 設定 日付・時刻の選択	86
2 フォーマット 日付・時刻	86
3 区切り 日付・時刻	87
4 固定 日付・時刻	88
5 補正 日付・時刻	90
6 曜日設定	91
7 暦設定	91
8 全て全角にする 日付・時刻	92
9 時刻設定 時間システム	92
9-⑥ イメージ イメージデータ(リサイクルマーク画像など)	93
1 開く	94
2 取込み	94
3 縦横比を固定する	95
4 元のサイズを基準にする	95
9-⑦ 図形 四角枠・円形枠	96
1 図形を設定	96
2 形状変更	96
3 四角形 正方形	97
4 四角形 角R四角形	97
5 円形枠 楕円	98
6 円形枠 円形	98
9-⑧ 線 直線・斜線	99
1 線を引く	99
2 正確な直線	100
3 線のタイプ	100
4 線の太さ	101

10、メニューバー	102
10-① ファイル	102
1 ファイル 名前を付けて保存	102
2 ファイル データの追加読込	103
3 ファイル サンプル取得	104
4 ファイル 最近使ったファイル	106
5 ファイル セキュリティ設定	107
10-② 編集	108
1 編集 クローン	109
2 編集 すべて選択	110
3 編集 画像の元サイズに戻す	111
4 編集 グループ	112
5 編集 プロパティ	116
6 編集 背景イメージ取込み	117
10-③ 表示	119
1 表示 拡大・縮小	119
2 表示 ウィンドウに合わせる	120
3 表示 ラベルのグリッド表示	120
4 表示 ラベルマージンの表示	121
10-④ 挿入	122
10-⑤ プリンタ	122
1 プリンタ 全データをプリンタに登録	123
2 プリンタ プリンタの各データの確認	124
3 プリンタ 表示中データを追加登録	125
4 プリンタ プリンタ情報を取得	126
5 プリンタ プリンタ設定	127
6 プリンタ データを発行	129
7 プリンタ プリンタの全データをクリア	130
8 プリンタ 発行履歴取得	130
10-⑥ ヘルプ	131
11、ツールバー	132
11-① 新規	133
1 新規 データを追加	133
2 新規 ファイル新規作成	133
11-② ファイルを開く 既存のファイルを開く	134
11-③ 上書き保存	134
11-④ 簡単イメージ化で保存	135
11-⑤ 切り取り	136
11-⑥ コピー	136
11-⑦ 貼り付け	136
11-⑧ 削除 選択データを削除	136
11-⑨ 元に戻す・やり直し	137
11-⑩ ラベルイメージ表示 拡大・縮小	137
11-⑪ ラベルイメージ表示 ウィンドウサイズに合わせる	137
11-⑫ 全データをプリンタに登録	137
11-⑬ データを発行 画面上のデータのオンライン発行	138
11-⑭ 抽選設定	139
1 確率による抽選設定	139
2 枚数による抽選設定	143
11-⑮ ナンバリング	147
11-⑯ データの左右方向揃え【縦軸】	148
1 データ左揃え	148
2 データ中央揃え	148
3 データ右揃え	149

11-⑰	データの上下方向揃え【横軸】	149
1	データ上端揃え	149
2	データ中央揃え	150
3	データ下端揃え	150
11-⑱	データ間、横・縦の間隔の均等【3データ以上選択時】	151
1	データ間の横間隔均等	151
2	データ間の縦間隔均等	151
11-⑲	データの順序	152
11-⑳	選択データのロック(移動禁止)	153
11-㉑	フォントサイズ拡大・縮小	154
12、	スケールバー	155
12-①	表示倍率	156
12-②	データの座標位置	157

1、使用する為の準備

製品をご使用になる前に以下の準備を確実に行って下さい。

1-① 製品の確認

インストール前に以下の製品をご用意下さい。

- ラベルパートナー取扱説明書(本書)
- 本体
- ラベルパートナー For Happy Pri インストーラCD
- USBケーブル(mini-B)

1-② 本体の準備

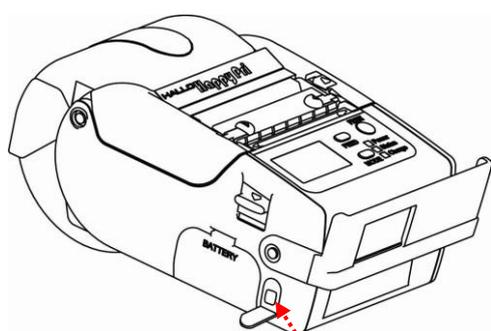
Happy Pri 本体の取扱説明書を参照して下さい。

1-③ 本体とパソコンの接続準備

パソコンと本体をUSBケーブル(mini-B)で接続できる状態にしておきます。

※ 注

ラベルパートナーをインストールする際は、パソコンと本体をUSBケーブル(mini-B)で接続しないで下さい。後のインストールの確認の手順で接続します。



本体左側面

DC入力端子



本体右側面

USB用コネクター

2、ラベルパートナーとUSBドライバーのインストール

※Windows(64ビット版)は、ページ12以降をお読み下さい。

※インストールには、管理者権限が必要です。

2-① ラベルパートナーのインストール手順 (WindowsXP)

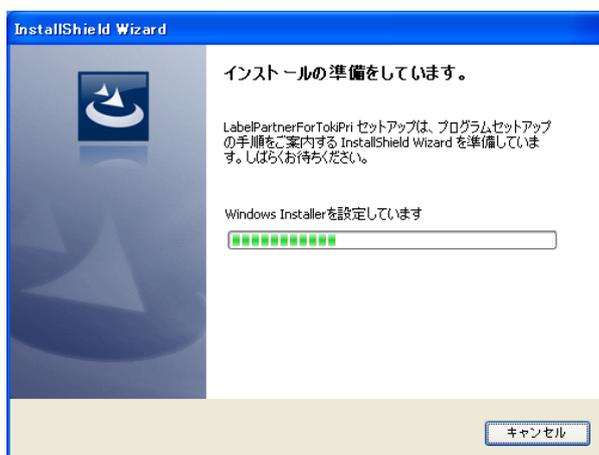
※ Windows各バージョンのインストール画面はほぼ同じですので、WindowsXPの画面で説明します。

※ **はじめに起動中のアプリケーションは全て終了して下さい。**



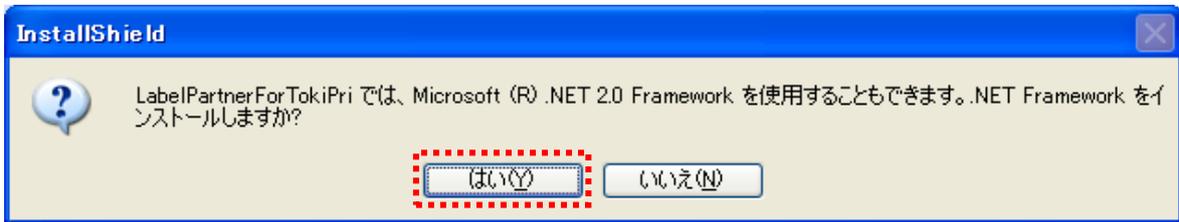
インストールCD-ROMをパソコンにセットすると、上記画面が表示されます。
※インストール前に取扱説明書をお読み下さい。必要に応じてプリントの上、参照下さい。
取扱説明書はPDFファイルとなります。必要に応じてAdobeReaderをインストールして下さい。

① 【Happy Pri パートナーをインストール】をクリックします。



② 必要なファイルを解凍中

※ 注：ラベルパートナーのインストーラを起動しますので、パソコンにより多少時間がかかります。

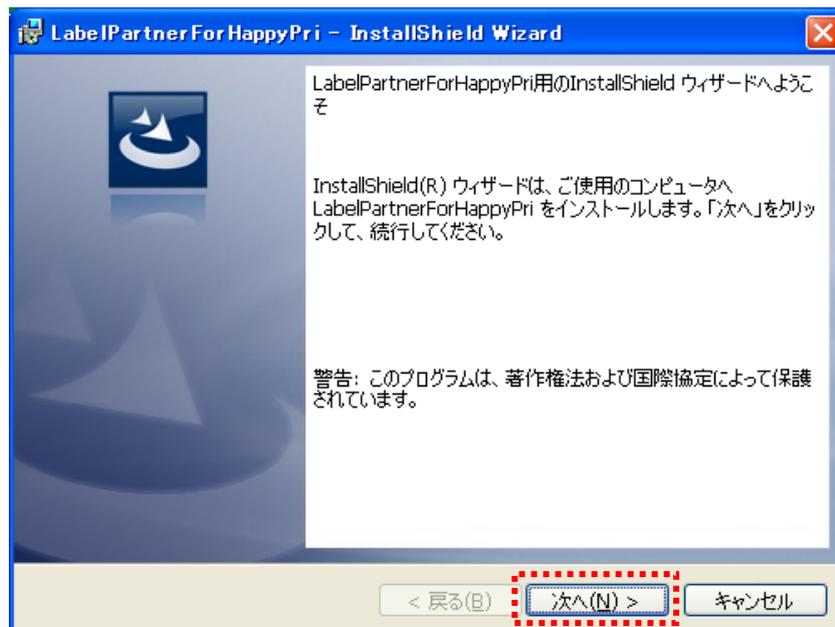


ラベルパートナーは .NET 2.0 Frameworkを利用しますので、.NET 2.0 Frameworkのインストール画面が出ます。

- ③ この表示が出ましたら、必ず【はい】をクリックします。
※【いいえ】をクリックすると、ラベルパートナーをインストールしてもエラーとなります。

※既に、.NET 2.0 Frameworkをインストール済みのパソコンには、上記の画面は表示されません。

※Windows VistaとWindows 7は、.NET Frameworkを搭載していますので、上記の画面は表示されません。



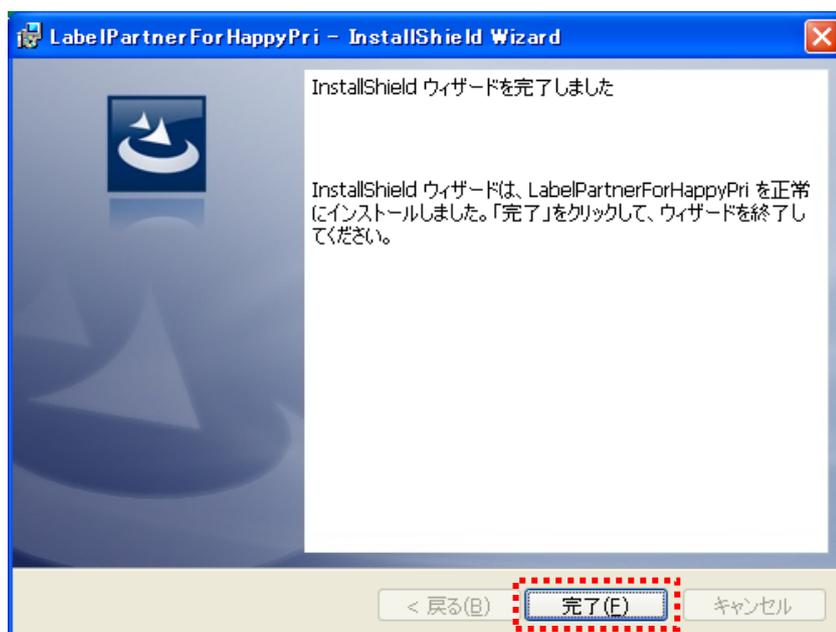
- ④ 【次へ】をクリックします。





- ⑤ ※パソコンとプリンターを接続しないで下さい！
【インストール(I)】をクリックします。

インストールの動作となります
インストール中です、暫くお待ち下さい。



- ⑥ 【完了(F)】をクリックします。
これで、ラベルパートナーとUSBドライバーのインストールが完了しました。



⑦この画面が表示される場合は、【はい】をクリックして再起動してください。



※Windows VistaとWindows 7の場合は、ラベルパートナーのCDをセットした際に、左記の画面が表示される場合があります。「guide.exeの実行」をクリックするとラベルパートナーのインストールメニュー画面が表示されます。インストール手順は、XPと同様です。

☆注☆

Windows Vista の場合、ラベルパートナーをインストール中に「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセス要求をしています」と2回表示されます。

(これは、Windows Vista のユーザーアカウント制御(UAC)が有効な場合となります。)

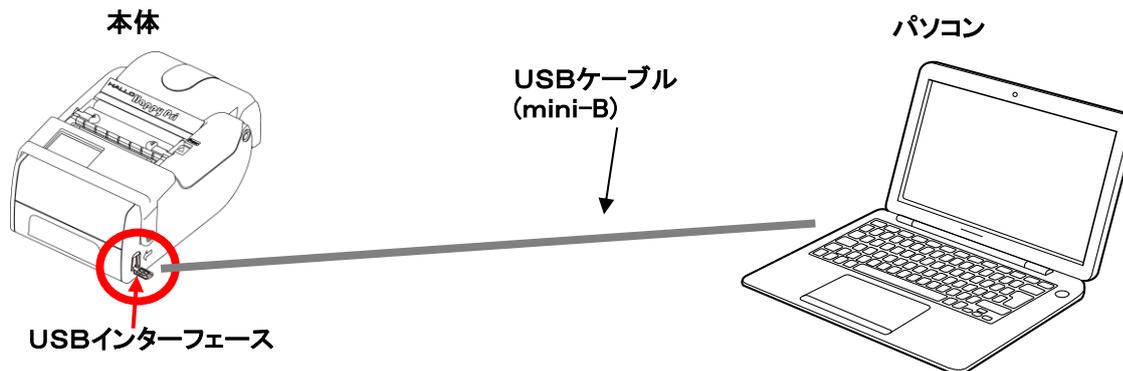
この場合は、【キャンセル】か【許可】かの選択ができますので、2回とも【許可】をクリックしてください。インストールが続行されます。

※この表示が出た後、約1分ほど放置しますと、自動的に【キャンセル】されますので、この表示が出ましたら速やかに【許可】をクリックしてください。

※Windows 7の場合は、Windows Vista とほぼ同じ画面が表示されます。同じく、【許可】をクリックしてください。

2-② ラベルパートナーのインストールの確認

※ 正常にインストール出来たかの確認 簡易確認方法

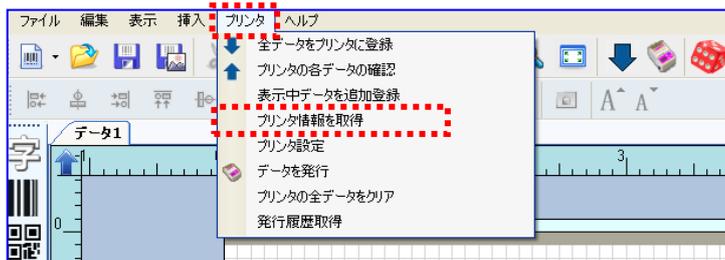


① USBケーブル(mini-B)で本体とパソコンをつなぎます。

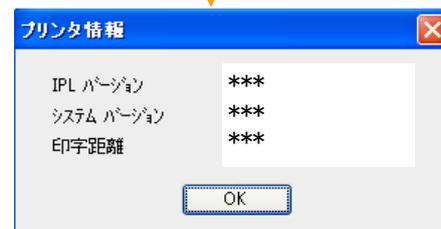
② 本体の電源を入れます。

09/01/07/ 19:16
サンプル・お買上

※ ラベルパートナーの初期画面となります。
この画面でパソコンとの通信、ラベルの発行を
する事が出来ます。



③ラベルパートナーを開き、【プリンタ】→
【プリンタ情報を取得】をクリックします。



④ プリンタのバージョンが表示されれば
インストールは完了です。
OKボタンをクリックします。

⑤ 3、ラベルパートナーを起動に進んで
下さい。



※左図のようなエラーメッセージが表示されたら、もう一度、上記①～③
までの項目を確認の上、左図のエラーメッセージの【再試行】をクリック
して下さい。

それでも、左図のようなエラーメッセージが表示された場合は、USB
ドライバーが正常にインストールされていない可能性があります。

※その場合は、付属CD→「UsbDriver」→「USBドライバー手動イン
ストール説明書.pdf」をご参照してインストールして下さい。

ラベルパートナーとUSBドライバーのインストール Windows(64ビット版)の場合

1 インストール手順

※インストールには、管理者権限が必要です。

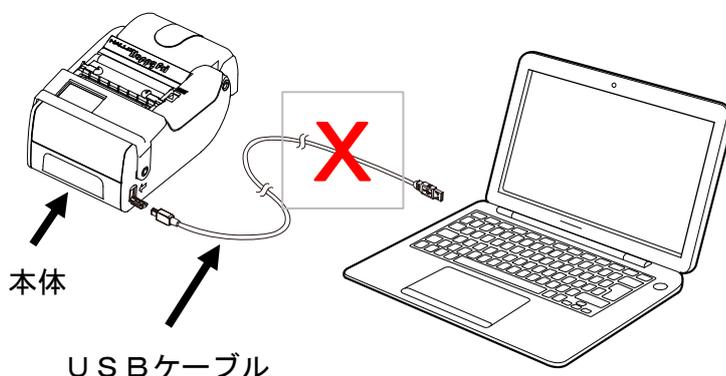
※旧バージョンのラベルパートナーをアンインストール後、新バージョンをインストールしてください。

※起動中のアプリケーションは、全て閉じてください。

★注★

ラベルパートナーをインストールする時は、パソコンと本体を通信ケーブル(USBケーブル)で接続しないでください。

※USBケーブルの接続は、後の手順で行います。



- A ラベルパートナーのCDをパソコンにセットします。
すると、右のようなインストールメニュー画面が表示されます。

↓
【Happy Pri パートナーをインストール】をクリックしてください。

※インストール前に取扱説明書(本書)をお読みください。
取扱説明書は、PDFファイルになっています。
必要に応じてAdobe Readerをインストールしてください。



★注★

ラベルパートナーとCDをセットした時に、右画面が表示される場合があります。

↓
「guide.exeの実行」をクリックしてください。
インストールメニュー画面が表示されます。

※ラベルパートナーのCDを入れても反応しない場合は、CDドライブを開いて【guide.exe】をクリックして実行してください。

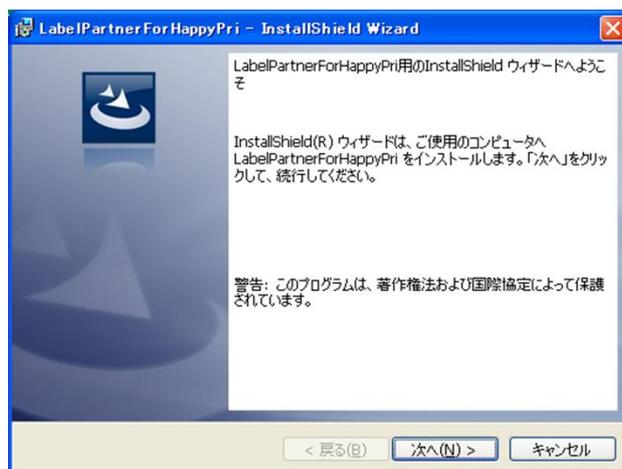


B 必要なファイルを解凍中

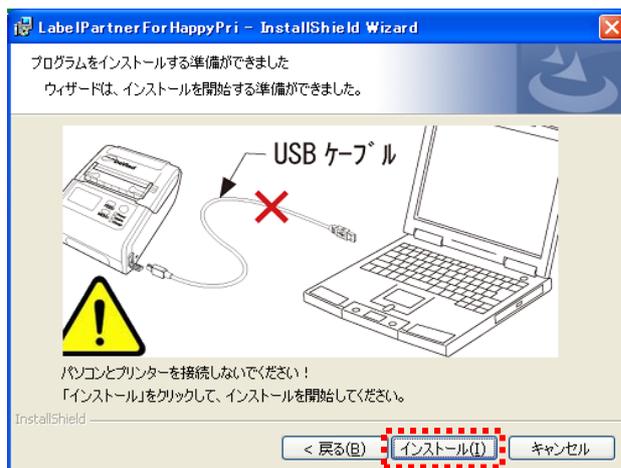


※ 注：ラベルパートナーのインストーラーを起動しますので、パソコンにより多少時間がかかります。

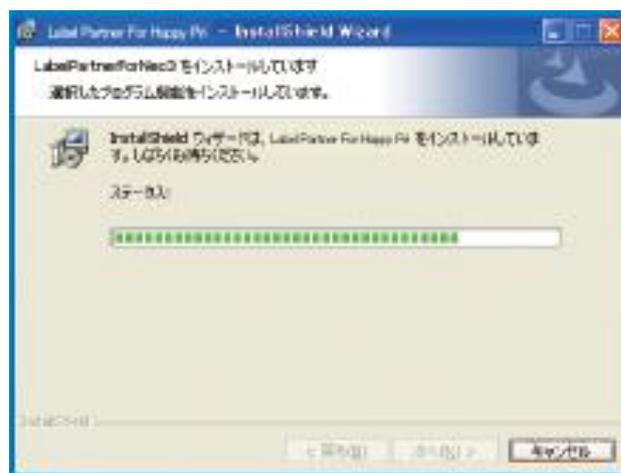
C ウィザード画面が表示されますので、【次へ】をクリックしてください。



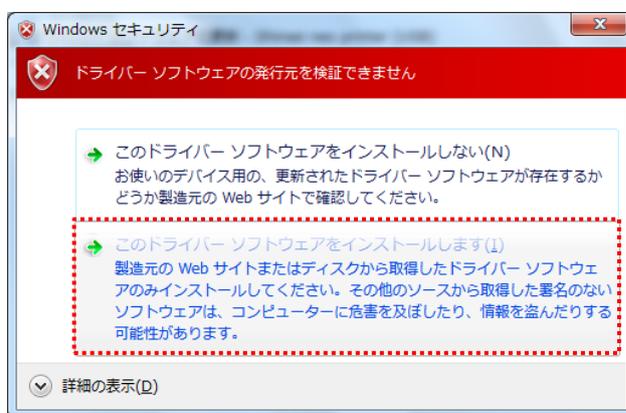
- D インストール画面が表示されますので、【インストール】をクリックしてください。



- E インストールが開始されます。しばらくお待ちください。



- ★注★
インストール中に右のような画面が表示される場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

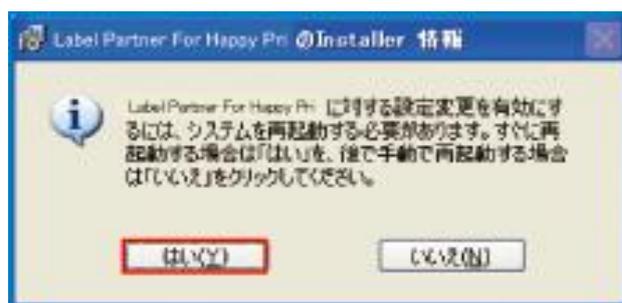


F 【完了】をクリックします。



★注★

この画面が表示される場合は、【はい】をクリックして再起動してください。



★注★

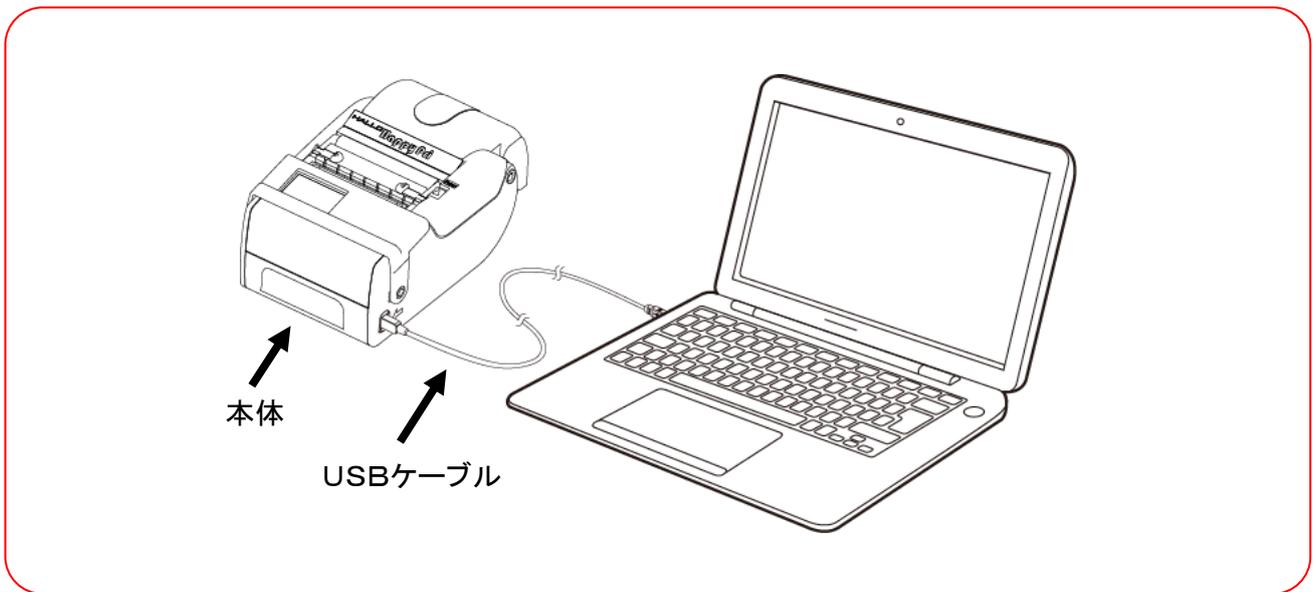
ラベルパートナーをインストール中に「認識できないプログラムが、このコンピューターへのアクセス要求をしています」と2回表示される場合があります。

(これは、Windows7のユーザーアカウント制御(UAC)が有効な場合に表示されます。)

この場合は、【キャンセル】か【許可】かの選択ができますので、2回とも【許可】をクリックしてください。インストールが続行されます。

※この表示がされた後、約1分ほど放置しますと、自動的に【キャンセル】されますので、この表示がされたら速やかに【許可】をクリックしてください。

- G パソコンと本体を通信ケーブル(USBケーブル)で接続してください。
※USB-HUBを利用する場合、通信できない可能性があります。

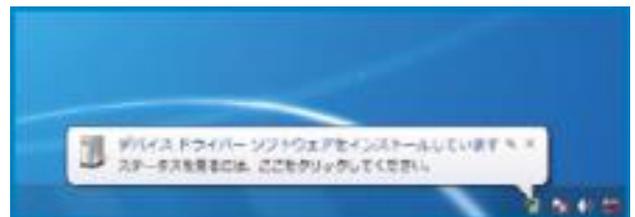


- H 本体の電源をONにします。
すると、初期画面を表示し通信状態になります。

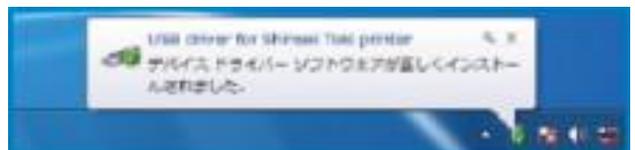
↓
自動的にインストールを開始し、パソコンの右下の画面に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示されます。



- ※パソコンの状況によって、インストール時間が2~3分かかる場合があります。
※別なUSBポートで通信する場合も、自動的に再インストールされます。



- I パソコンの右下の画面に「デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されましたらインストール完了です。

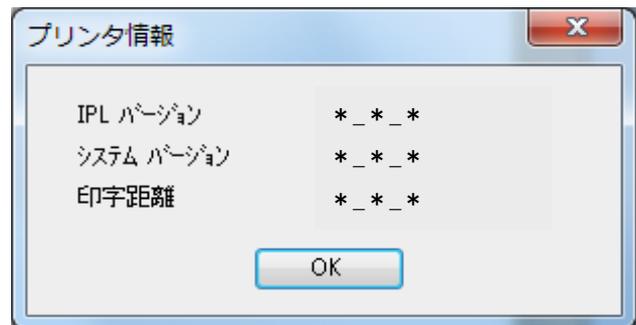


2 正常にインストールされているかの確認

A ラベルパートナーを起動させ、メニューバーの【プリンタ】から【プリンタ情報を取得】をクリックします。



※右のようなプリンタ情報を表示すれば、正常にインストールされています。



★注★

右のような表示が出ましたら、通信ケーブル(USBケーブル)が正しく接続されているか、あるいは、本体の電源がONの状態初期画面を表示しているかの確認をもう一度行ってOKボタンをクリックしてください。

再度、やり直してください。



3、ラベルパートナーを起動

ラベルパートナーの起動は、下記の三通りの方法があります。

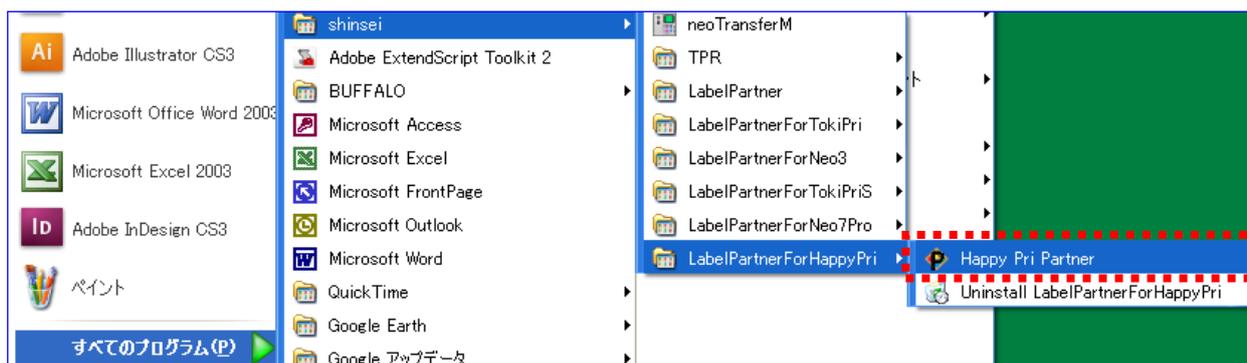


① デスクトップのショートカットをダブルクリックする方法。



② データファイルのアイコンをダブルクリックする方法。
(データがある場合)

③ 【スタート】→【すべてのプログラム】→【Shinsei】→【Label Partner For Happy Pri】→Happy Pri Partner項目をクリックする方法。

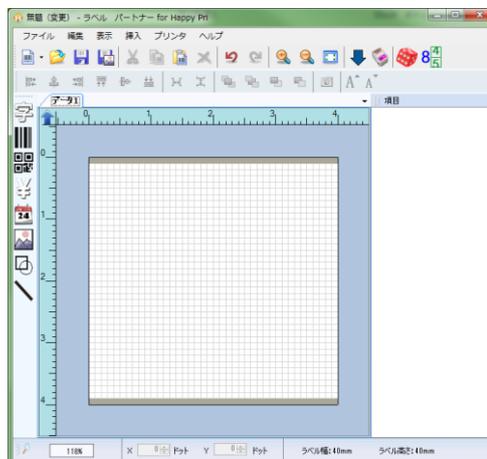


起動画面



※注: パソコンのスペックにより、多少時間が掛かります。

メイン画面



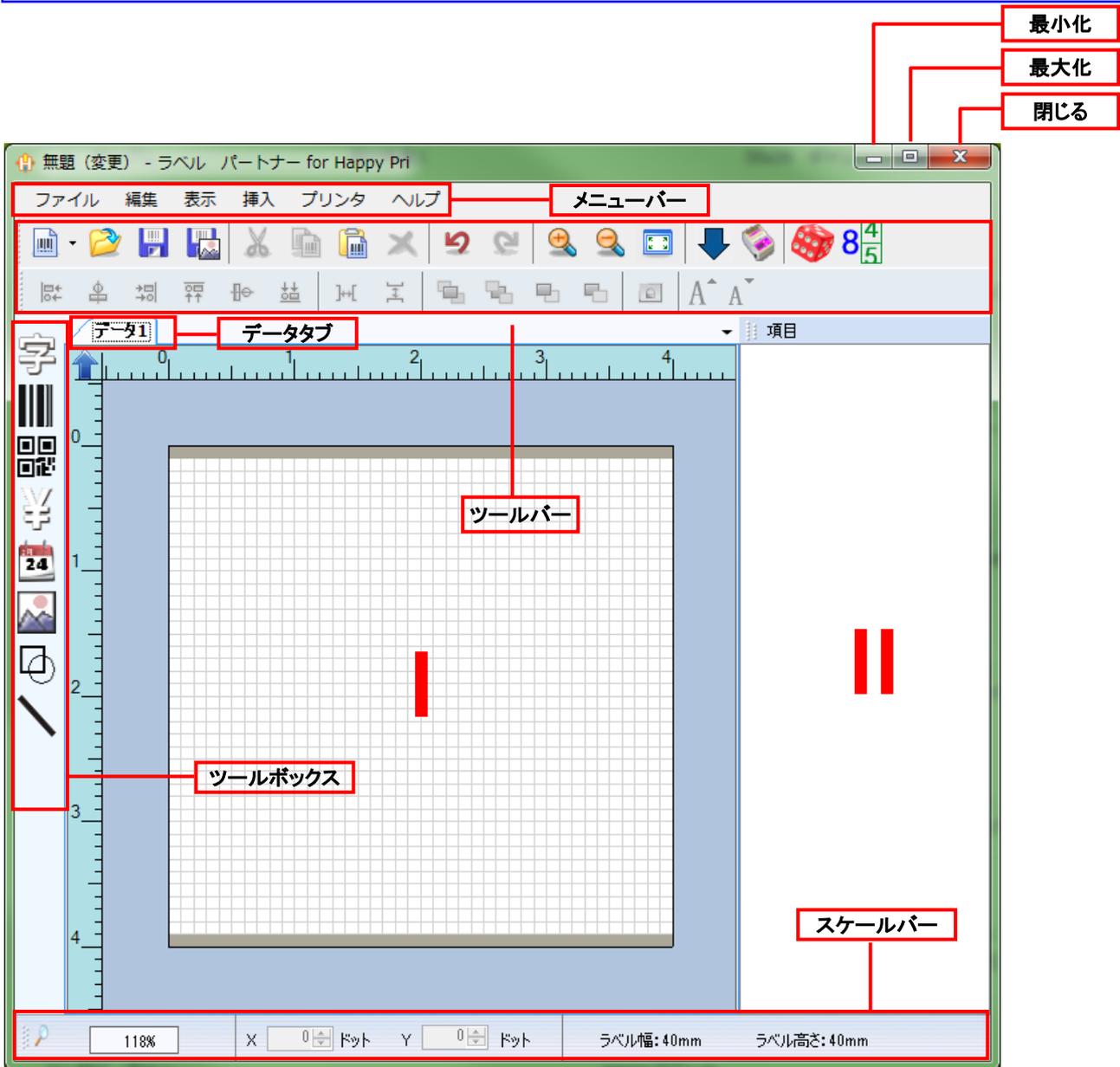
自動

多重起動の画面:ラベルパートナーを多重に起動した場合は下記の警告画面が表示されます。



※注: 多重起動は、禁止されています。

4、操作画面（メイン画面）



I データ作成・編集エリア（データ作成・編集時の表示）

1ファイルには、40件までデータ作成可能（データタブで表示されます。）

メニューバーの編集、またはデータタブをクリックしラベルサイズを選択（設定）後、**8、ツールボックス**より選択された各項目の設定・データを作成の上、このエリアに置きます。

表示されているラベルイメージに作成したデータの印字イメージが表示されます。

※表示しているグリッド線は1マス1mmで表示されます。データ作成・編集時の目安となります。

この表示はイメージで、実際に本体で発行したラベルとは多少異なります。

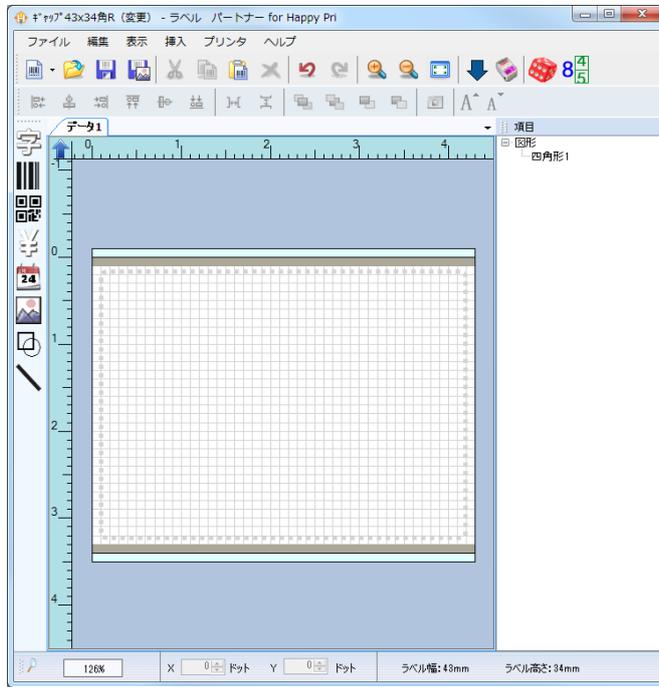
II 項目エリア

8、ツールボックスにより作成されたデータ項目が **I** の表示エリアに表示されます。

表示されたデータ項目は、項目覧に追加され、項目をクリックすると **I** の表示エリア中の該当項目が点線囲い、青線で表示されます。

該当項目の移動、項目の設定値の変更などをする時に利用できます。

①-4



①-4

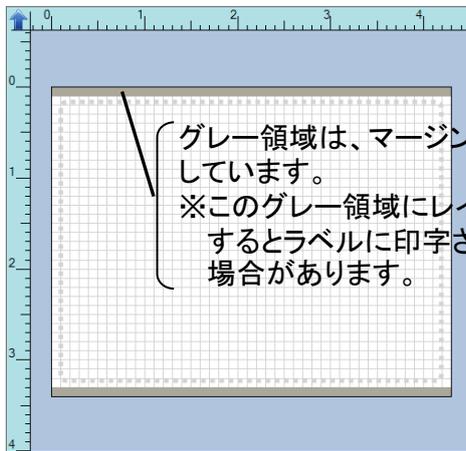
43x34無地ラベルが開きました。
ラベルの拡大率126% パートナーの画面が小さく操作しにくければ前項の手順でサイズを変更します。

※このラベルには四角の外枠が書かれています。

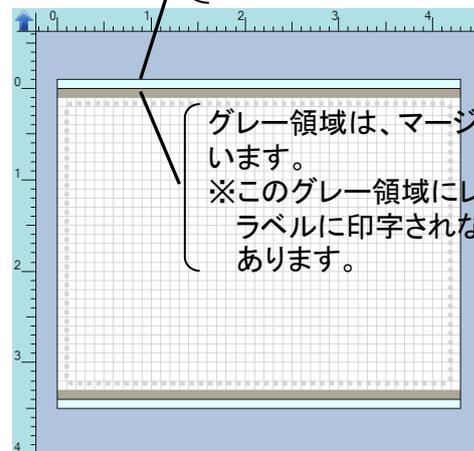
次項より枠を消して例題のサンプルを作成します。

※以降、全体の画面は省略します。

ライトブルー領域は、ラベルタイプがギャップラベルの場合に表示され、ギャップ幅を表示しています。
※裏マークの場合は、表示されません。



グレー領域は、マージンを表示しています。
※このグレー領域にレイアウトするとラベルに印字されない場合があります。



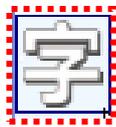
グレー領域は、マージンを表示しています。
※このグレー領域にレイアウトするとラベルに印字されない場合があります。

【ラベルタイプ：裏マーク】

【ラベルタイプ：ギャップ】

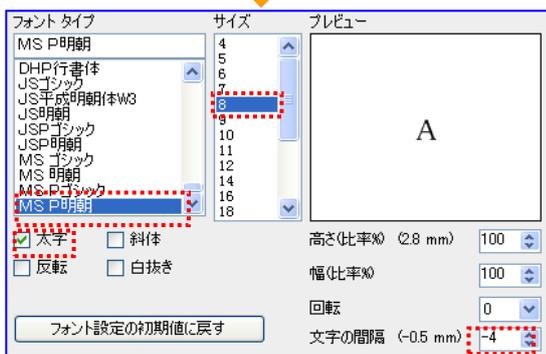
5-② データ作成

②-1

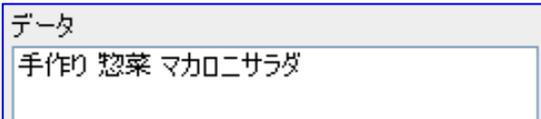


②-1 手作り お惣菜 マカロニサラダ

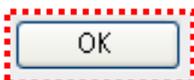
文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



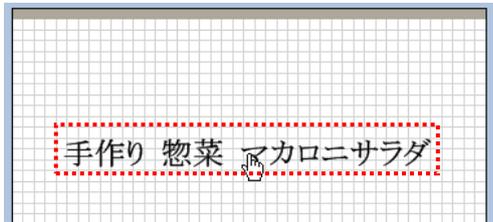
フォントタイプMSP明朝、サイズ 8、太字にチェック、文字の間隔-4を設定します。



「手作り(半角スペース)惣菜(半角スペース)マカロニサラダ」と文字を入力します。



OKボタンをクリックします。

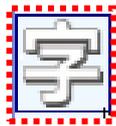


ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

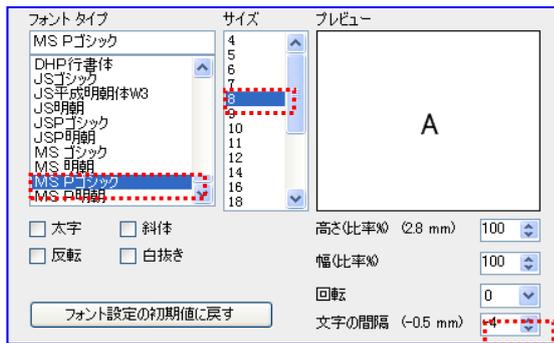


イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

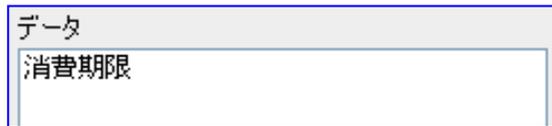
②-2



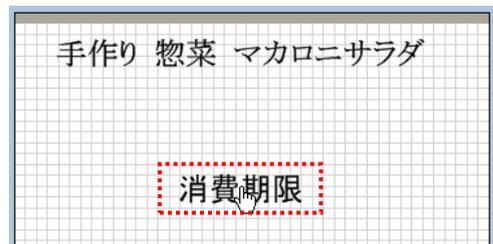
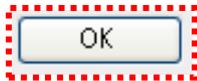
②-2 消費期限の文字
文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



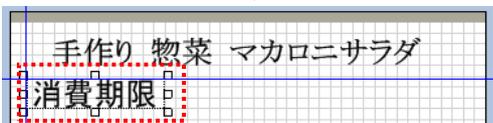
フォントタイプMSPゴシック、サイズ8、文字の間隔-4を設定します。



「消費期限」と文字を入力し、OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

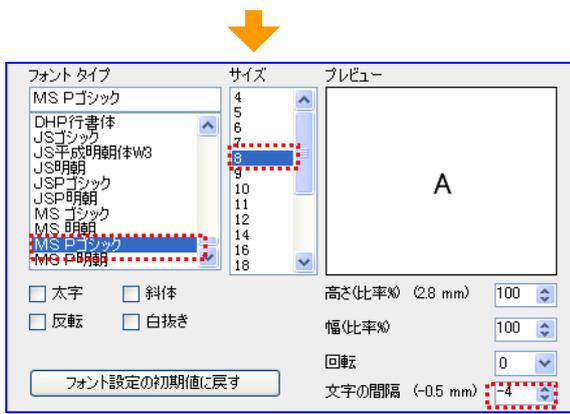


イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

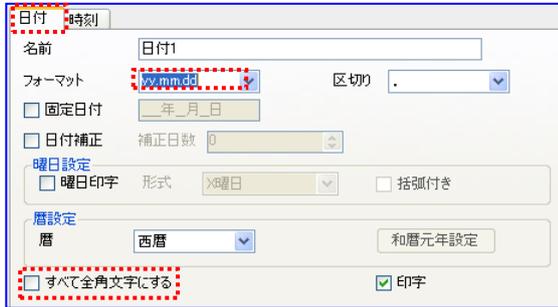
②-3



②-3 消費期限と時間（日付・時間）
年号2桁の日付、期限12時間補正(加算)
日付と時刻項目を追加アイコンをクリックして、日付項目のプロパティを開きます。

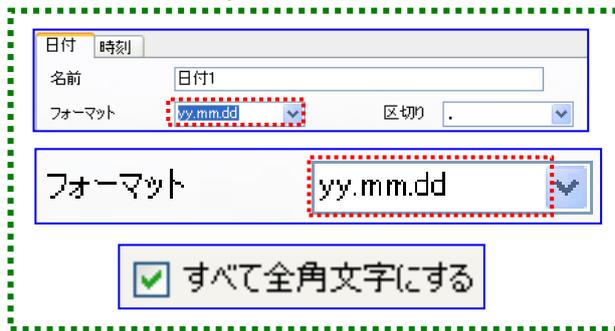


フォントタイプ**MSPゴシック**、サイズ**8**、文字の間隔**-4**に設定します。



日付項目のフォーマット入力設定窓内の**Vボタン**をクリックして**yy. mm. dd**を選択し、全角文字にします。

②-4



②-4 カーソルをフォーマット入力設定窓内の**Vボタン**をクリックして**yy. mm. dd**を選択して**すべて全角文字にする**に**チェック**を入れます。



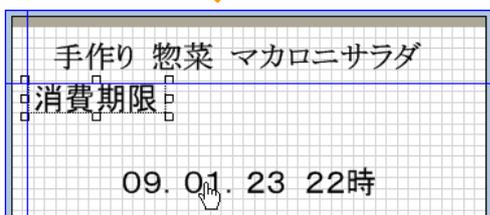
時刻タブをクリックして、補正単位を時に選択して補正数(加算時間)を**12時間**にし、**時間**項目を全角文字に印字します。



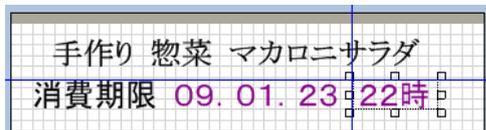
時間補正に**チェック**を入れると補正数と補正単位(時間または分)の入力窓が**開きます**。補正単位を時に選択して、**△Vボタン**または**直接入力**し、**すべて全角文字にする**と印字に**チェック**を入れます。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成した**データが表示され**、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。
日付項目と時刻項目は別々になります。



イメージ上に置き、ドラッグして移動します。



日付と時刻項目がリンク(関連付け)され、同色で表示されます。
同色の日付・時間項目は位置を変更してもリンク(関連付け)は維持されます。
※時間補正をして日付が離れていても日付は補正された時刻に連動します。
日付のみ・時刻のみの場合は黒色で表示されます。

②-5



②-5 1パックの文字
文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



フォントタイプMSゴシック、サイズ 8、文字の間隔 -4を設定します。

「1パック」と文字を入力します。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

②-6



②-6 価格(¥350)
価格を追加アイコンをクリックして、価格項目のプロパティを開きます。

Font settings dialog box. The font type is set to HGS創英角ポップ体, size 11, and character spacing is set to -4. The preview shows the letter 'A'.

フォントタイプHGS創英角ポップ体、サイズ11、
文字の間隔-4に設定。
通貨記号¥、価格との比率80%

通貨記号 ¥ 通貨記号と価格の比率 50%

通貨記号はVボタンで、記号の価格との比率は^Vボタンまたは直接入力します。

通貨記号 ¥
データ 9999
通貨記号と価格の比率 80%

通貨記号はVボタンをクリックし選択します。
価格との比率は^Vボタンで選択するか直接入力します。

データ 9999 カンマ区切り 印字

初期値の9999を消して350と入力します。
※カンマ区切りが必要な場合はチェックを入れます。

データ 350

OK

OKボタンをクリックします。

手作り 惣菜 マカロニサラダ
消費期限 01時 09. 01. 24
1パック
¥350

ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

手作り 惣菜 マカロニサラダ
消費期限 09. 01. 24 01時
1パック ¥350

イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

②-7



②-7 イメージデータを作成
イメージを追加アイコンをクリックして、
イメージ項目のプロパティを開きます。



開くボタンをクリックして、取込みます。
画像ファイルを開きます。

この画像は例題用のShinseiのロゴとなります。



画像ファイルを指定して開くボタンをクリックします。



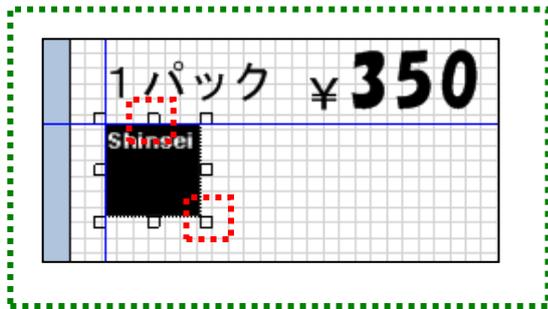
画像が取込みました。OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成した
データが表示され、ラベルイメージ上に置くことが
できます。
※データの配置は、ドラッグして移動します。



イメージ上に置き、ドラッグして移動します。



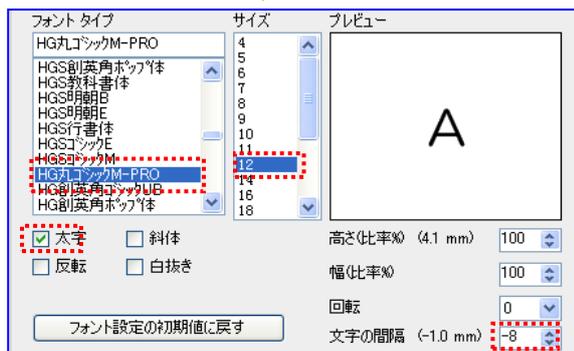
イメージの □ マーク をドラッグして
イメージの拡大・縮小ができます。
※移動、拡大縮小以外の調整はできません。

②-8

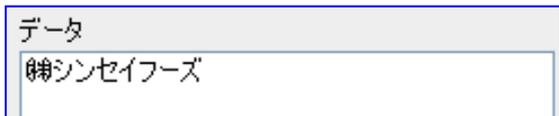


②-8 (株)シンセイフーズの文字

文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



フォントタイプHG丸ゴシックM-PRO、サイズ 12、
太字にチェック、文字の間隔-8を設定します。



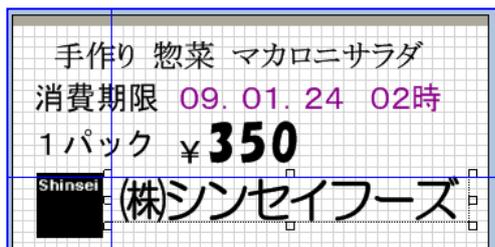
「(株)シンセイフーズ」と文字を入力します。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成した
データが表示され、ラベルイメージ上に置くことが
できます。
※データの配置はドラッグして移動します。



イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

②-9



②-9 QRコード設定

2次元コードを追加アイコンをクリックして、
2次元コード項目のプロパティを開きます。

オプションボタンをクリックして、エラー訂正レベル、セルサイズを設定します。

※種類にはQRコード・DataBar(RSS)・PDF417がありますが、初期はQRコードなので選択しません。

通貨記号はVボタンをクリックし選択します。
価格との比率は^Vボタンで選択するか直接入力します。

エラー訂正レベルは、Vボタンをクリック、セルサイズは、^Vボタンで選択するか直接入力します。

例題どおりに訂正レベル L、セルサイズ 2 設定入力後、OKボタンをクリックします。

※訂正レベル(%)が大きくなるほど、セルサイズが大きくなるほど印字するQRコードは大きくなりますが、読み取りは良くなります。

例題として、
「毎度お買上げありがとうございます。
毎日新鮮な農家直送の材料を使い
手作りしている商品です。
安心してお召し上がり下さい。」
と入力します。

入力する度に、プレビュー表示のQRコードが変化します。

設定、入力後 OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したQRコードが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

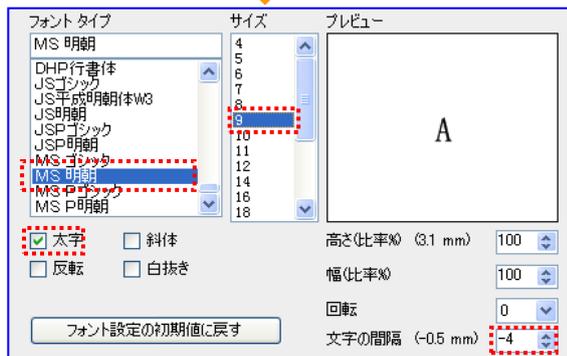


イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

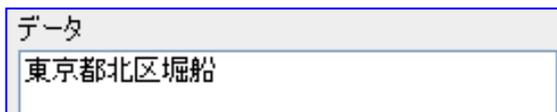
②-10



②-10 住所の文字
文字を追加ボタンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



フォントタイプMS明朝、サイズ9、太字にチェック、文字の間隔-4に設定します。



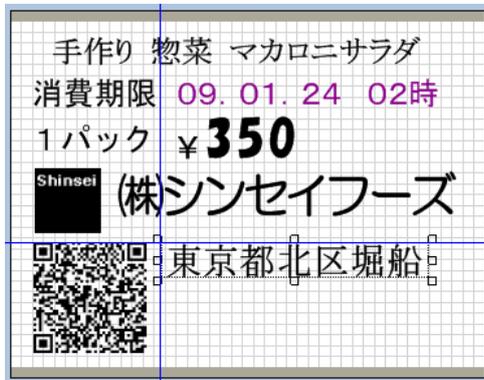
「東京都北区堀船」と文字を入力します。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

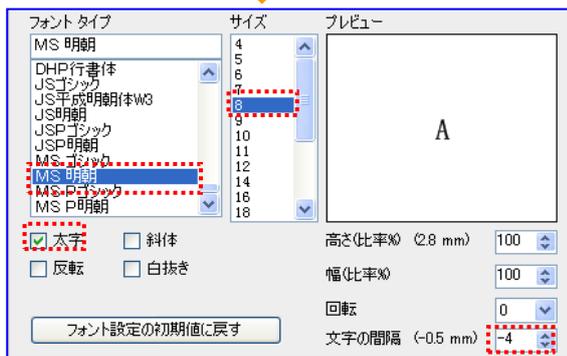


イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

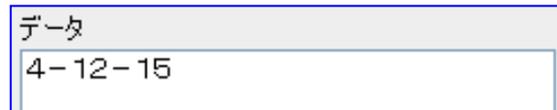
②-11



②-11 住所の数字
文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



フォントタイプMS明朝、サイズ 8、太字にチェック、文字の間隔 -4 に設定します。



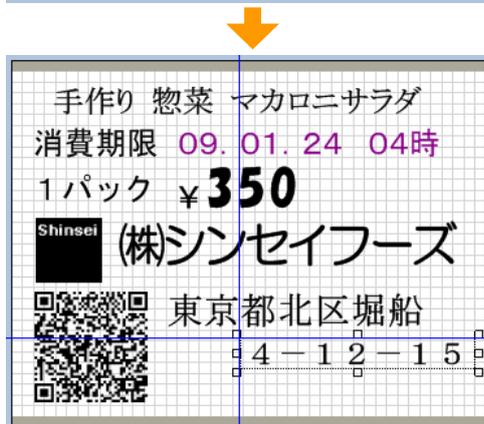
「4-12-15」と文字を入力します。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。



イメージ上に置き、ドラッグして移動します。

②-12

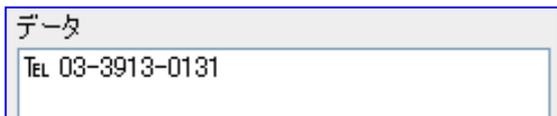


②-12 電話番号

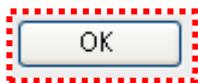
文字を追加アイコンをクリックして、文字項目のプロパティを開きます。



フォントタイプMSゴシック、サイズ8、文字の間隔-4に設定します。



「TEL (半角スペース)03-3913-0131」と全て半角で入力します。



OKボタンをクリックします。



ラベルイメージ上にポインターをあわせると作成したデータが表示され、ラベルイメージ上に置くことができます。
※データの配置はドラッグして移動します。

イメージ上に置き、ドラッグして移動します。



②-13



②-13 四角枠(角R)の設定

図形を追加アイコンをクリックして、ラベルイメージ上にポインターを移動します。



ラベルイメージ上のポインターが、矢印から十字形に変わり、図形(四角)が選択されていることを表します。ポインターで起点をクリック(指定)してドラッグします。



データの外側に四角枠ができました。角にRの付いた四角枠に変更します。

図形・線のデータは、ラベルイメージ上に、描いた後プロパティで、線のタイプ(種類)・太さ・【図形は形状】の選択をします。



※データ作成後に、四角枠を描画すると、四角枠が最前面となり枠内のデータを指定する事ができなくなります。
 ※データを指定するには、四角枠を最背面に移動します。ツールバーの順序ボタンか四角枠上で右クリックしショートカットアイコンから順序を選択し、四角枠を最背面に移動します。

四角枠内で右クリックし、プロパティをクリックします。



四角のタイプの選択、Vボタンをクリックし、四角形角Rをクリックし、OKボタンをクリックします。

↓

線のタイプ	実線
線の太さ (0.3 mm)	2
四角のタイプ	四角形

図形・線の詳細は、8、ツールボックスの8-⑦、線は8-⑧を参照下さい。



四角枠が角Rの形状になりました。
引き続き、四角枠を最背面に移動します。



四角枠が指定されていますので、ツールバーの順序移動アイコンの最背面をクリックします。

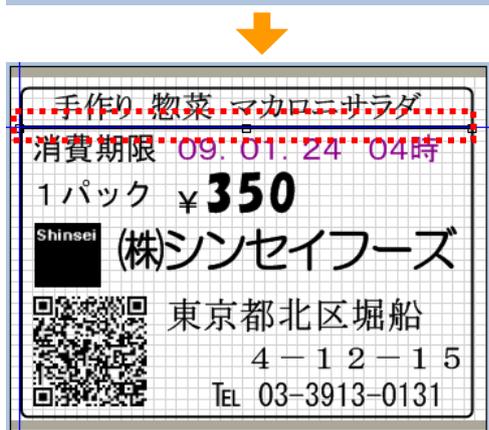
②-14



②-14 線の設定
線を追加アイコンをクリックして、ラベルイメージ上にポインターを移動します。



ラベルイメージ上のポインターが、矢印から十字形に変わり、線が選択されていることを表します。
ポインターで起点をクリック(指定)してドラッグします。



終点でドラッグを解除します。
横線が引けました。
同手順で各項目に線を引きます。
※shift キーを押しながらドラッグすると、簡単に水平線、または垂直線が引けます。



線を引き終わりました。
文字と線の重なりやバランスを調整します。
データをクリック(指定)し、ドラッグして移動
します。

※微調整の場合は、クリック(指定)後スケール

バーのX・Y座標の変更、パソコンの矢印
キー、で1ドット単位での移動ができます。

※データを指定後7、スケールバーに座標
位置が表示されます。

座標の位置を見ながら移動すると微調整
が

※X座標は左右、Y座標は上下の移動

②-15



②-15

価格が上の横線に重なっています。
価格位置、横線、ロゴ、社名を下げ
社名、住所数字、電話番号は左に



価格をクリック(指定)しスケールバーの
Yの値を▲▼ボタンで大きくするか直接
入力、またはパソコンの↓キーで移動し
ます。



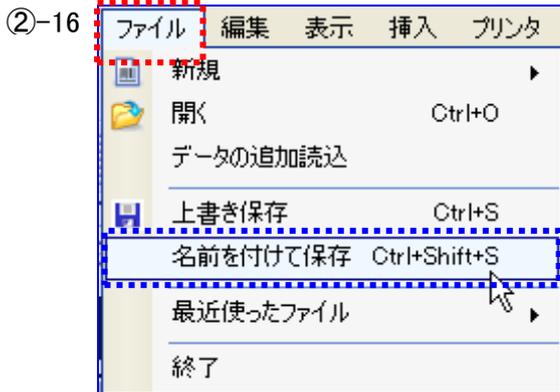
Y座標が79になり価格の位置が
2ドット下がりました。
※同手順で各データを移動します。

縦の線の長さは変わらないため
横線の移動後、縦線を延ばす
必要があります。

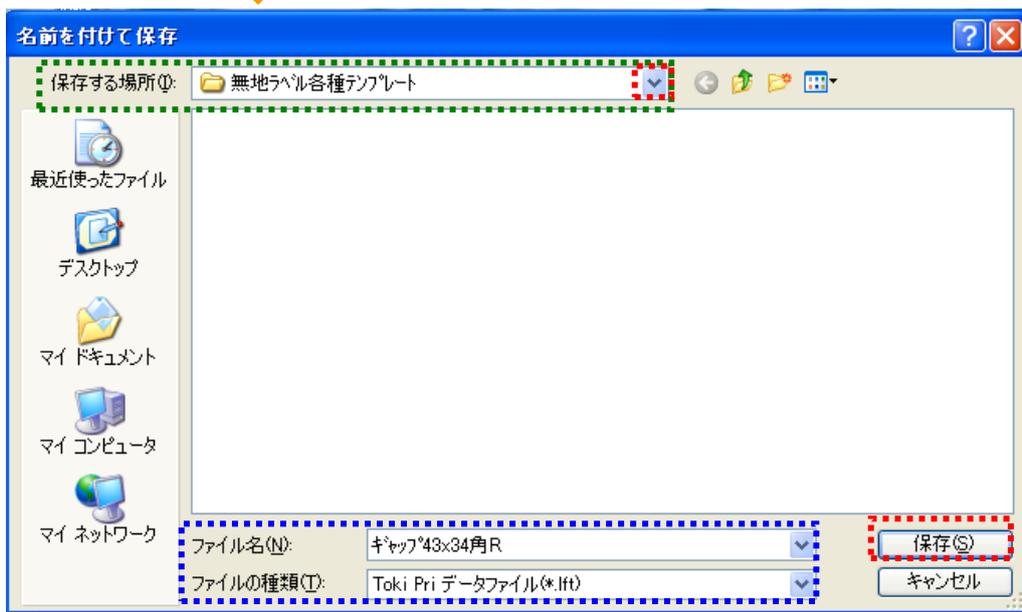
※9、ツールボックス9-⑧を参照下さい。



例題データが出来ました
ファイル名を付けて保存します。



②-16
メニューバーの**ファイル**をクリックし、
名前を付けて保存をクリックします。



- この例題は、テンプレートからラベルを利用したので、保存する場所が **無地ラベル各種テンプレート**となっています。
- 保存場所を変更して下さい。
- ファイルの種類はHappy Pri データファイルとなっています。
- ファイル名がテンプレートから読んだラベル名称となっていますので、**判り易い名前**を付けて**保存ボタン**をクリックしてください。

※データ利用時の注意 使用するフォントはパソコンに依存しますので、作成されたデータを他のパソコンで利用するには同じフォントが必要となります。
※同一フォントが無い場合は警告がでて他のフォントで印字します。

○ データタブ

1ファイル名で40件までデータを作成できます。
複数のデータの場合はデータタブで表示をします。

データタブ

- ① データのリストをデータ作成・編集エリアの上部にデータタブで、登録されたデータ名を表示します。
- ② データ番号(Happy Pri で選択する番号となります。)は、データタブの先頭(左)から自動で連番となります。【左端が1番となります。】
- ③ データタブはドラッグして左右に移動します。
【移動とともにデータ番号が変更されます。】
- ④ データの追加読込をした場合、追加されたデータ番号は、既存のデータ番号の最後部から連番となります。

①



- ① データタブ
データ名は、例題となります。

②



② データタブ複数

データ名は、作成した順に先頭(左端)から並びます。

【追加読込時は、現在あるデータタブの最後尾に続けて登録となります。】

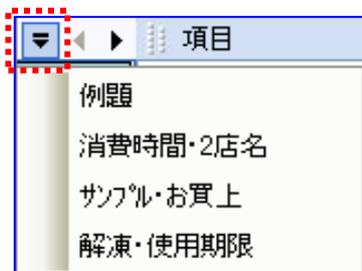
※データタブをクリックするとタブが白抜きとなり、データが表示されます。



このマークは、データリスト一覧表示、データタブが左右にある事
を表示します。



隠れているデータタブが無い場合の表示となります。



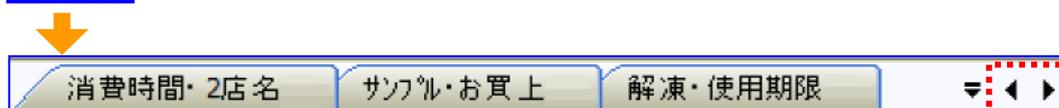
- ② **データタブ一覧表示**
登録されたデータ名で、タブ一覧を表示



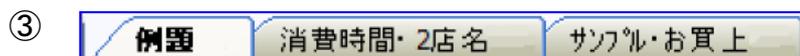
- ② **隠れているデータタブを表示**
表示できない隠れたデータタブがある場合は**実線**で表示



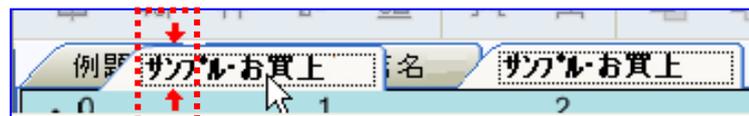
- ② **隠れているデータタブをクリック**
隠れていたデータタブが表示されます。



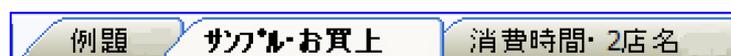
- ② 隠れていた次のデータタブ表示され、**左右とも実線**になり左右どちらにもデータがある事を表示します。
※表示エリアのラベルは、データタブをクリックするまで前回のデータを表示します。



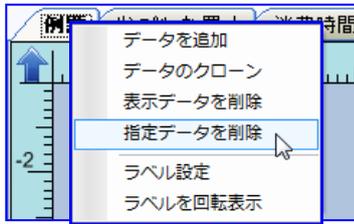
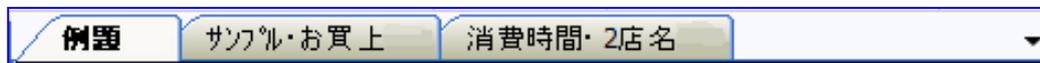
- ③ **データタブの移動**
サンプル・お買上のタブをクリックして、消費時間・2店名の前にドラッグして移動します。



- ③ **上下の赤矢印**のところを離すとサンプル・お買上のデータが消費時間・2店名の前に移動します。
Happy Pri で呼出した時の順が入れ替わります。

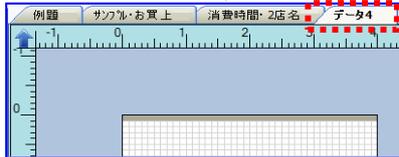


④



データタブのプロパティ
 データタブ上で右クリックすると
 データタブのプロパティが開きます。

データを追加



データタブをクリック(指定)し、**データを追加**をクリックすると、**新しいデータシート(タブ)**が後に追加されます。

データのクローン



データタブをクリック(指定)し、**データのクローン**をクリックすると、同じ**データシート(タブ)**が後に追加されます。

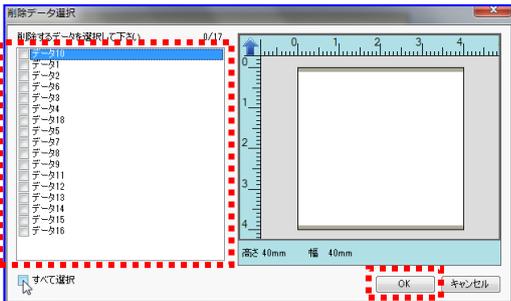
表示データを削除



データタブをクリック(指定)し、**表示データを削除**をクリックすると、指定された**データシート(タブ)**が削除されます。

はい(Y)で削除、**いいえ(N)**で中止して元へ戻ります。

指定データを削除



指定したデータを削除することができます。

削除するデータを選択しOKボタンをクリックすると、指定された**データ**が削除されます。
データが多い場合、複数のデータシートを削除する時に便利です。

印刷設定

印刷設定

データ名	データ1
ラベル幅 (mm) (有効印字範囲: 40mm)	40
ラベル長 (mm) (有効印字範囲: 38mm)	40
ラベルタイプ	ギャップ
ラベルギャップ (0 mm)	0
印字濃度	10
発行モード設定	連続
剥離モードの操作	センサー
発行枚数画面を表示	しない

オプション

OK キャンセル

データタブを右クリックし、印刷設定をクリックすると、指定されたデータシート(タブ)の印刷設定が表示されます。

指定されたデータのラベルに関する設定の変更ができます。

ラベルを回転表示

確認

ラベル表示を回転すると項目位置が変わります。続けますか？

はい(Y) いいえ(N)



データタブを右クリックし、ラベルを回転表示をクリックすると、ラベル出し方向にラベルが90度回転します。

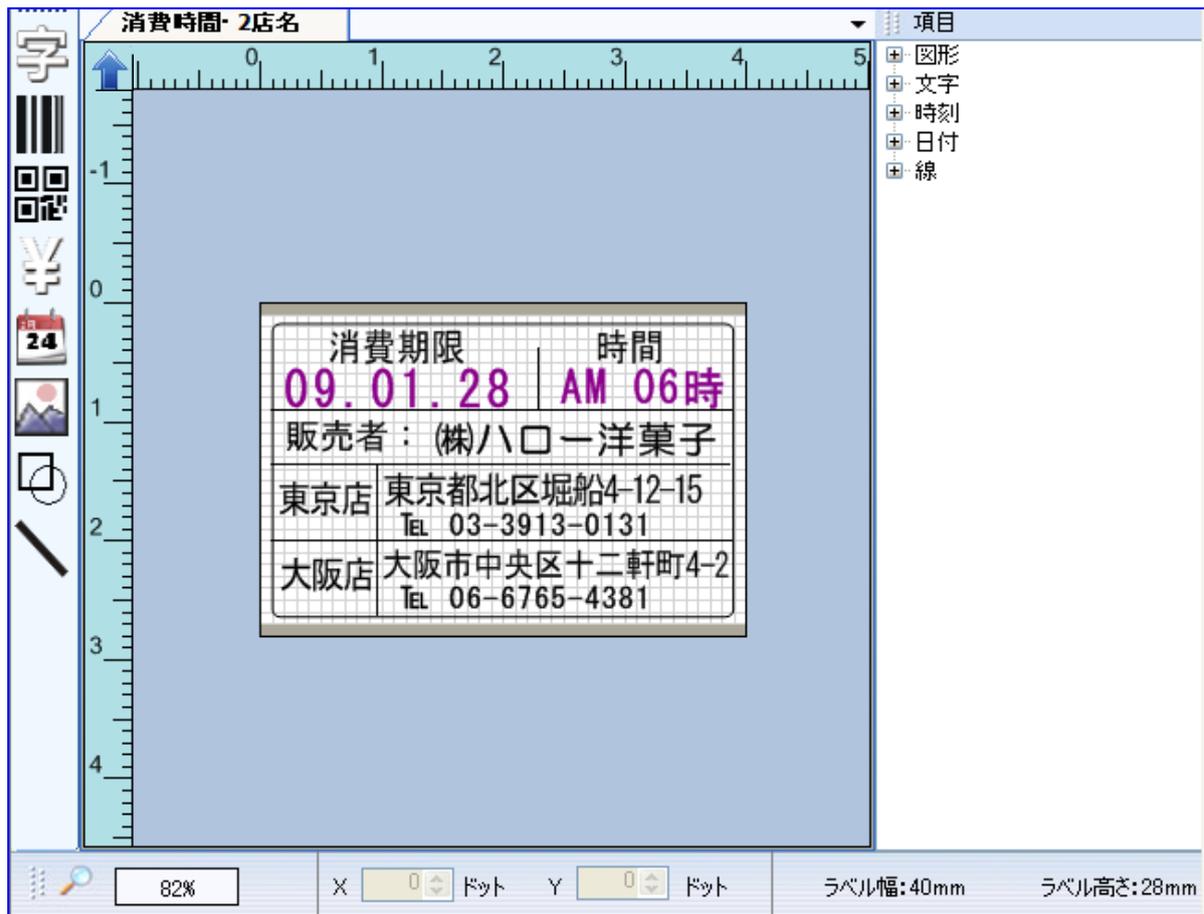
※メニューバーの表示ボタンでも同様に選択できます。

はい(Y)で矢印(ラベル出し方向)とラベルが反時計方向に90度回転します。

※正常表示に戻したい場合は、もう一度データタブを

6、項目一覧

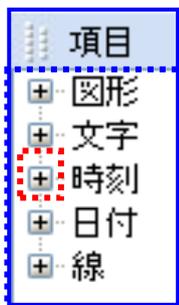
設定された項目を一覧で表示することができます。(初期は項目)
 イメージ表示部に各項目を設定するごとに、右の項目内に追加されます。



6、項目一覧

データが登録されると右の項目欄に項目別に集約の上表示されます。
 項目の+ ボタンをクリックするとその内容が項目の下に表示されます。
 項目で表示される名前は前項ツールボックスで各設定データに付けられた
 名前が表示されます。

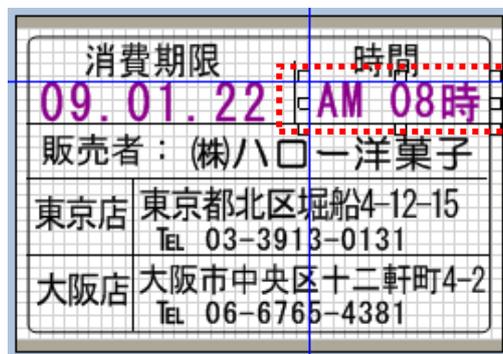
※ 項目一覧の名前をクリックすると、ラベルイメージ上のクリックされた
 データ項目が示されます。



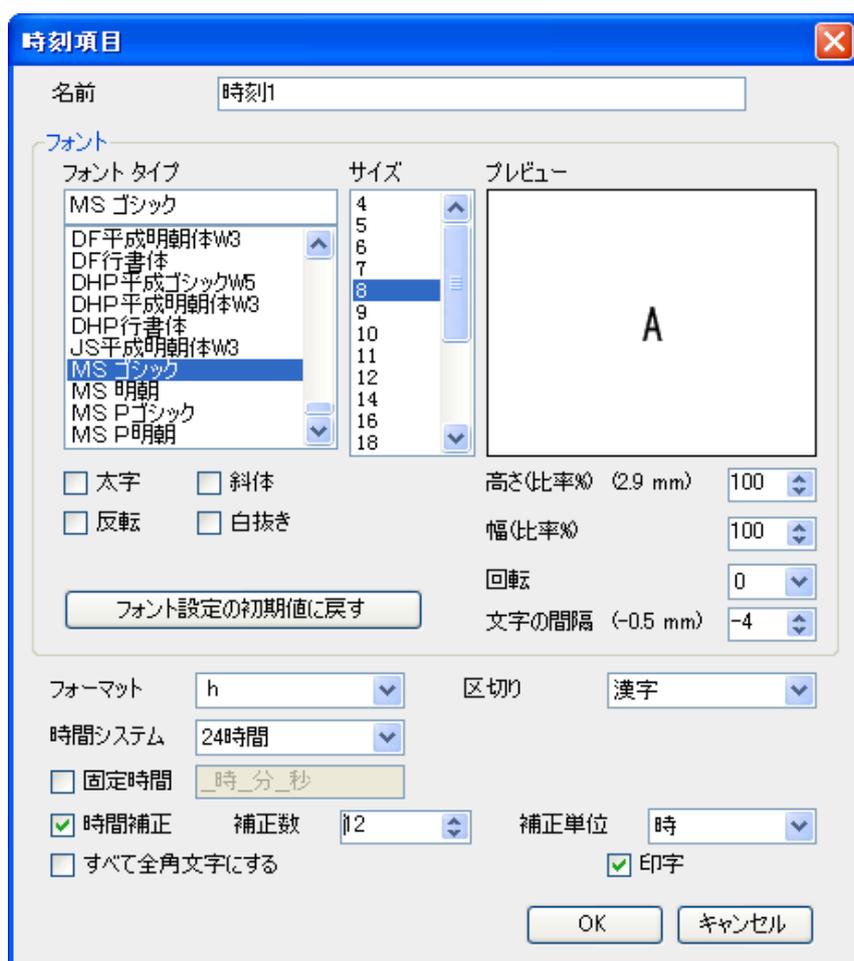
サンプルの項目は5項目ある事がわかります。
 各項目の+マークをクリックすると、その項目が
 一覧で表示されます。



一覧中の項目をクリックするとイメージ表示部の
 該当項目はアクティブ項目になります。
 一覧に戻すには項目の-ボタンをクリックします。



一覧中の項目の名前をダブルクリックするとその項目のプロパティが開き、項目の名前を含め設定内容の変更をすることができます。



7、テンプレート

Happy Pri パートナーに事前に登録されたサンプル(例題)集
(無地ラベル各種・サイズ別サンプル集となります。)
ラベルパートナーFor Happy Pri をインストールするとマイドキュメントに
自動でShinseiホルダーが作成されテンプレートが同時にインストールされます。
データ作成時、テンプレート一覧より選択して利用することができます。

- ※ テンプレート(サンプル)は、データ作成時の補助的機能となります。
データの作成時には、法令に注意してご利用下さい。

※ テンプレート(サンプル)集で使用しているフォントは全てMSPゴシック・MSP明朝となります。
ご利用時必要に応じてフォントを変更して下さい。

※ テンプレート(サンプル)集から読み込み利用したデータはデータファイルとなります。
データ保存時に表示される保存場所はテンプレートのホルダーが表示されます。
保存場所を変更してから判り易いデータ名を付けて保存して下さい。

7-① ラベルパートナーの起動

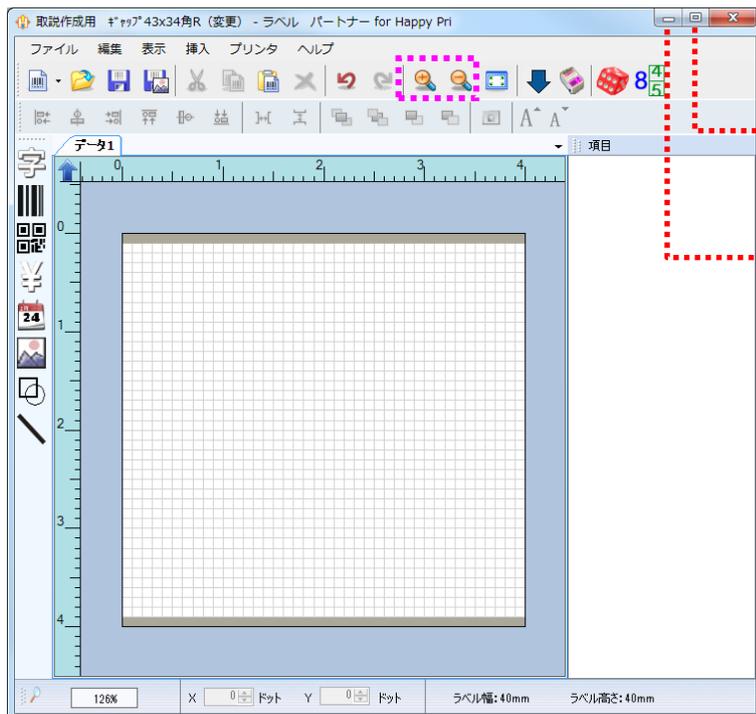


ラベルパートナーを起動します。
ラベルパートナーのショートカットアイコンをダブルクリックして
ラベルパートナーを起動します。

※スタートボタンからも起動できます。【3、ラベルパートナー起動参照



7-② ラベルパートナー表示の拡大・縮小



最大化

最小化

パートナーが起動しました。

表示サイズが小さい時は、最大化アイコン【4、操作画面参照】または、
外枠をドラッグして広げます。

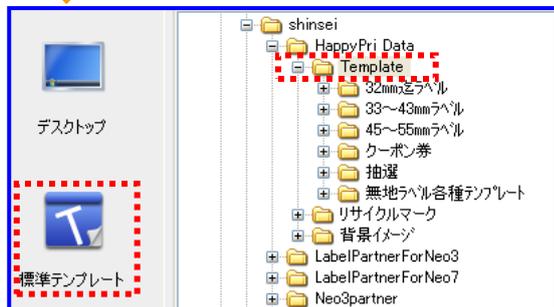
ラベルのサイズを大きくするにはツールバーの拡大ツールをクリックします。

※操作しやすいサイズにします。

7-③ テンプレートファイルを開く方法



ツールバーの**ファイルを開くアイコン**をクリックします。



サブウィンドウの左枠の**標準テンプレート**をクリックします。
Templateのフォルダーが表示されます。

7-④ テンプレートファイルの選択



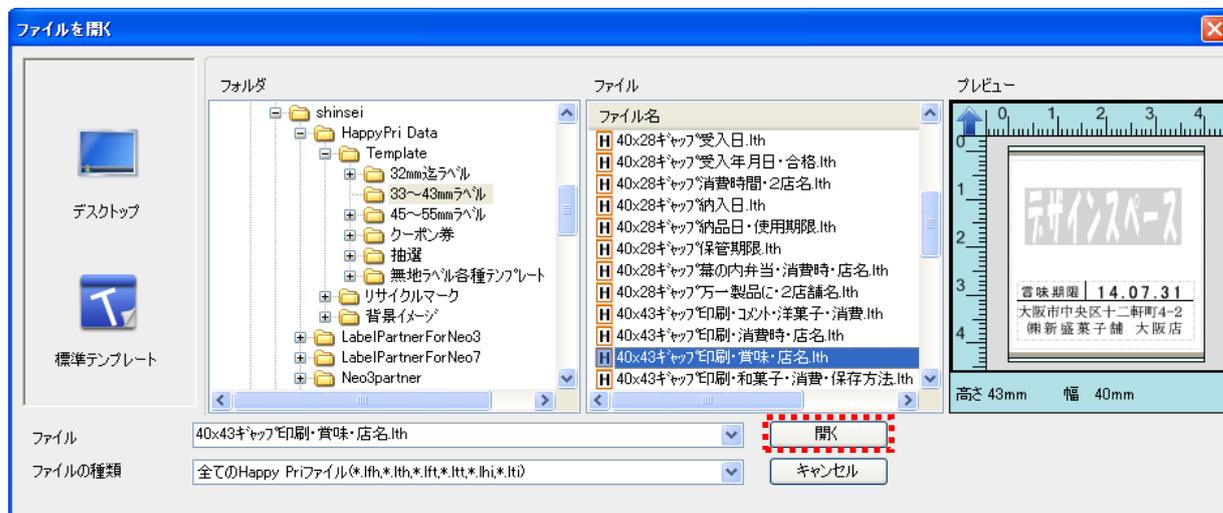
Templateの**+**をクリックします。



Template(テンプレート)ホルダーが開きました。
それぞれの**フォルダー**をクリックすると『ファイル名』に一覧が表示され、
ファイル名をクリックすると『プレビュー』に
イメージを表示します。

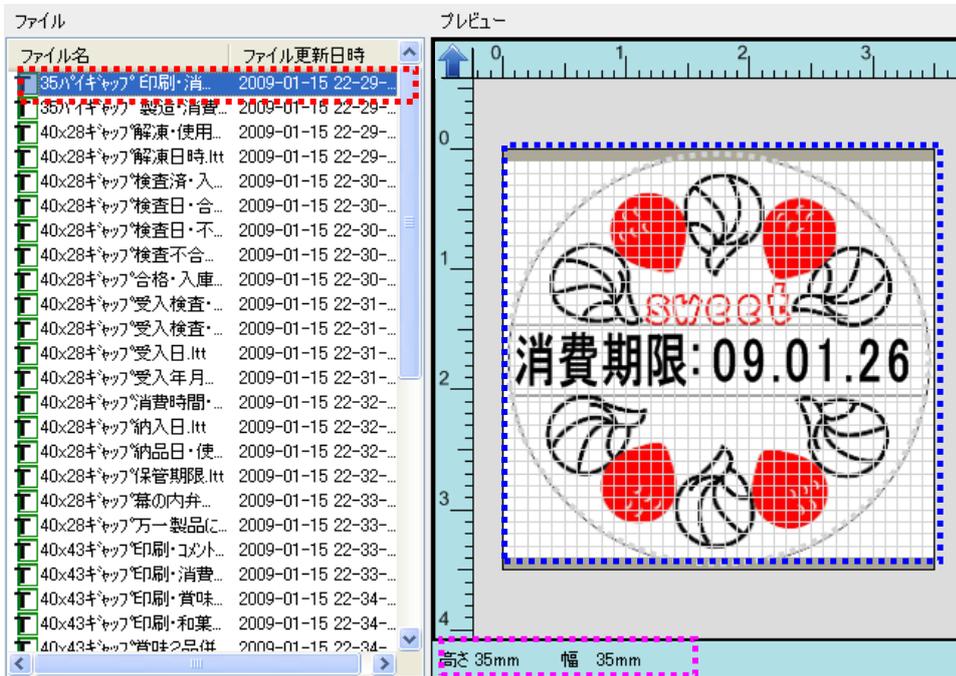
例・・・33~43mmラベルのフォルダーをクリックします。

7-⑤ テンプレートファイルのプレビュー



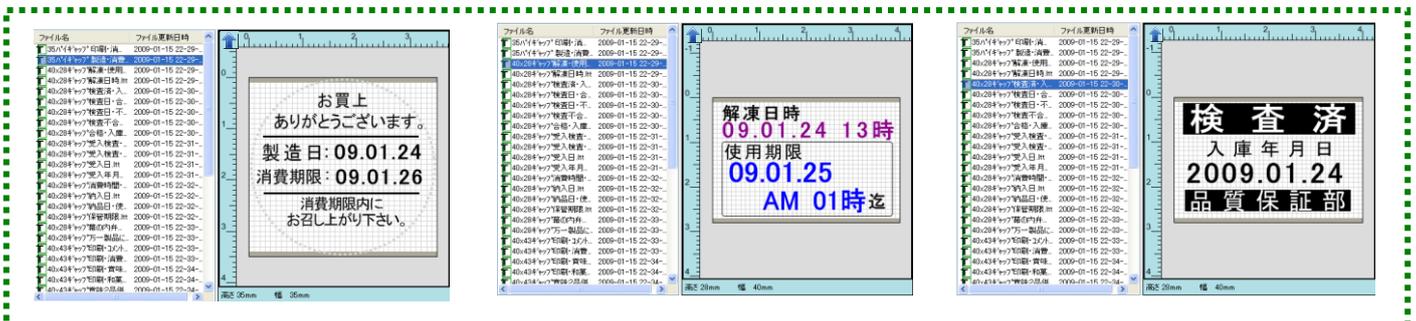
プレビューで確認して利用するデータが見つかりましたら**開くボタン**をクリックします。

例

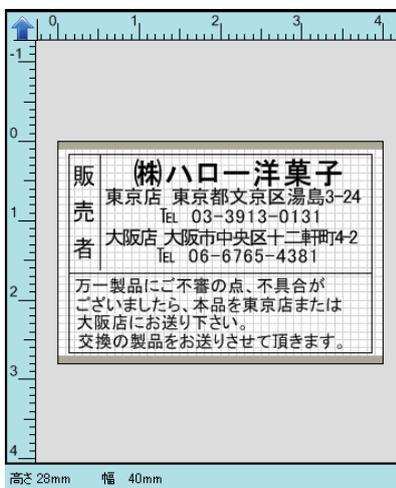


ファイル名をクリックするとプレビューにデータのイメージを表示します。
 (色つき部分は背景データで印字はされません。)
 下段にはデータのラベルサイズが表示されます。

例

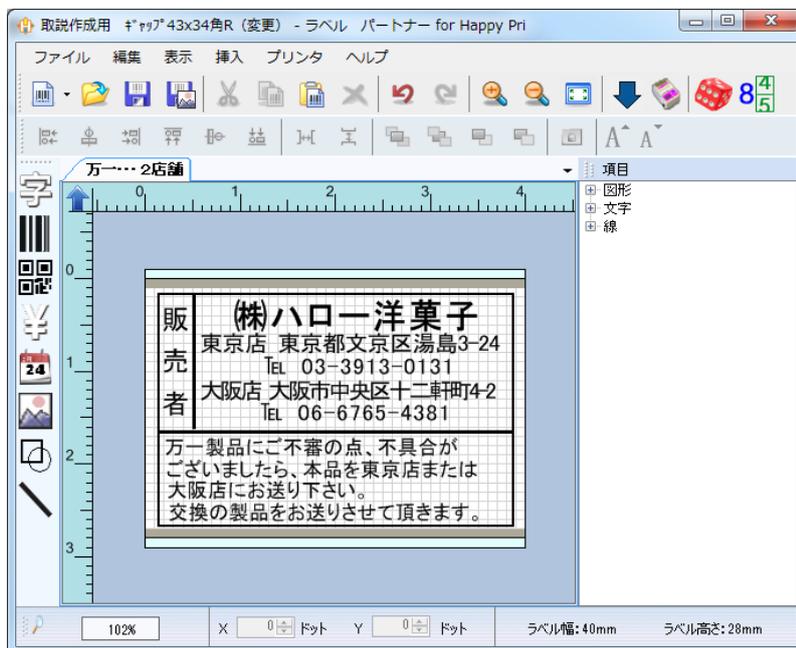


7-⑥ テンプレートファイルの決定



このデータを選択します。
 プレビュー確認後、
 開くボタンをクリックします。

開く



テンプレートからサンプルデータの読み込みができました。データ変更箇所をクリックしてプロパティを開きデータの変更をします。
 ※前項5、データ作成を参照下さい。

7-⑦ データの保存

データ保存時の注意

- 1) このデータはテンプレートを利用しているため、データ保存時に表示される保存場所は、テンプレートのフォルダーが表示されます。保存場所を変更してからデータ名を付けて保存して下さい。

7-⑧ テンプレートファイルの種類

- ※ テンプレートには
- ～32mm幅ラベル迄のサンプル
 - 33～43mm幅ラベルのサンプル
 - 45～55mm幅ラベルのサンプル
 - クーポン券
 - 抽選
 - 無地ラベル 裏マークタイプ
 - ギャップタイプ

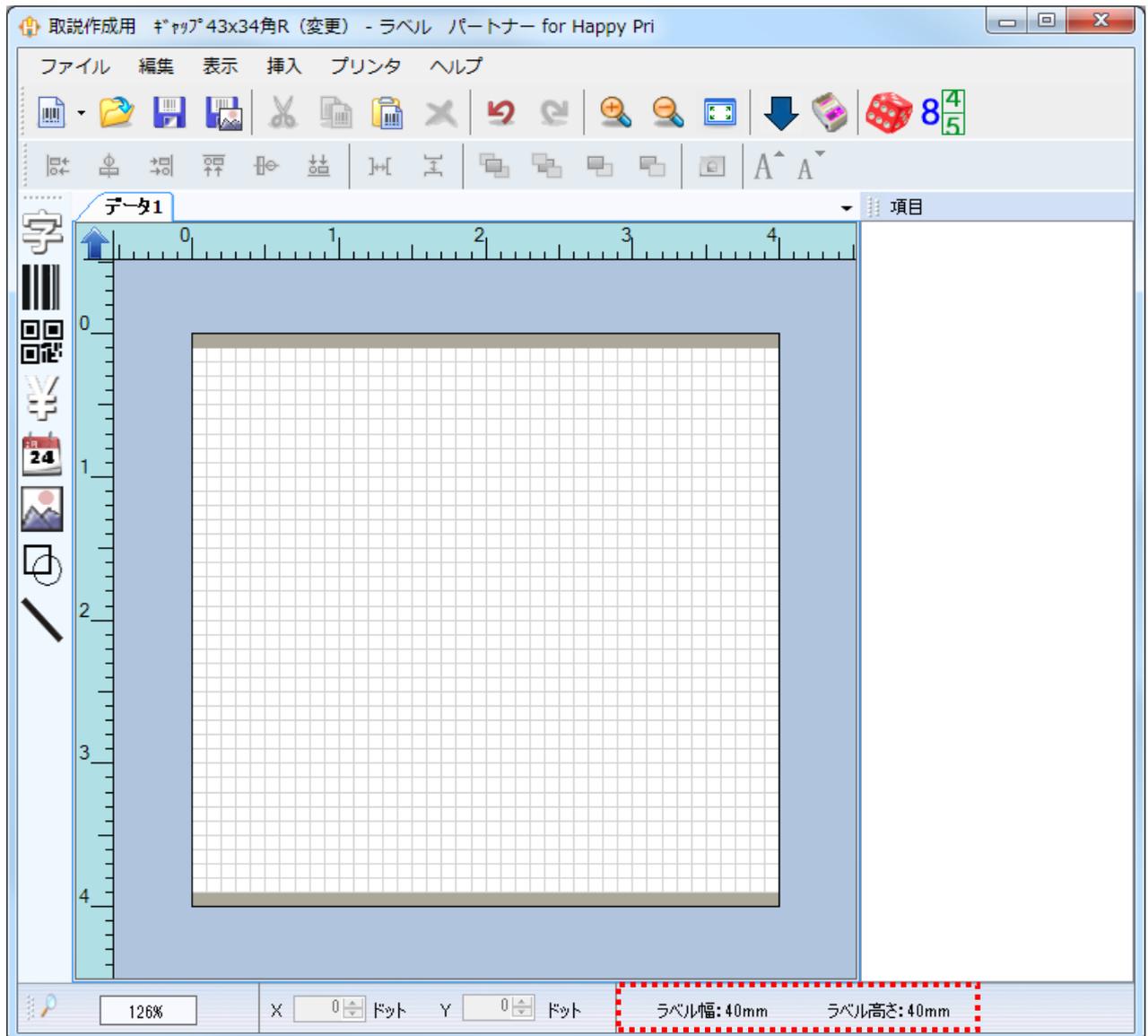
が登録されています。

8、印刷設定

使用するラベルを選択(設定)すると、ラベルイメージ表示部に設定されたラベルがイメージで表示されます。

※下部のスケールバーに設定されたラベルのサイズを表示します。

※設定されたラベルの上下各1mmは余白(マージン)として印字できません。



8、印刷設定

ラベルパートナー(ショートカット)を立ち上げると上記画面が開きます。

※既にデータが有り、データファイルから立ち上げると、データ作成・編集エリアには開いたファイルのデータが表示されます。

新規ファイルの場合はラベルサイズが初期値の40x40に設定されています。
データを作成するにあたりラベルサイズを設定します。

※ラベルサイズはデータ作成後に変更することも可能です。
(データ位置の調整が必要となります。)

※設定できるラベル幅は24mm～57mm

※設定できるラベル長は10mm～100mm

ここで、設定できるラベル長は、使用可能な長さで剥離できる長さではありません。

剥離できるラベル長は、22mmが目安となります。

◎設定ラベル長の、上下各1mmはマージンとして印字できません。

8-① 印刷設定

① 印刷設定のプロパティを開くには4通りの方法があります。

- 1 データタブをダブルクリックして、印刷設定のプロパティ(詳細設定)を開きます。
- 2 メニューバーの編集をクリックし、印刷設定をクリックして印刷設定のプロパティ(詳細設定)を開きます。
- 3 データ作成・編集エリアのラベルイメージ上で右クリックし、その中の印刷設定をクリックして印刷設定のプロパティ(詳細設定)を開きます。
- 4 ラベルパートナーのテンプレートファイルよりラベルを選択します。

② 印刷設定の設定内容。

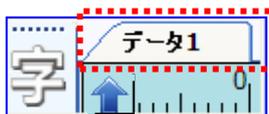
印刷設定 1 データ名 2 ラベル幅 3 ラベル長 4 ラベルギャップサイズ
5 ラベルタイプ 6 印字濃度

③ 詳細設定

オプション 1 連続モードの送り量 2 剥離モードの送り量 3 ラベルの出し方向
4 発行モード選択 5 剥離モードの操作 6 初期値に戻す
7 センサー設定 8 印字速度

8-①-1 印刷設定 データタブから

①-1



①-1 データタブをダブルクリックします。



データ名	データ1
ラベル幅 (mm) (有効印字範囲:40mm)	40
ラベル長 (mm) (有効印字範囲:38mm)	40
ラベルタイプ	ギャップ
ラベルギャップ (mm)	0
印字濃度	8
発行モード設定	連続
剥離モードの操作	センサー
発行枚数画面を表示	しない

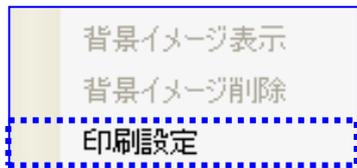
OK キャンセル

印刷設定のプロパティが開きました。

8-①-2 印刷設定 編集から



①-2 メニューバーの**編集**をクリックします。



印刷設定をクリックします。

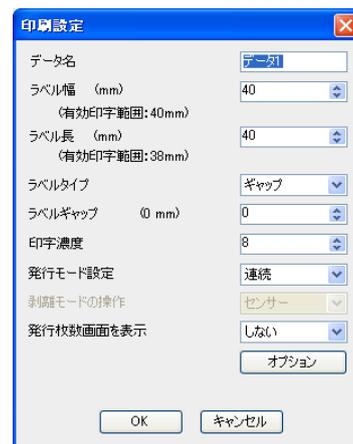


印刷設定のプロパティが開きました。

8-①-3 印刷設定 ラベルイメージから



印刷設定を
クリックします。



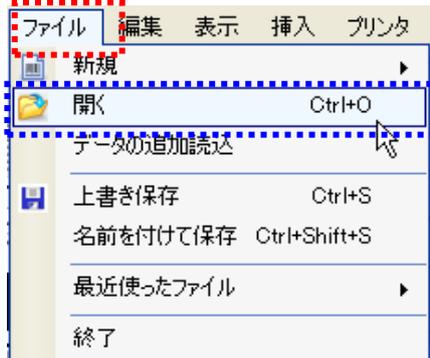
印刷設定のプロパティ
が開きました。

①-3 データ作成・編集エリアの
ラベルイメージ上で
右クリックするとショート
カットメニューが開きます。

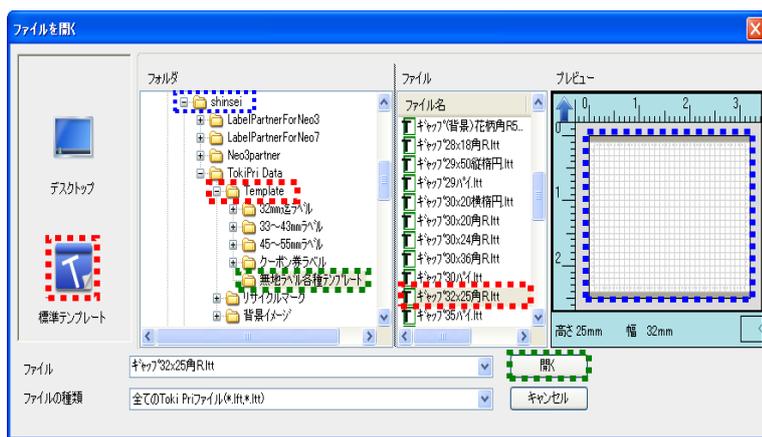
8-①-4 印刷設定 テンプレートから

ラベルパートナーをインストール時、マイドキュメントの中にShinseiのフォルダーが作成されます。このフォルダー内の無地ラベル各種テンプレートより希望のラベルサイズを選択します。

①-4



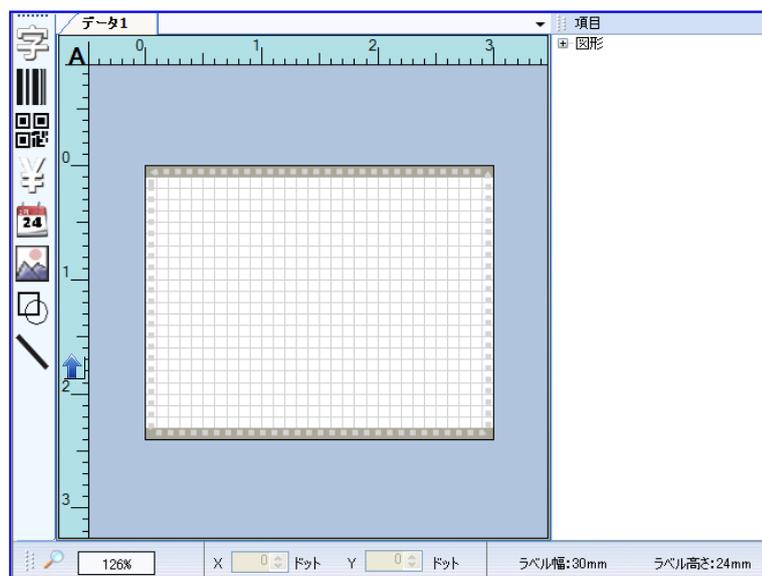
①-4 メニューバーの**ファイル**をクリックし、続けて**開く**をクリックします。



標準テンプレート → Template
→ 無地ラベル各種テンプレートを
クリックします。
ファイル名をクリックすると
プレビューに**選択されたラベルを**
イメージで表示します。

選択後、**開くボタン**をクリックすると
パートナーに読み込まれます。

※マイドキュメントの shinsei →
Templateからでも開くことが
できます。



ラベルパートナーに選択した
ラベルが読み込まれ、ラベルイメージ
表示がされました。

8-② 印刷設定(詳細設定)

印刷設定

データ名

ラベル幅 (mm)
(有効印字範囲: 40mm)

ラベル長 (mm)
(有効印字範囲: 38mm)

ラベルタイプ

ラベルギャップ (mm)

印字濃度

発行モード設定

剥離モードの操作

発行枚数画面を表示

オプション

OK キャンセル

8-② 印刷設定のプロパティ

印刷設定(ラベルに関する設定)

- ②-1 **データ名**
項目欄・本体に表示するデータ名
- ②-2 **ラベル幅**
設定するラベルの幅(mm単位)
- ②-3 **ラベル長**
設定するラベルの長さ(mm単位)
- ②-4 **ラベルタイプ**
設定するラベルのタイプ
(ギャップ・裏マーク・マーク無)
- ②-5 **ラベルギャップサイズ**
ラベルとラベルの間隔(mm単位)
- ②-6 **印字濃度**
本体の印字する濃淡
- ②-7 **発行モード**
連続モード・剥離モードの設定
- ②-8 **剥離モード操作**
剥離モードの設定の時に有効
PRINTキー・センサーの設定
- ②-7 **印字枚数画面を表示**
する・しないの設定

オプション 印字動作の設定など

OKボタンで設定終了します。
キャンセルボタンで中止します。

オプション

印字動作設定

連続モードの送り量 (13.0 mm)

剥離モードの送り量 (5.5 mm)

ラベルの出し方向

印字位置調整

ラベル種類指定

HALLOラベル幅32mmまで

HALLOラベル幅>32mm

その他ラベル

初期値に戻す センサー設定 印字速度

OK キャンセル

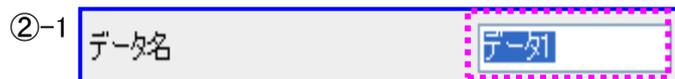
8-③ 印刷設定のプロパティ。

オプション(印字動作などに関する設定)
【印字動作設定】

- ③-1 **連続モードの送り量**
印字後のラベル切り位置までの送り量
- ③-2 **剥離モードの送り量**
印字後のラベル剥離位置までの送り量
- ③-3 **ラベルの出し方向**
ラベルの出し方向(頭出し・尻出し)
【印字動作設定】
- ③-4 **ラベルの印字調整**
設定されたラベルに対する印字位置を調整します。
- ③-5 **初期値に戻す**
オプションの設定値を初期値に戻す
- ③-6 **センサー設定**
本体の各センサーの設定
※初期値は、本体の共通センサー設定値を使用する
変更するとラベル動作に悪影響がでます。
- ③-7 **印字速度**
ラベルの印字速度の設定

OKボタンで終了し、前項の印刷設定に戻ります。
キャンセルボタンで中止します。

8-②-1 印刷設定 データ名



入力枠に**データ名**を入力します。

- ②-1 **データ名**
登録されたデータの名前
※初期 **データ1**
データ作成順に自動で1件～40件が割り当てられます。
【データタブ先頭(左)から連番となります。】
本体で表示するデータの名前となります。
(パートナーのデータタブにも表示されます。)
※全角8文字(半角16文字)となります。
※本体で呼出す場合データタブの先頭(左)からの順となります。

8-②-2 印刷設定 ラベル幅



入力枠の**△▽ボタン**で選択するか
枠内に**直接数字**を入力します。

- ②-2 **ラベル幅 (mm単位)**
使用するラベルの幅の設定
※初期 **40mm**
使用するラベルの幅を、入力選択窓内の**△▽ボタン**または**直接入力**します。
※設定できるラベル幅は**24mm～57mm**
※本体の有効印字幅は**48mm**となります。

8-②-3 印刷設定 ラベル長



入力枠の**△▽ボタン**で選択するか
枠内に**直接数字**を入力します。

- ②-3 **ラベル長 (mm単位)**
使用するラベルの長さの設定
※初期 **40mm**
使用するラベルの長さを、入力選択窓内の**△▽ボタン**または**直接入力**します。
※設定できるラベル長は、**10mm～100mm**
ただし、剥離できるラベル長は、**22mm**が目安となります。
※上下各**1mm**は余白(マージン)として印字できない部分となります。

8-②-4 印刷設定 ラベルタイプ



設定窓内の**▽ボタン**をクリックし、**タイプ**を選択します。

- ②-4 **ラベルタイプ**
使用するラベルのタイプの選択
※初期 **ギャップ**
使用するラベルのタイプを、**裏マーク・ギャップ**・**マークなし**から選択します。
※**マークなし**は、**裏マーク・ギャップも無い**レジペーパー(ジャーナル紙)状のタイプ

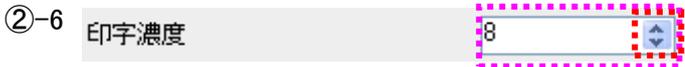
8-②-5 印刷設定 ラベルギャップ



入力枠の **△▽ボタン** で選択するか
枠内に **直接数字** を入力します。

- ②-5 **ラベルギャップサイズ** (mm単位)
ギャップラベルのラベル間の間隔の設定
※初期 2.0mm
使用するラベルとラベルの間隔を
△▽ボタンまたは直接入力して設定します。
※最大: 10mm

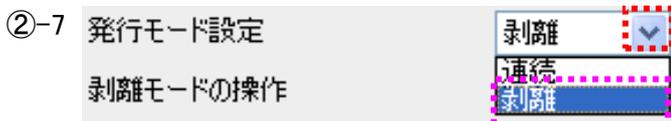
8-②-6 印刷設定 印字濃度



入力枠の **△▽ボタン** で選択するか
枠内に **直接数字** を入力します。

- ②-6 **印字濃度**
本体で印字する濃度の設定をします。
※初期 8
値が大きいほど印字濃度は濃くなります。
※設定範囲は1~16。

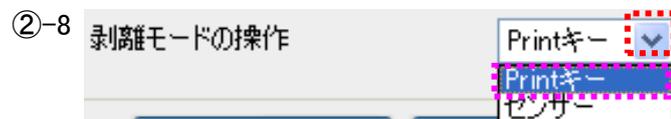
8-②-7 印刷設定 発行モード設定



設定枠内の **▽ボタン** をクリックし、
連続・剥離 の方式から選択します。

- ②-7 **発行モード設定**
ラベルの発行方式の設定をします。
※初期 剥離
※発行方式が剥離の場合は、剥離モードの
設定も合わせて行って下さい。

8-②-8 印刷設定 剥離モードの操作



設定枠内の **▽ボタン** をクリックし、
Printキー・センサー の方法から選択します。

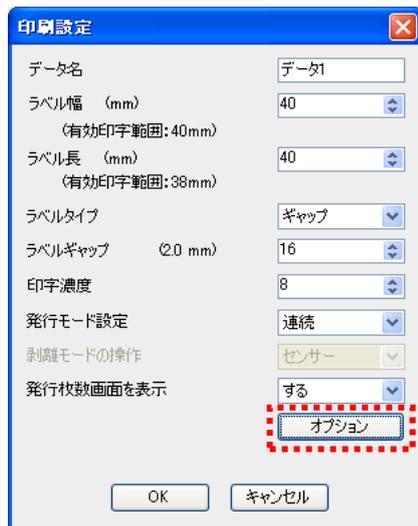
- ②-8 **剥離モードの操作**
剥離方式でラベルを発行する場合のラベル
発行の方法。
※初期 Printキー
※Printキー: Printボタンを押す毎に1枚発行
センサー: 最初の1枚はPrintキーで発行
以後ラベルを取る度に次の
ラベルが発行されます。
次のラベルを発行しない場合は
Printキーを押してからラベルを
取ります。

8-②-9 印刷設定 発行枚数画面を表示



- ②-9 **発行枚数画面を表示**
発行する前に、枚数入力画面を表示する・
しないの設定
※レイアウトごとに設定ができます。

8-③ 印刷設定 オプション(印字動作などに関する設定)



印刷設定の**オプションボタン**をクリックすると印字動作などに関する設定画面が開きます。

8-③-1 印刷設定 連続モードの送り量

③-1 連続モードの送り量 (13.0 mm) 104

入力枠の**△▽ボタン**で選択するか
枠内に**直接数字**を入力します。

③-1 **連続モードの送り量 (ドット単位)**
ラベルの連続発行時、ラベル印字後、切り位置までの送り量を調整します。
※初期 104ドット
ハローラベルでの調整値となります。
※目安の位置のため、データ作成時に微調整を行って下さい。 最大255ドット

8-③-2 印刷設定 剥離モードの送り量

③-2 剥離モードの送り量 (5.5 mm) 44

入力枠の**△▽ボタン**で選択するか
枠内に**直接数字**を入力します。

③-2 **剥離モードの送り量 (ドット単位)**
ラベルの剥離発行時、取りやすい位置までの送り量を調整します。
※初期 44ドット
ハローラベルでの調整値となります。
※目安の位置のため、データ作成時に微調整を行って下さい(最大255ドット)。

8-③-3 印刷設定 ラベルの出し方向

③-3 ラベルの出し方向
発行モード設定

設定枠の**▽ボタン**をクリックし、**頭出し・尻出し**の方向から選択します。

③-3 **ラベルの出し方向**
印字したラベルの出てくる方向の選択。
※初期 頭出し
頭出しは、ラベルが出た状態で正視できる状態
尻出しは、頭出しの逆向きに出る状態。

8-③-4 印刷設定 印字位置調整

③-4 印字位置調整 (0.0 mm)

ラベル種類指定

HALLOラベル幅32mmまで

HALLO ラベル幅 >32mm

その他ラベル

0

ラベルタイプ

裏マーク

ラベル種類指定

HALLOラベル幅32mmまで

HALLO ラベル幅 >32mm

その他ラベル

8

ラベル種類指定

HALLOラベル幅32mmまで

HALLO ラベル幅 >32mm

その他ラベル

32

ラベル種類指定

HALLOラベル幅32mmまで

HALLO ラベル幅 >32mm

その他ラベル

0

③-4 印字位置調整

裏マークラベルの印字位置。

※初期 32mm幅:8ドット、32mm幅以上:32ドット

ハローラベルの裏マークとなります。

※目安の位置のため、データ作成時に
微調整を行って下さい。

ラベルタイプを裏マークに設定すると印字
位置調整項目有効になります。

ラベル種類指定にチェックを入れると目安となる
印字位置調整が表示されます。

ハロー32mm幅、ハロー32mm幅以上の
選択となります。
※目安位置のため微調整してください。

入力選択窓内の△▽ボタンで選択するか
窓内に直接数字(ドット数)を入力します。
数字が大きいくほど印字位置は下がります。

その他ラベルはチェック後、目安値は表示されません。
位置を△▽ボタンで選択するか直接数字を入力します。

8-③-5 印刷設定 初期値に戻す

③-5

初期値に戻す

センサー設定

印字速度

初期値に戻すボタンをクリックすると、
それまでに設定されたオプションの値は
初期値に戻ります。

③-5 初期値に戻す

オプション(印字動作設定)の値を初期値に
戻します。

※初期 連続モード送り量 104ドット

剥離モード送り量 30ドット

ラベルの出し方向 頭出し

発行モード設定 剥離

剥離モード操作 Printキー

8-③-6 印刷設定 センサー設定

③-6

初期値に戻す

センサー設定

印字速度

センサー設定ボタンをクリックすると
センサー設定画面が開きます。
※設定は、変更しないで下さい。

センサー設定

センサー値を本体で自動検出
 センサー値を手動で指定する

センサー値を本体より検出

裏マーク センサーレベル 110
ギャップ センサーレベル 85
裏マーク センサー抵抗値 26
ギャップ センサー抵抗値 26

本体の共通センサー設定値を使用する

OK キャンセル

③-6 センサー設定

本体のセンサーの調整を行います。
※初期設定 本体の共通センサー設定値を使用する

※センサー感度は自動調整で
最良になるように設定されています。
手動で値を変更するとラベル発行に
悪影響がでます。
※通常は、操作しないで下さい。

OKボタンで終了し、オプション画面に
戻ります。
キャンセルボタンで中止します。

8-③-7 印刷設定 印字速度

③-7

初期値に戻す

センサー設定

印字速度

印刷速度設定 自動設定 mm/s

有効範囲: 50
剥離発行: 50-80m 55
連続発行: 50-90m 60
推奨速度: 「自動設 70

OK キャンセル

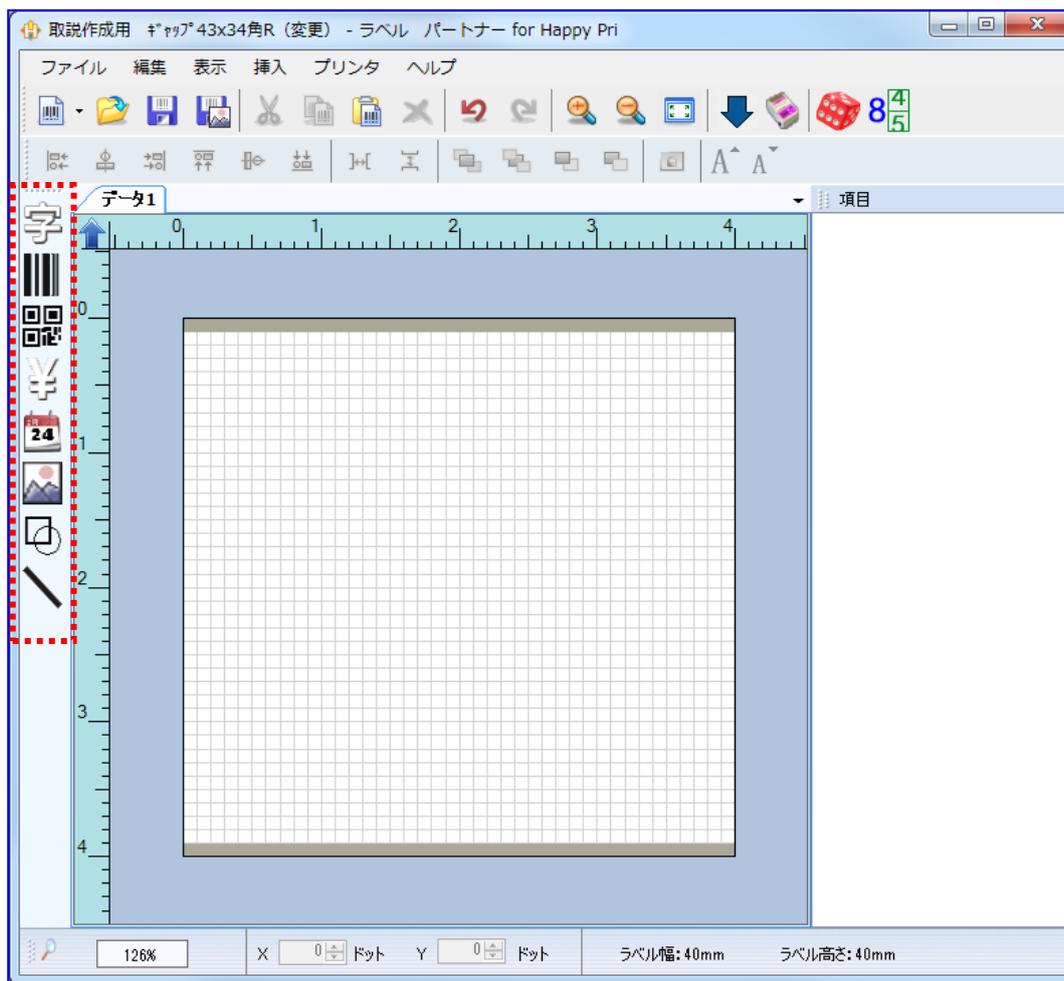
③-7 印字速度

ラベルの印字速度の調整を行います。
※初期 自動設定
ラベルの印字速度をVボタンで選択するか、
または、入力選択窓内に有効範囲内で直接
入力します。
※自動設定で使用することを推奨します。

OKボタンで終了し、オプション画面に
戻ります。
キャンセルボタンで中止します。

9、ツールボックス

設定されたラベルに印字する、各種データの作成(配置・文字種・文字数)をする機能となります。



- ① 文字：文字データの設定
- ② バーコード：一次元バーコードデータの設定
- ③ 2次元コード：QR・GS1・PDF417データの設定
- ④ 価格：価格データの設定
- ⑤ 日付：年・月・日・時・分のデータ設定
- ⑥ イメージ：リサイクルマーク画像などのイメージデータの設定
- ⑦ 図形：四角枠、円形枠データの設定
- ⑧ 線：直線データの設定



① 文字項目

品名など、印字する文字データを作成。

字アイコン選択後、文字項目設定のウインドが開きます。

フォントのタイプ・サイズなど設定し、データを作成します。

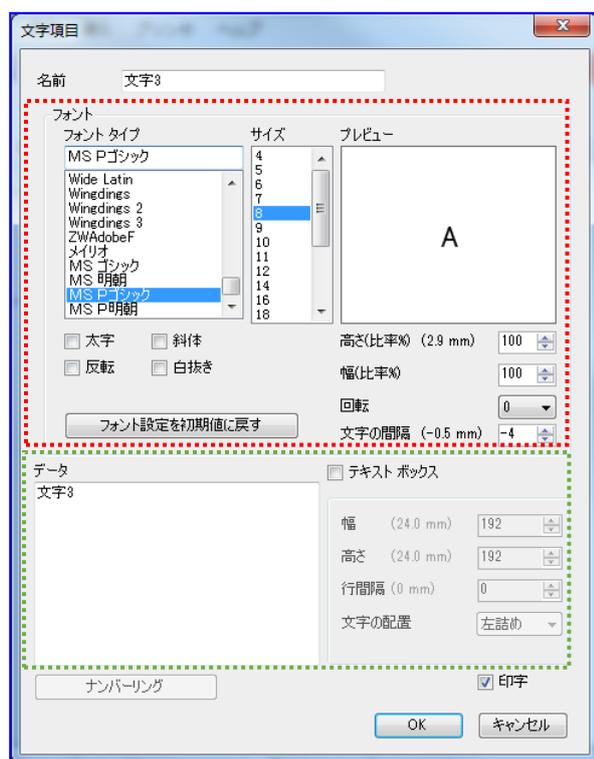
※設定・データ作成後OKボタンをクリックするとデータ作成・編集エリアに表示が変わり、ラベルイメージ上に置く事ができます。



① ツールボックスの字アイコンをクリックします。

ボタンを押すと字ボタンの背景色が変わり、離すと文字設定項目が表示されます。

既に作成されたデータの文字項目を開くには、データ上でダブルクリックする方法とデータ上で右クリック→【プロパティ】をクリックする方法、データをクリックし、メニューバー【編集】→【プロパティ】から開く方法があります。



- ①- 1 名前
文字データ作成後、項目一覧エリアに表示するの文字項目のタイトル(名称)。
- ①- 2 **フォントタイプ**
印字するフォントのタイプ(種類)。
- ①- 3 **サイズ**
選択されたフォントのサイズ(ポイント)。
- ①- 4 **プレビュー**
選択されたフォントタイプ・サイズのイメージを表示。
- ①- 5 **太字、斜体、反転、白抜き**
選択されたフォントの印字形状の指定。
- ①- 6 **高さ(比率%) (2.8mm)、幅(比率%)**
設定されたフォントに対する高さ、幅の比率(%)を表示。
※高さは比率のサイズをmmで表示
- ①- 7 **回転**
設定されたフォントのラベルに対する回転の選択
- ①- 8 **文字の間隔**
設定されたフォントの文字間隔の設定
- ①- 9 **フォント設定の初期値に戻す**
選択、変更されたフォントを初期の設定に戻します。
- ①-10 **データ**
フォント設定後、ここにデータを入力します。
- ①-11 **テキストボックス**
データ欄に入力したテキストデータをラベルイメージ上に1行表示にするかテキストボックスを範囲指定して複数行表示にするかの設定をすることができます。
- ①-12 **ナンバーリング**
発行ラベルを連番で印字することができます。
- ①-13 **印字**
テキスト項目の印字有無の選択
- ①-14 **OKボタン・キャンセルボタン**
作成したテキスト項目で決定の場合

9-①-1 文字 名前



①-1 名前

テキスト項目の名前(名称)

※初期は項目の設定された番号名

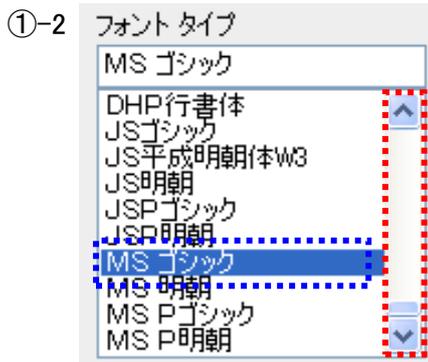
タイトル窓をクリックすると入力出来ます。

【設定文字数は全角8文字(半角16文字)】

判り易い名称をつけます。

データ作成後、項目の一覧にテキスト項目の名前が表示されます。

9-①-2 文字 フォントタイプ



①-2 フォントタイプ

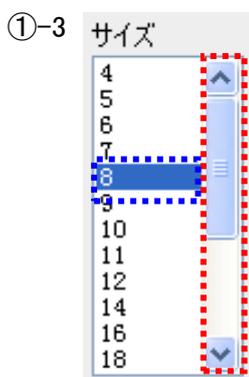
印字するフォント(書体)の選択。

※初期はMSゴシックに設定されています。

使用するパソコンに搭載されているフォントが表示されます。

スクロールバーで検索してフォントタイプを指定(クリック)します。

9-①-3 文字 フォントサイズ



①-3 サイズ (フォントサイズはポイントサイズ)

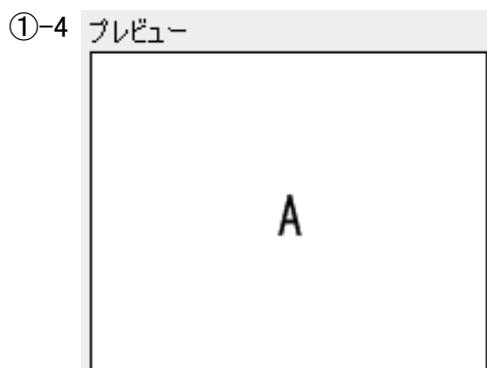
選択されたフォントのサイズの選択。

※初期は8ポイントに設定されています。

スクロールバーで選択してサイズを指定(クリック)します。

※特殊なフォント(書体)はポイントサイズどおりに印字されない場合があります。

9-①-4 文字 プレビュー



①-4 プレビュー

設定されたフォントのイメージを表示します。

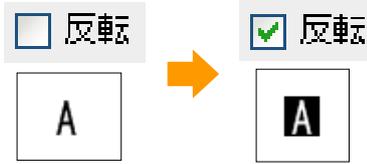
※設定されたフォントタイプ、サイズ、形状、比率、のフォントイメージを表示します。

※データ作成時どのフォントを使用するか確認します。

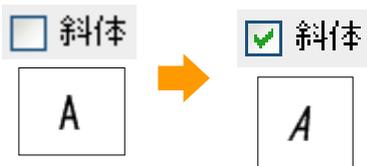
9-①-5 文字 フォント形状 太字、斜体、反転、白抜き



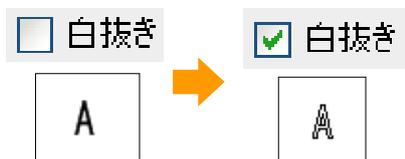
①-5 **太字**
チェックを入れると設定されたフォントが太字になります。



①-5 **反転**
チェックを入れると設定されたフォントが反転文字になります。



①-5 **斜体**
チェックを入れると設定されたフォントが斜体文字になります。

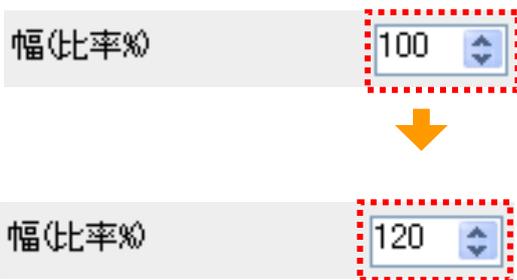


①-5 **白抜き**
チェックを入れると設定されたフォントが白抜き文字になります。

9-①-6 文字 高さ(比率%)・幅(比率%)



①-6 **高さ(比率%)**
設定されたフォントサイズに対する高さを **比率(%)** +ミリ単位で表示します。
※初期値は8ポイント100% (2.8mm)
※入力・選択窓内の比率(%)を **△▽ボタン** または **直接入力** して高さを変えることができます。
mm表示も変わります。
最小高さは1mm となります。

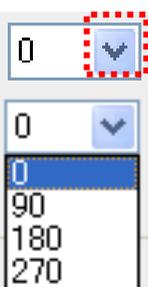


①-6 **幅(比率%)**
設定されたフォントサイズに対する幅の比率(%)を表示します。
※初期値は8ポイント100%
※入力・選択窓内の比率(%)を **△▽ボタン** または **直接入力** して幅を変えることができます。
幅はミリ表示がありません、プレビューで確認します。

※高さ・幅とも比率は、100%をお勧め致します。
比率を変えた場合は、文字の印字品質が荒くなります。

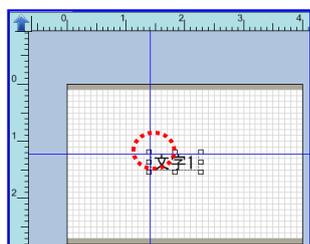
9-①-7 文字 回転

①-7 回転

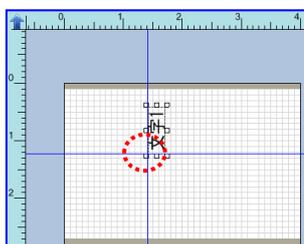


①-7 回転

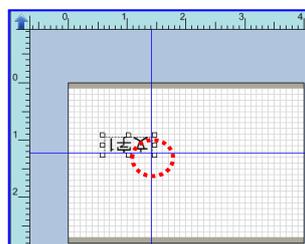
設定されたフォントのラベルに対する回転の選択。
※初期値は0度
 入力設定窓内のVボタンをクリックして選択します。
※回転はデータを置いたX座標を起点に行います。
 ラベルの端で回転をするとデータはラベル外に出ます。



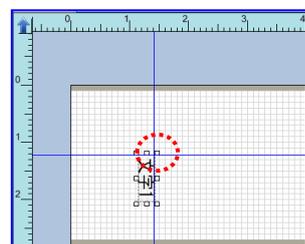
0 度



90



180 度



270 度

9-①-8 文字 文字の間隔

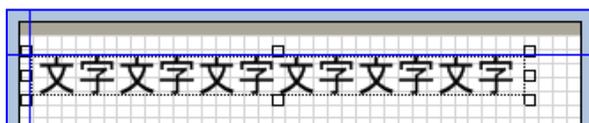
①-8

文字の間隔

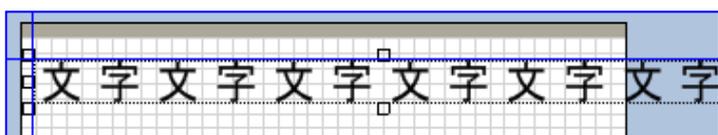


①-8 文字の間隔

設定されたテキスト項目の文字間隔の設定
※初期値は文字間隔-4ドット (-0.5mm)
※入力・選択窓内の値(ドット)を△Vボタンまたは直接入力して文字間隔を変更できます。
 mm表示も変わります。



文字間隔-4ドット(-0.5mm)



文字間隔-0ドット(0)



文字間隔-8ドット(-1.0mm)

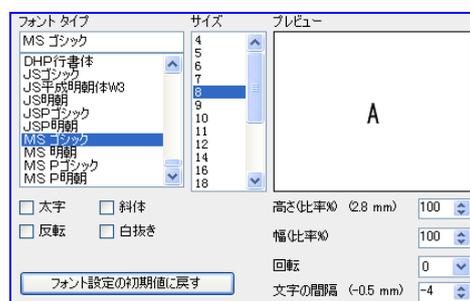
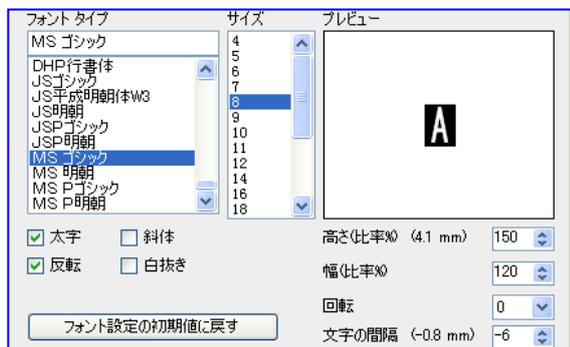
9-①-9 文字 フォント設定の初期値に戻す

①-9

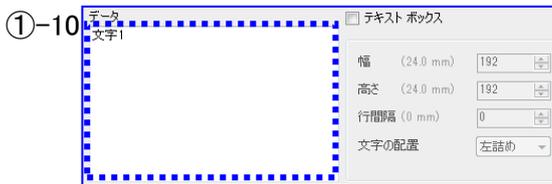
フォント設定の初期値に戻す

①-9 フォント設定の初期値に戻す

選択、変更されたフォントを初期の設定に戻します。
※初期値はMSゴシック・8ポイント・比率100%・文字間隔-4ドット・印字する。
※フォント設定の初期値に戻すボタンをクリックするとフォント設定が初期値に戻ります。



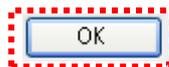
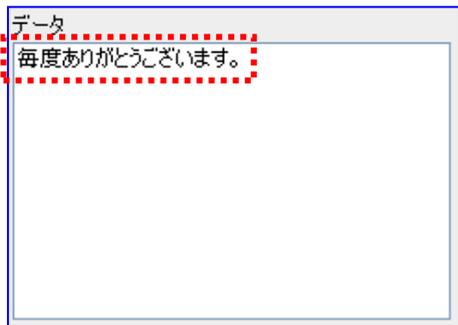
9-①-10 文字 データ



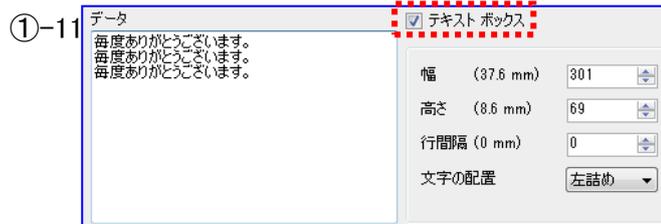
①-10 データ

フォント設定後、ここにテキスト項目を入力します。
 ※初期値は文字を設定した順に文字1、文字2の順に表示されます。

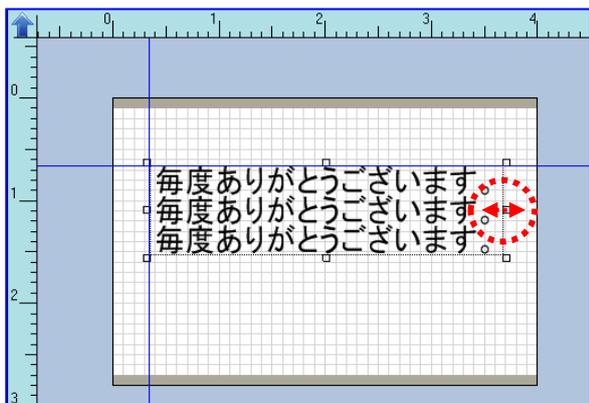
データ欄に印字するテキスト項目を入力して**OKボタン**をクリックするとラベルイメージ上に1行でテキスト項目を置くことができます。



9-①-11 文字 テキストボックス



①-11 テキストボックスにチェックを入れると、範囲指定して入力することができます。そして、**OKボタン**をクリックすると、ラベルイメージ上に複数行のテキスト項目を置く事ができます。



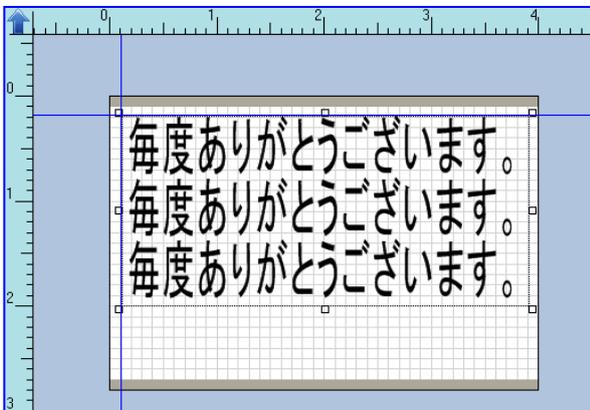
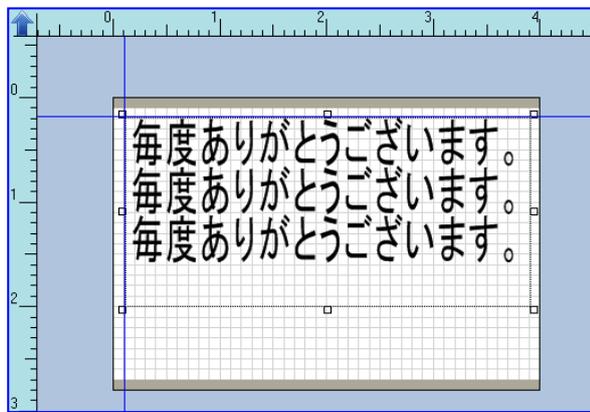
①-11 テキストボックスの拡大縮小

クリックするとテキスト項目を置くことができます。

四辺のハンドルをドラッグしてテキスト項目の枠を拡大・縮小することができます。

[shift]キーを押しながらテキスト項目の枠を拡大・縮小するとフォントサイズも連動して拡大・縮小します。
 ただし、文字間隔の変更はありません。

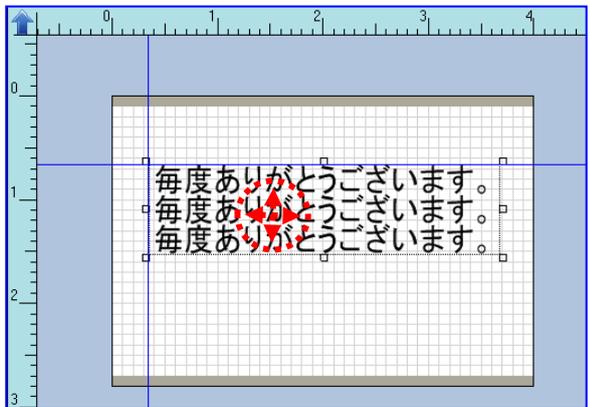




①-11 テキストボックスの拡大縮小

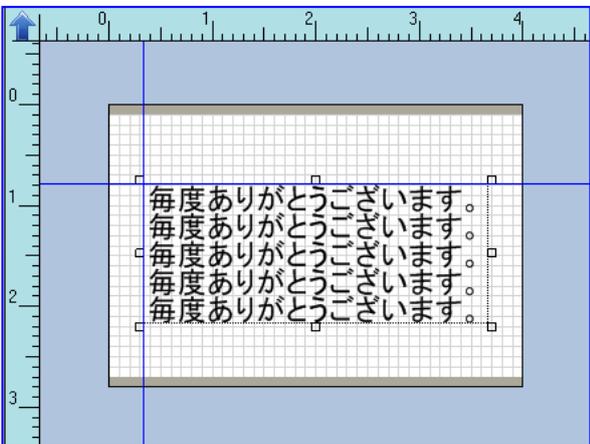
テキスト項目内で右クリックして「枠サイズにフォントサイズ調整 (自動改行なし)」をクリックすると、行が枠の範囲に収まるように自動で拡大・縮小します。
ただし、行間隔と文字間隔は、変更されません。

※メニューバーの編集ボタンからでも操作ができます。



①-11 文字項目の移動

データ内でクリックしたまま(ポインターが+矢印マークになります。)ドラッグすると移動することができます。



①-11 文字項目内の追加

文字項目内に追加したい場合は、文字項目のプロパティでデータ枠に文字を追加します。

今までの文字項目内に入りきらない場合は、全ての文字項目が表示されるように自動的に表示範囲が拡大します。

9-①-12 文字 ナンバーリング



①-12 ナンバーリングをクリックして、ナンバーリングの設定を行います。

そして、**OKボタン**をクリックすると、設定したナンバーリングでラベルに連番で印字することができます。



①-12 種類のプルダウンメニューからインクリメントを選択します。

共通ナンバーリング設定を使用にチェックが入っていないと、このレイアウトのみにナンバーリングが適用されます。

開始値と終了値が有効になります。

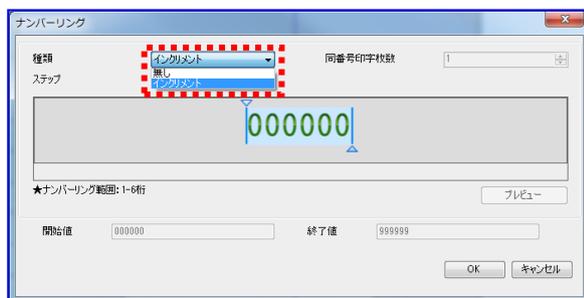


①-12 一方、共通ナンバーリング設定を使用にチェックが入っていると、入っている全てのレイアウトにナンバーリングが適用されます。

共通ナンバーリング設定を使用は、ツールバーのナンバーリングで設定を行います。



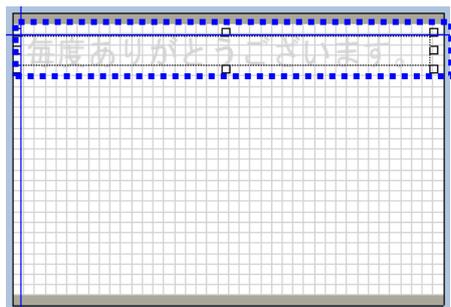
ツールバーのナンバーリング



①-12 種類のプルダウンメニューからインクリメントを選択します。

9-①-13 文字 印字

①-13 印字



①-12 印字選択

作成したデータの印字の有無の選択。

※初期は印字する状態。

作成したデータを実際には印字させない場合、チェックをはずすとデータは有りますが印字されません。

※イメージとしてはラベル上に表示するが実際には印字しないようなデータの場合に選択します。

【印刷ラベルを使用する場合など、実際に印字できるスペースを四角枠で設定するような場合】

●印字しないデータはラベルイメージの表示ではグレーで表示されます。

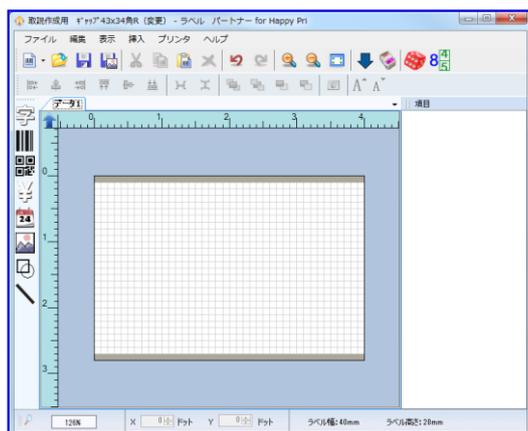
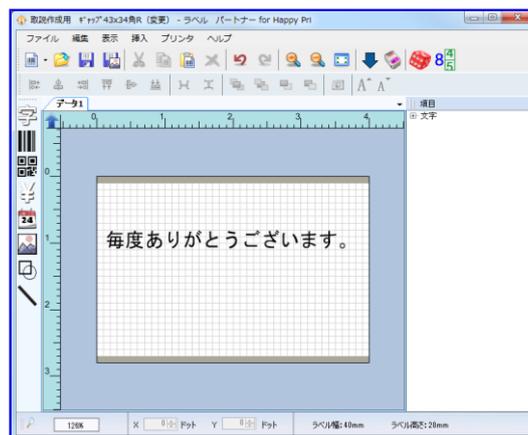
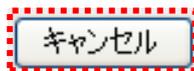
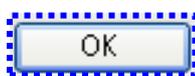
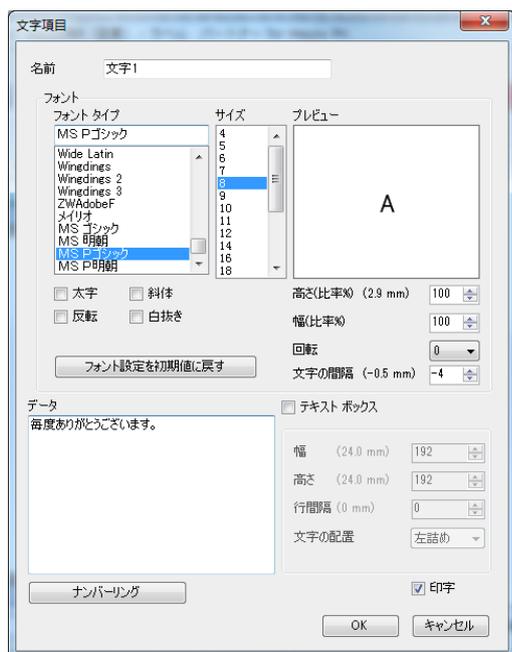
9-①-14 文字 OKボタン・キャンセルボタン

①-14

①-13 OKボタン・キャンセルボタン

OKボタンは、1項目(データ)の設定終了後、クリックするとデータ作成・編集エリアのラベルイメージに変わり設定したデータを置く事ができます。

キャンセルボタンは設定中の文字項目を中止してラベルパートナーの画面に戻ります。



9-② バーコード【一次元バーコード】



② バーコードデータ設定

一次元のバーコード項目の設定。

選択できる一次元バーコードは、JAN8・13、ITF、NW7、CODE39・128、UPCA・Eとなります。

※設定・データ作成後OKボタンをクリックするとデータ作成・編集エリアに表示が変わり、ラベルイメージ上に置く事ができます。

※バーコードは、モジュール幅を設定できますが、最低2ドット以上となります。ラベルに納まらない場合はラベルのサイズを大きくして下さい。



② ツールボックスのバーコードアイコンをクリックします。

ボタンを押すとバーコードボタンの背景色が変わり、離すとバーコード項目が表示されます。

既に作成されたデータの文字項目を開くには、データ上でダブルクリックする方法とデータ上で右クリック→【プロパティ】をクリックする方法、データをクリックし、メニューバー【編集】→【プロパティ】から開く方法があります。

名前	バーコード1
種類	JAN13
バーコードの高さ (5.0 mm)	40
モジュール幅 (0.3 mm)	2
拡大率	1:1
回転	0
付帯文字位置	下
付帯文字の配置	中央揃え
付帯文字の配置方式	(例:344)
データ	123456789012
プレビュー	
<input type="checkbox"/> NONPLU <input type="checkbox"/> プライスチェック <input checked="" type="checkbox"/> CD <input checked="" type="checkbox"/> 印字	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

②-1 名前

バーコードデータ作成後、項目一覧エリアに表示するのバーコードのタイトル(名称)。

②-2 種類

印字するバーコードの種類。

②-3 バーコードの高さ

選択されたバーコードのバーの高さ。

②-4 モジュール幅

選択されたバーコードのモジュールの幅。

②-5 拡大率

選択されたバーコードの拡大率。

②-6 回転

設定されたバーコードの回転。

②-7 付帯文字位置

設定されたバーコードの付帯文字位置。

②-8 付帯文字の配置

設定されたバーコードの付帯文字の配置。

②-9 データ

設定に基づいた印字するバーコードデータ。

②-10 プレビュー

設定されたバーコードのイメージ。

②-11 NONPLU・プライスチェック・CD
JANコードのタイプとバーコードの
チェックデジット。

②-12 印字

バーコードデータの印字有無の選択

②-13 OKボタン・キャンセルボタン
作成したバーコードデータで決定の場合
データ作成途中で中止の場合

9-②-1 バーコード 名前

②-1

名前

↓

名前

↓

名前

項目

- バーコード
- JANコード

②-1 名前

データの名前(名称)

※初期はバーコードの設定された番号名
タイトル表示窓をクリックすると**入力**が
出来ます。

【設定文字数は全角8文字(半角16文字)。
判り易い名称をつけます。

※データ作成後、項目の一覧にデータの名前が
表示されます。

9-②-2 バーコード 種類

②-2

種類

↓

JAN8
JAN13
ITF
NW7
CODE39
UPCA
UPCE
CODE128

プレビュー



②-2 バーコード種類

バーコードの種類の選択。

※初期はJAN13

バーコード種類選択ボタンをクリックすると**選択**できる
バーコードの種類が表示されます。

印字するバーコードの種類をクリックして選択します。

※選択されたバーコードがプレビューに表示されます。

9-②-3 バーコード 高さ

②-3

バーコードの高さ

↓

(10.0 mm)

↓

プレビュー



②-3 バーコードの高さ

バーコードの高さの設定。

※初期値は40ドット(5.0mm)

入力設定窓内の**△▽ボタン**をクリックまたは**直接入力**
して高さを変更できます。

入力値はドット単位で、参考として(5.0mm)とカッコ内に
ミリで表示されます。

※バーコードの高さが短いと読取れない可能性があります。

プレビューは高さを変えても変わりません。
データ作成後、データ作成・編集エリアの
ラベルイメージ上で変更する事ができます。

9-②-4 バーコード モジュール幅

②-4 モジュール幅 (0.3 mm) 2



(0.5 mm) 4



②-4 モジュール幅

バーコードの1モジュールあたりの幅 ドット単位。

※初期値は2ドット(0.3mm)

数字を大きくするとバーコードは広がります。

入力設定窓内の **△** **▽** ボタンをクリックまたは **直接入力** してモジュール幅を変更できます。

入力値はドット単位で、参考として(0.3mm)とカッコ内にミリで表示されます。

【注意】

※スキャナーで読み取れない場合がありますので、モジュール幅は、2ドット以上に設定してください。

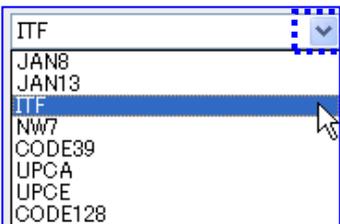
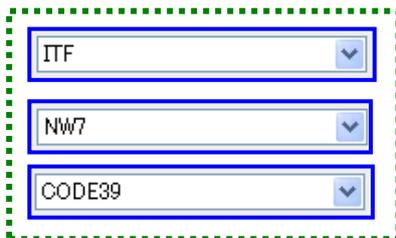
プレビューの表示も変化します。

データ作成後、データ作成・編集エリアのラベルイメージ上で変更する事ができます。

9-②-5 バーコード 拡大率

②-5 拡大率 1:1

JAN8



ITF

②-5 拡大率

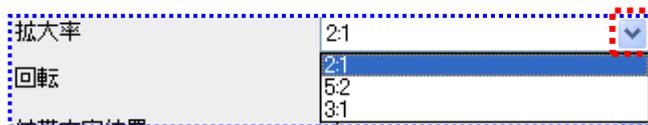
バーコードの種類により拡大率の変更ができます。

※初期値は拡大率2:1

拡大率の変更ができるバーコードの種類を選択すると有効となり入力設定窓内の **▽** ボタンをクリックすると拡大率が選択できます。

拡大できるバーコードの種類はITF・NW7・CODE39で、拡大率は2:1、5:2、3:1のいずれかとなります。

プレビューの表示も変化します。



2:1



5:2

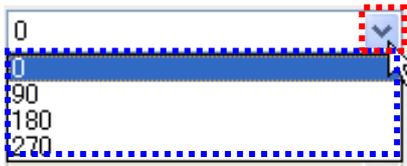


3:1



9-②-6 バーコード 回転

②-6 回転 0



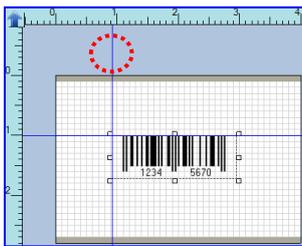
②-6 回転

設定されたバーコードのラベルに対する回転の選択。

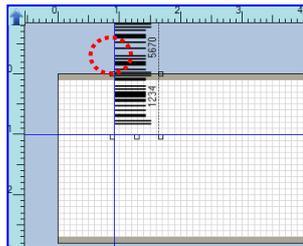
※初期値は0度

入力設定窓内のVボタンをクリックすると回転角度が選択できます。

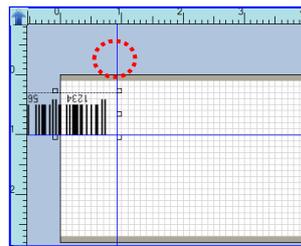
※回転はバーコードを置いたX座標を起点に行います。
ラベルの端で回転をするとバーコードはラベル外に出ます。



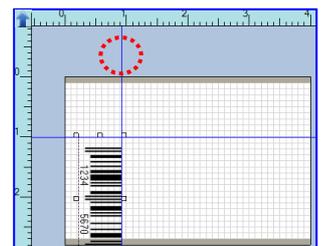
0 度



90



180 度



270 度

データ作成後、データ作成・編集エリアのラベルイメージ上で位置を変更する事ができます。

9-②-7 バーコード 付帯文字位置

②-7 付帯文字位置 下



②-7 付帯文字の有無、印字位置の設定

バーコードに対する付帯文字の印字位置。

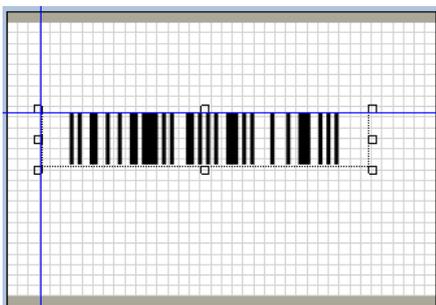
※初期値は下

入力設定窓内のVボタンをクリックすると選択できます。

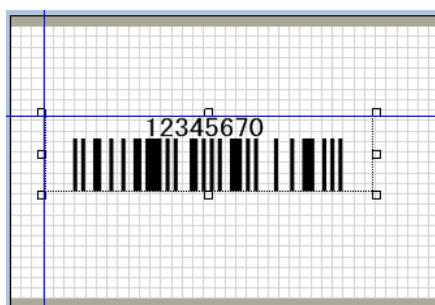
※なしは付帯文字を印字しません。

上はバーコードの上に印字します。

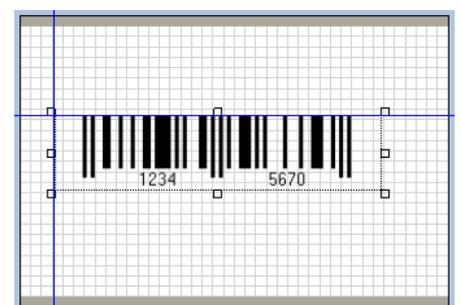
下はバーコードの下に印字します。



なし



上



下

9-②-8 バーコード 付帯文字の配置

②-8 付帯文字の配置 中央揃え

JAN8 ▼

ITF
NW7
CODE39
CODE128

中央揃え
左詰め
中央揃え
右詰め
均等
カスタマイズ定義

②-8 付帯文字の配置

バーコードの種類による付帯文字の配置。

※初期値は中央揃え

配置の変更ができるバーコードの種類を選択すると有効となり入力設定窓内のVボタンをクリックすると配置が選択できます。

配置設定できるバーコードの種類はITF・NW7・CODE39・CODE128で、配置は左詰め・中央揃え・右詰め・均等・カスタマイズ定義のいずれかとなります。

カスタマイズ定義を選択すると付帯文字の配置方式の入力窓が開き、任意に配置を設定できます。



左詰め



中央揃え



右詰め



均等

付帯文字の配置 カスタマイズ定義
付帯文字の配置方式 (例:3,4,4)

配置方式に2のみ入力すると



中央揃え

2



2、8

9-②-9 バーコード データ

②-9 データ
12345670

②-9 データ

設定されたバーコードのデータとなります。

※初期値は数字1からの順でバーコードに合せた桁数。

バーコードの設定が終わりましたらバーコードデータを入力します。

データ入力窓のサンプルデータを削除してデータを入力します。

※JAN・UPCはチェックデジット(C/D)が必須です。

○ 設定桁数を入力すると末尾1桁は正しいC/Dに変更されます。

○ C/Dが不明な時は設定桁数-1桁を入力するとC/Dが自動計算され追加されます。

※データの入力はプレビューのバーコードが表示されるまではエラー警告が表示されます。
(バーコードが成立するとプレビューにバーコードが表示されます。)

②-9

データ
123

プレビュー
入力したバーコードデータエラーか桁数不足

JAN8桁入力中、桁数が不足している間、表示されます。

データ
123456789

プレビュー
入力したバーコードデータエラーか桁数不足

JAN8桁入力中、桁数がオーバーして表示されます。



データ
1234567

プレビュー

1234 5670

7桁入力するとC/Dが自動計算されプレビューにバーコードが表示され、バーコードが成立した事がわかります。

データ
12345678

プレビュー

1234 5670

8桁入力すると8桁目を正しいC/Dにしてプレビューにバーコードが表示されます。入力したデータとプレビューのバーコード表示が異なります。




1234 5670

OKボタンをクリックし、データ作成・編集エリアのラベルイメージに表示します。

データ
12345670

プレビュー

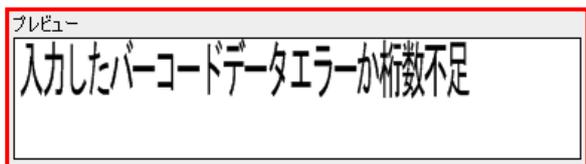
1234 5670

ラベルイメージに表示されたバーコードをダブルクリックしプロパティを開くと正しいバーコードデータに修正されている事がわかります。

9-②-10 バーコード プレビュー

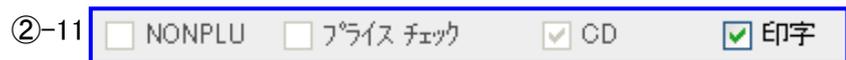


②-10 プレビュー
 バーコードデータの状態を表示。
 ※初期は各バーコードサンプルを表示
 データ桁数不足(オーバー)時の警告表示と、
 成立したバーコードをイメージ表示します。
 ※入力したデータでバーコードが成立すると
 バーコードを表示します。



エラー表示。

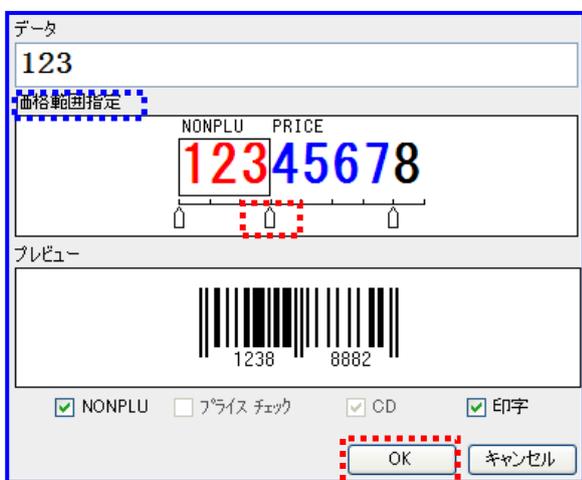
9-②-11 バーコード NONPLU・プライスチェック・CD



②-11 NONPLU
 バーコードの体系NONPLUの設定。
 ※初期はPLU
 ※JANコード8桁、13桁のみ設定が可能となります。



バーコードの種類をJAN8またはJAN13を選択すると
 NONPLU選択ボックスが実線表示になりチェックを入れる
 と選択されたバーコードのNONPLU設定が表示されます。



○ JAN8桁
 8桁バーコードのNONPLU価格桁数設定画面です。
 NONPLUの下のマークをドラッグして範囲を設定
 します。
 ※8桁NONPLUは価格が4桁の為ドラッグすると
 エラー表示となります。

価格範囲指定後OKボタンをクリックすると
 データ作成・編集エリアに表示が変わります。

②-11

データ
12345678

価格範囲指定

NONPLU PRICE
1234567890123

プレビュー

1 234567 888880

NONPLU プライス チェック CD 印字

OK キャンセル



データ
1234567

価格範囲指定

NONPLU PRICE
1234567890123

プレビュー

1 234567 088884

NONPLU プライス チェック CD 印字

OK キャンセル

○ JAN13桁 (NONPLU・プライスチェックデジット)
13桁バーコードのNONPLU価格桁数設定
画面です。

※初期はPLU

JAN13桁NONPLUにチェックを入れた場合のみ
プライスチェックの設定ボックスが実線になります。
プライスチェックが有る場合はチェックを入れます。
(プライスチェックが無い時は8桁と同様に価格範囲指定
の下のマークをドラッグして価格範囲を設定します。)

※ここではプライスチェック有で説明いたします。

プライスチェックボックスにチェックを入れると
NONPLUプライスチェック設定に変わります。

NONPLUの下にマークが追加表示されます。

※マークが表示され、ドラッグはできますが
プライスチェック有の価格は4桁なので移動
するとエラー表示となります。

価格範囲指定後OKボタンをクリックすると
データ作成・編集エリアに表示が変わります。

②-11

NONPLU プライス チェック CD 印字

②-13 チェックデジット

設定するバーコードのチェックデジットの有無の設定。

※初期はJAN8・13、UPCA・E、CODE128は、有 (選択はできません。)
ITF、NW7、CODE39は、有 (選択後設定できます。)

※JANIはNONPLUの設定ができます。

NONPLU プライス チェック CD 印字

バーコード種類 UPCA・E、CODE128を選択時。
CD(チェックデジット)は必須のため選択できません。

NONPLU プライス チェック CD 印字

バーコード種類 ITF、NW7、CODE39を選択時。
CD(チェックデジット)の有・無の選択ができます。

9-②-12 バーコード 印字

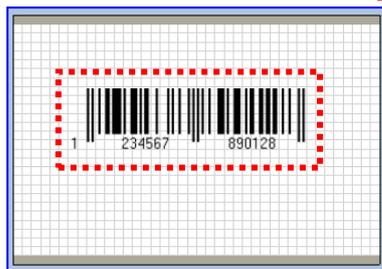
②-12 NONPLU プライス チェック CD 印字

②-14 印字

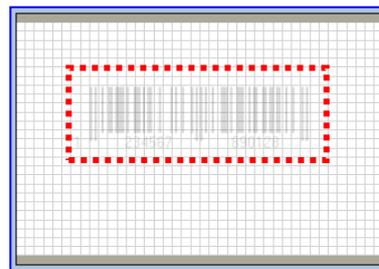
設定・作成されたバーコードの印字の有無の選択。

※初期は印字 有

※バーコードデータを作成後チェックをはずしてOKするとデータ作成・編集エリアのラベルイメージ上はバーコードデータはありますが、グレー表示になり印字されません。



印字チェック有



印字チェック無

9-②-13 バーコード OKボタン・キャンセルボタン

②-13

②-15 OKボタン・キャンセルボタン

OKボタンは、1項目(データ)の設定終了後、クリックするとデータ作成・編集エリアのラベルイメージに変わり設定したデータを置く事ができます。

キャンセルボタンは設定中の文字項目を中止してラベルパートナーの画面に戻ります。

9-③ 2次元コード【QR・GS1・PDF417】



③ 2次元コードデータ設定

QR、GS1、PDF417のコード項目の設定。

選択できる2次元コードは、QR、GS1DataBar (RSS)、PDF417となります。

※QRコードの訂正レベル、セルサイズを上げるほど、印字するコードは大きくなりますが汚れた場合などの読み取りは良くなります。

表示するスペースに合わせて設定して下さい。

※ラベルパートナーでは、GS1データバーを2次元コードに分類しています。



③ ツールボックスの2次元コードアイコンをクリックします。

ボタンを押すと2次元コードボタンの背景色が変わり、離すと2次元コード項目が表示されます。

既に作成されたデータの文字項目を開くには、データ上でダブルクリックする方法とデータ上で右クリック→【プロパティ】をクリックする方法、データをクリックし、メニューバー【編集】→【プロパティ】から開く方法があります。

③-1 名前

2次元コードデータ作成後、項目一覧エリアに表示するの2次元コードのタイトル(名称)。

③-2 回転

設定された2次元コードの回転。

③-3 種類: オプション

印字する2次元コードの種類選択、選択された2次元コードの設定。

③-4 データ

設定に基づいた2次元コードのデータ。

③-5 プレビュー

設定された2次元コードのイメージ。

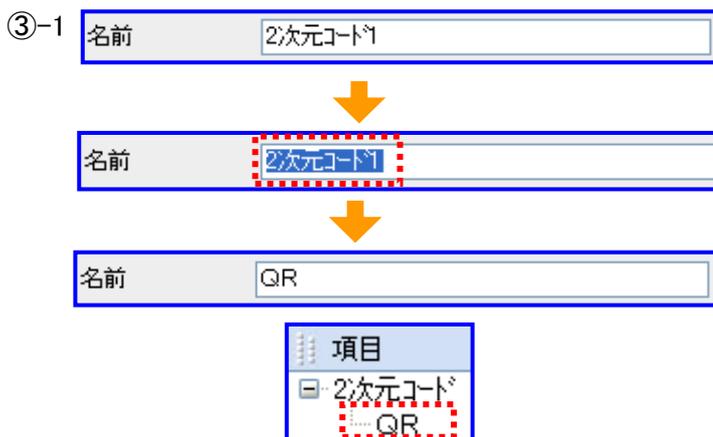
③-6 印字

2次元コードデータの印字有無の選択。

③-7 OKボタン・キャンセルボタン

作成した2次元コードデータで決定の場合、データ作成途中で中止の場合

9-③-1 2次元コード QRコード 名前



③-1 名前

データの名前(名称)

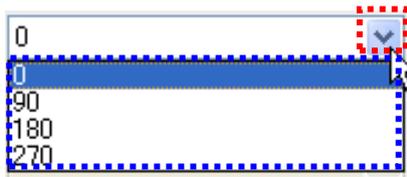
※初期は2次元コードの設定された番号名
タイトル表示窓をクリックすると入力
ができます。

【設定文字数は全角8文字(半角16文字)。
判り易い名称をつけます。

※データ作成後、項目の一覧にデータの
名前が表示されます。

9-③-2 2次元コード QRコード 回転

③-2 回転 0



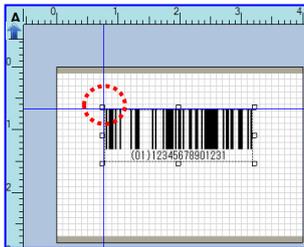
③-2 回転

設定された2次元コードのラベルに対する回転の選択。

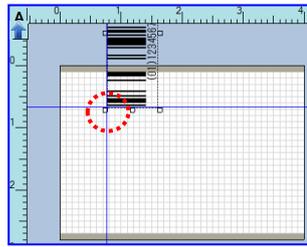
※初期値は0度

入力設定窓内のVボタンをクリックすると回転角度が選択できます。

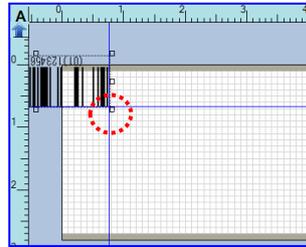
※回転は2次元コードを置いたX座標を起点に行います。ラベルの端で回転をすると2次元コードはラベル外に出ます。



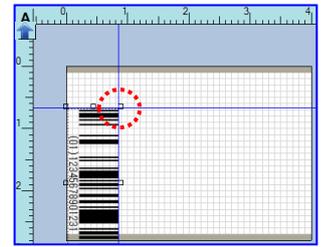
0 度



90



180 度



270 度

データ作成後、データ作成・編集エリアのラベルイメージ上で位置を変更する事ができます。

9-③-3 2次元コード QRコード 種類

③-3 種類 QRコード



③-3 2次元コード種類

2次元コードの種類の選択。

※初期値はQR

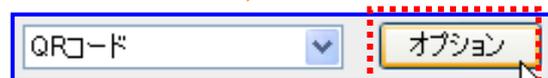
種類選択窓内のVボタンをクリックすると選択できる2次元コードの種類が表示されます。

印字する2次元コードの種類をクリックして選択します。

※選択されたバーコードがプレビューに表示されます。

9-③-4 2次元コード QRコード オプション

③-4 種類 QRコード



③-4 QRコード オプション

QRコードのエラー訂正レベル、セルサイズ設定。

※初期値: 訂正レベルL(7%)、セルサイズ4(0.5mm)

QRコードを選択し、オプションをクリックします。

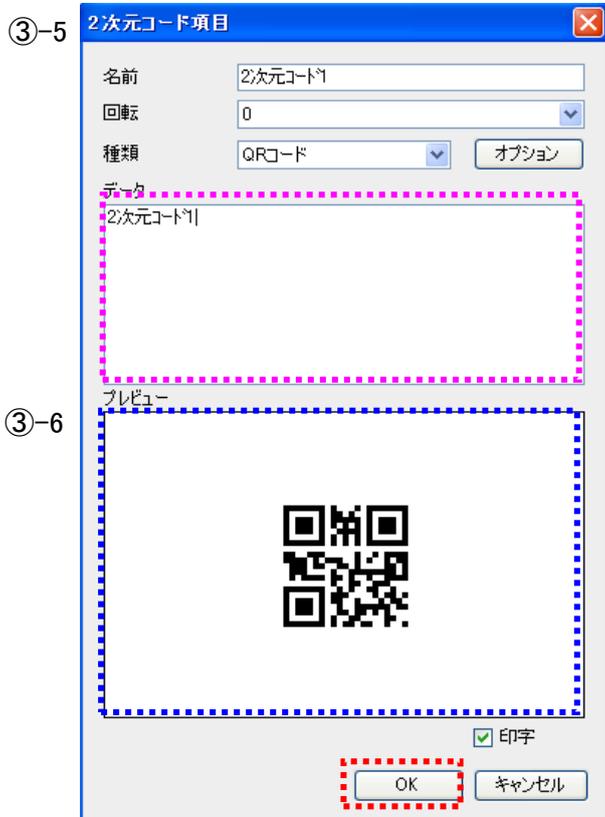
QRコードの訂正レベル、セルサイズを上げるほど、印字するQRコードは大きくなります。

※選択されたバーコードがプレビューに表示されます。



エラー訂正レベルは **Vボタン** をクリックして選択します。
 セルサイズは **^ Vボタン** をクリックして選択します。
 ※選択後、**OKボタン** をクリックします。

9-③-5,6 二次元コード QRコード データ、プレビュー

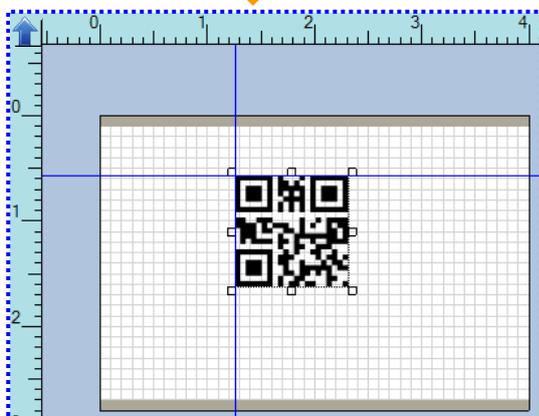


③-5 **データ項目** に **データ** を入力します。

③-6 **プレビュー** にイメージが表示されます。

③-7 **印字** 印字の有無選択。

③-8 **OKボタン** をクリックします。



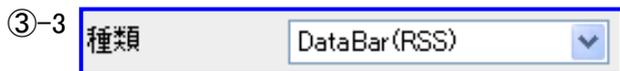
データ作成・編集エリアのラベルイメージにQRコードが表示されます。
 ※ドラッグして位置を移動することができます。
 ※プロパティを開き、内容の変更ができます。
 (プロパティの開き方は前項、9-③2次元コード QR・GS1・PDF417の項を参照下さい。)

9-③-7 QRコード 印字

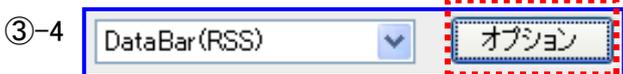
9-③-8 QRコード OKボタン・キャンセルボタン

9-③-7 **印字**、9-③-8 **OKボタン**・**キャンセルボタン** は、前項9-②バーコード印字、バーコードOKボタン・キャンセルボタンの項を参照して下さい。

9-③-3,4,5 2次元コード GS1 DataBar(RSS) 種類、オプション、データ



③-3 2次元コード種類
2次元コードの種類の選択。DataBar(RSS)選択



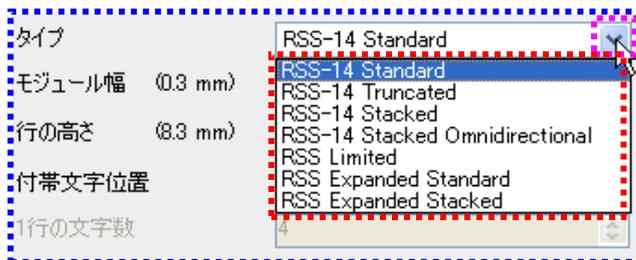
③-4 DataBar オプション
DataBarを選択し、オプションをクリックします。



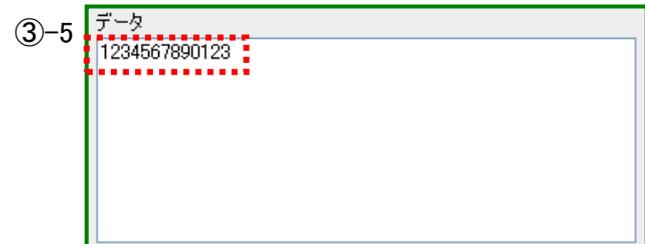
③-3 DataBarのタイプ・モジュール・行の高さ・付帯文字位置・1行のシンボル数の窓が開きます。
※初期はRSS-14 Standard、モジュール幅2ドット(0.3mm)、行の高さ66ドット(8.3mm)、付帯文字位置下タイプの選択、付帯文字位置は、Vボタンをクリックして選択ます。
モジュール幅・行の高さ・1行の文字数は、∧Vボタンをクリックするか直接入力(ドット数)します。
※OKボタンをクリックするとデータ入力・プレビュー画面となります。



タイプ選択はVボタンをクリックし、
選択するタイプをクリックします。



プレビューの入力したバーコードエラー表示はデータ項目に、初期値の2次元コード1の文字が有る為です。
※正しいデータを入力し、設定されたコードが成立するとプレビューにコードが表示されます。



③-5 データ項目にデータを入力します。

9-③-6,7,8 二次元コード GS1 DataBar(RSS) プレビュー、印字、OKボタン・キャンセルボタン

③-6 2次元コード項目

名前 2次元コード1

回転 0

種類 DataBar(RSS) オプション

データ 1234567890123

③-7 プレビュー



③-8 印字

OK キャンセル

③-6 プレビューに**イメージ**が表示されます。

③-7 **印字** 印字の有無選択。

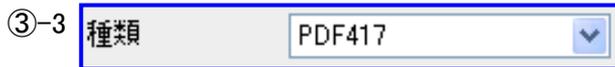
③-8 **OKボタン**をクリックします。



データ作成・編集エリアのラベルイメージにGS1【DataBar】が表示されます。
※ドラッグして位置を移動することができます。
※プロパティを開き、内容の変更ができます。
(プロパティの開き方は前項、9-③2次元コードQR・GS1・PDF417の項を参照下さい。)

9-③-7 **印字**、9-③-8 **OKボタン・キャンセルボタン**は、前項9-②バーコード印字、バーコードOKボタン・キャンセルボタンの項を参照して下さい。

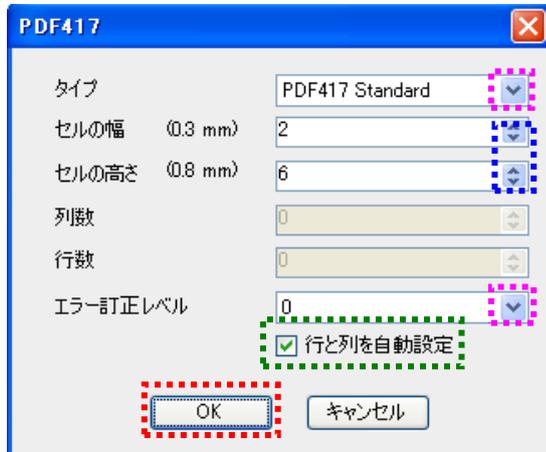
9-③-3,4,5 二次元コード PDF417 種類、オプション、データ



③-3 二次元コード種類
二次元コードの種類を選択。PDF417選択



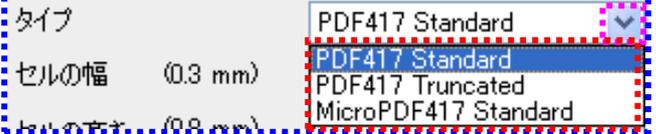
③-4 PDF417 オプション
PDF417を選択し、オプションをクリックします。



③-4 PDF417のタイプ・セルの幅・セルの高さ・エラー訂正レベル・行と列を自動調整の窓が開きます。
※初期はPDF417 Standard、セルの幅2ドット(0.3mm)、セルの高さ6ドット(0.8mm)、エラー訂正レベル0、行と列を自動設定。
タイプの選択、エラー訂正レベルは、Vボタンをクリックして選択ます。
セルの幅・セルの高さ・【(列数・行数)行と列を自動設定を解除後設定】は、^Vボタンをクリックするか直接入力(ドット数)します。
※OKボタンをクリックするとデータ入力・プレビュー画面となります。



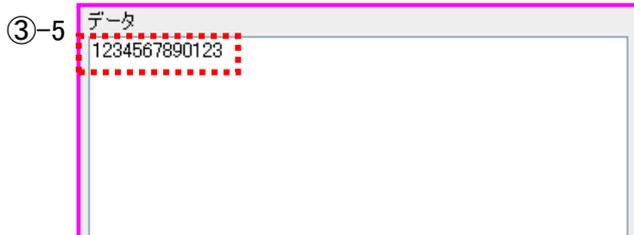
タイプ選択はVボタンをクリックし、
選択するタイプをクリックします。



行と列を自動設定のチェックをはずすと
列数・行数の設定ができます。



プレビューに表示されているコードは、初期値の
二次元コード1の文字のデータです。
※正しいデータを入力すると、プレビューの表示が変わります。



③-5 データ項目にデータを入力します。

9-③-6,7,8 2次元コード PDF417 プレビュー、印字、OKボタン・キャンセルボタン

③-6 2次元コード項目

名前 2次元コード1

回転 0

種類 PDF417 オプション

データ
1234567890123

③-7 プレビュー

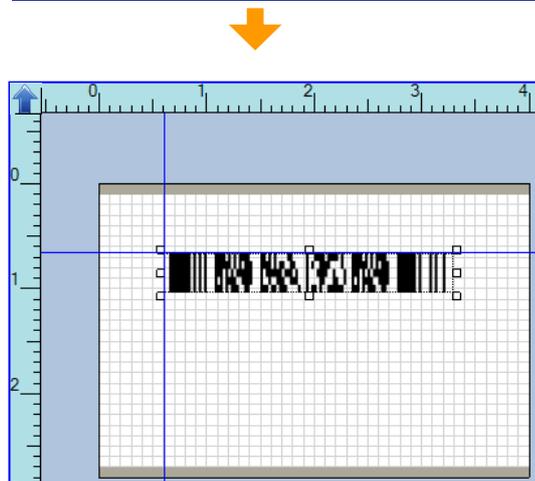
③-8 印字

OK キャンセル

③-6 プレビューにイメージが表示されます。

③-7 印字 印字の有無選択。

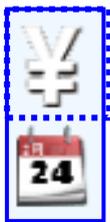
③-8 OKボタンをクリックします。



データ作成・編集エリアのラベルイメージにPDF417が表示されます。
※ドラッグして位置を移動することができます。
※プロパティを開き、内容の変更ができます。
(プロパティの開き方は前項、9-③2次元コードQR・GS1・PDF417の項を参照下さい。)

9-③-7 印字、9-③-8 OKボタン・キャンセルボタンは、前項9-②バーコード印字、バーコードOKボタン・キャンセルボタンの項を参照して下さい。

9-④ 価格 価格データ



④ 価格データ設定

印字する価格データを作成。

価格ボタン選択後、価格項目設定のウインドが開きます。

フォントのタイプ・サイズなど設定し、データを作成します。

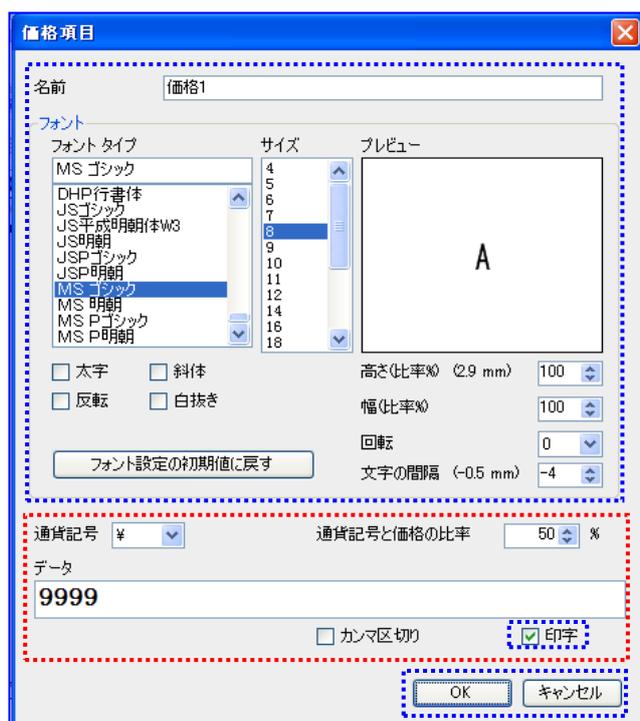
※設定・データ作成後OKボタンをクリックするとデータ作成・編集エリアに表示が変わり、ラベルイメージ上に置く事ができます。



④ ツールボックスの¥アイコンをクリックします。

ボタンを押すと¥アイコンの背景色が変わり、離すと価格設定項目が表示されます。

既に作成されたデータの価格項目を開くには、データ上でダブルクリックする方法とデータ上で右クリック→【プロパティ】をクリックする方法、データをクリックし、メニューバー【編集】→【プロパティ】から開く方法があります。



※名前・フォントタイプ・フォントサイズ・プレビュー・太字・反転・斜体・白抜き・フォント設定の初期値に戻すボタン・高さ比率・幅比率・回転・文字の間隔・印字選択・OKボタン・キャンセルボタンの設定は、前項【文字項目】と同様となります。

※ 9-①を参照下さい。

④-1 通貨記号

表示する価格マークの選択。

④-2 通貨記号と価格フォントとの比率

設定したフォントと価格記号の比率の設定。

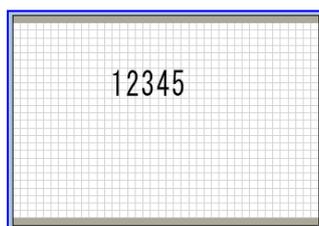
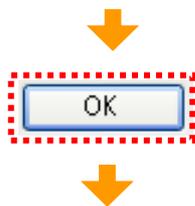
④-3 データ

設定後、ここに価格データを入力します。

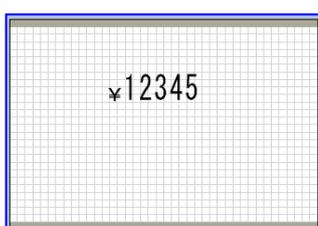
④-4 カンマ区切り

価格の区切りのカンマの有無の設定。

9-④-1 価格 通貨記号



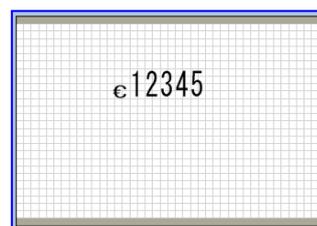
記号 なし



記号 ¥



記号 \$



記号 €

④-1 通貨記号

価格の前に付ける通貨記号の選択。

※初期値は¥

入力設定窓内のVボタンをクリックして選択します。

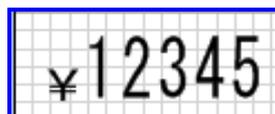
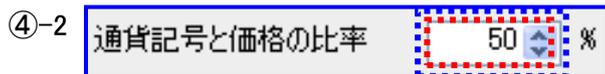
※価格の後に円を表示する場合は無を選択して
円の項目を文字データとして作成します。

④-1 選択後OKボタンをクリックすると、
データ作成・編集エリアのラベルイメージに
データが置けます。

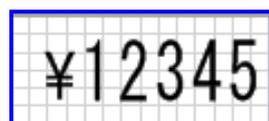
※位置の移動はラベルイメージ上で調整できます。

※設定の変更はプロパティで行います。

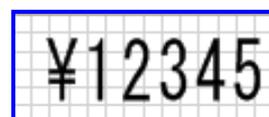
9-④-2 価格 通貨記号と価格フォントの比率



比率 50%



比率 80%



比率 100%

④-2 通貨記号と価格フォントの比率

選択した価格文字に対する通貨記号の大きさの比率。

※初期値は50%

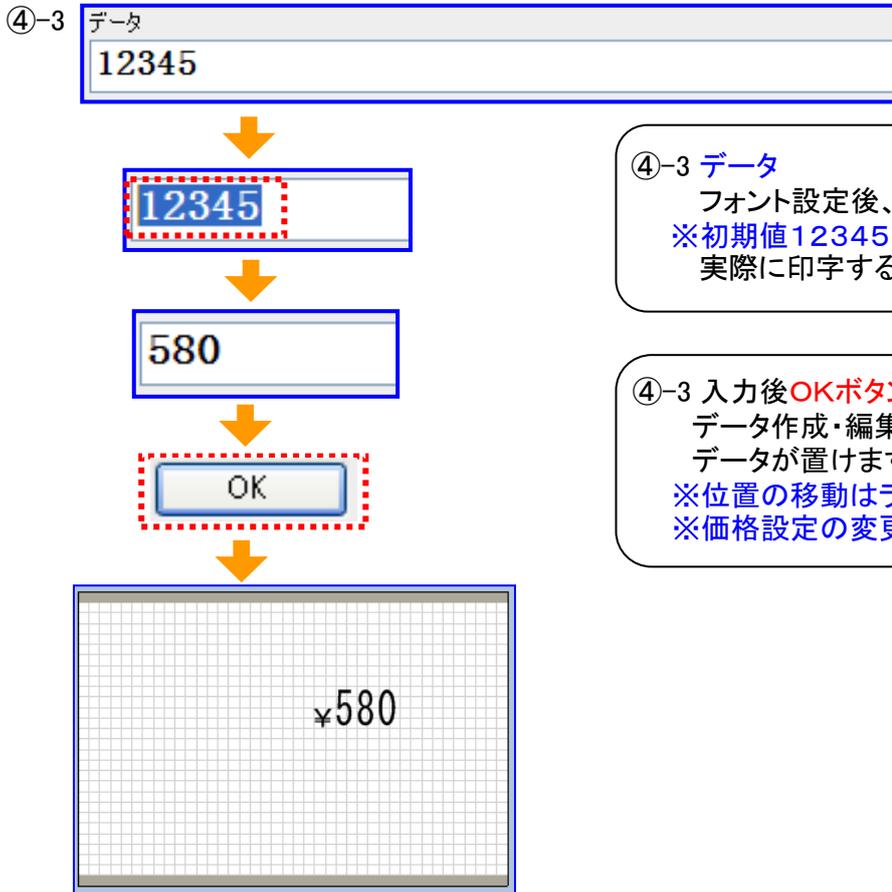
※入力・選択窓内の値(%)を^Vボタンまたは
直接入力して比率を変更できます。

④-2 選択後OKボタンをクリックすると、
データ作成・編集エリアのラベルイメージに
データが置けます。

※位置の移動はラベルイメージ上で調整できます。

※設定の変更はプロパティで行います。

9-④-3 価格 データ



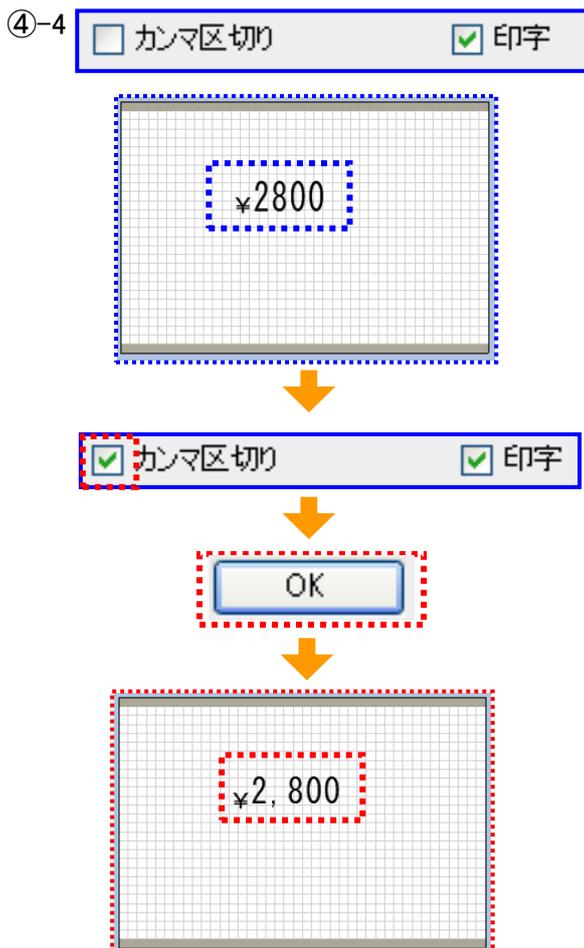
④-3 データ

フォント設定後、ここに価格データを入力します。
※初期値 12345
実際に印字する価格データを入力します。

④-3 入力後OKボタンをクリックすると、

データ作成・編集エリアのラベルイメージにデータが置けます。
※位置の移動はラベルイメージ上で調整できます。
※価格設定の変更はプロパティで行います。

9-④-4 価格 カンマ区切り



④-4 カンマ区切り

価格の区切りにカンマの有無の選択。
※初期値は区切り無し
カンマが必要な場合はカンマ区切りに
チェックを入れます。

④-4 選択後OKボタンをクリックすると、

データ作成・編集エリアのラベルイメージにデータを置くことができます。
※位置の移動はラベルイメージ上で調整できます。
※価格設定の変更はプロパティで行います。

⑤ 日付データ設定

印字する日付項目のデータを作成。

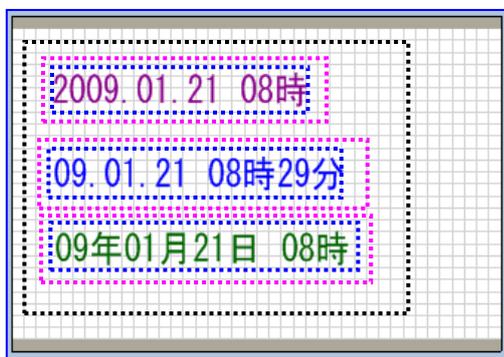
◎ 日付項目は

- 1) 日付項目は、1データに**3件(セット)**まで設定が可能。
※【最大項目数6項目。5項目設定済みの場合は追加できません。】
- 2) 日付項目は、時刻項目と**セット**で設定されます。
※【設定された日付項目は時刻項目と自動でリンク(関連付け)されます。※同色で表示】
- 3) 日付項目と時刻項目がリンク(関連付け)された設定の、**時刻項目に補正**が有る場合は、**日付項目は補正後の時刻項目に連動**します。
- 4) 設定され、データ作成・編集エリアに置かれた**日付項目**と**時刻項目**は**別々に、設定・移動**します。
- 5) 日付項目と時刻項目が離れていても、**同色であればリンク(関連付け)**されています。
- 6) 日付項目のみ・時刻項目のみを利用する場合は一度設定し、データ作成・編集エリアのラベルイメージに表示された不要ないずれかの項目を削除します。
※【リンク(関連付け)先が無くなり項目は**黒色**で表示されます。】

※ **日付項目の数字は初期のフォント・サイズの半角**となります。

既に作成された日付項目を開くには、

- ① 日付項目上でダブルクリックする方法
- ② 日付項目上で右クリック→【プロパティ】をクリックする方法
- ③ 日付項目をクリックし、メニューバー【編集】→【プロパティ】から開く方法があります。



1) 3件設定

2) 日付項目・時刻項目をセットで設定

3) 日付項目・時刻項目がリンク(関連付け)



4) 日付項目・時刻項目個別に設定・移動

5) 同色項目は離れてもリンク(関連付け)有

6) 単独日付項目、リンク(関連付け)無

9-⑤ 日付 日付データ

⑤



⑤ 日付データ設定

印字する日付項目のデータを作成。

日付アイコン選択後、日付項目設定のウインドが開きます。

フォントのタイプ・サイズ・日付の方式・補正值など設定します。

※設定後OKボタンをクリックするとデータ作成・編集エリアに表示が変わり、ラベルイメージ上に置くことができます。



⑤ ツールボックスの日付アイコンをクリックします。

ボタンを押すと日付アイコンの背景色が変わり、離すと日付設定項目が表示されます。



日付と時刻項目

フォント

フォントタイプ	サイズ	プレビュー
MS ゴシック	4	A
DHP行書体	5	
JSゴシック	6	
JS平成明朝体W3	7	
JS明朝	8	
JSPゴシック	9	
JSP明朝	10	
MSゴシック	11	
MS明朝	12	
MSゴシック	14	
MS明朝	16	
MSゴシック	18	

太字 斜体 高さ(比率%) (2.9 mm) 100
 反転 白抜き 幅(比率%) 100
 回転 0
 文字の間隔 (-0.5 mm) -4

日付 時刻

名前 日付1

フォーマット yyyy.mm.dd 区切り .

固定日付 年_月_日

日付補正 補正日数 0

曜日設定

曜日印字 形式 曜日 括弧付き

暦設定

暦 西暦 和暦元年設定

すべて全角文字にする 印字

※フォントタイプ・フォントサイズ・プレビュー・太字・反転・斜体・白抜き・フォント設定の初期値に戻すボタン・高さ比率・幅比率・回転・文字の間隔・名前・印字選択・OKボタン・キャンセルボタンの設定は、前項【文字項目】と同様となります。

※ 9-①を参照下さい。

日付設定

⑤-1 日付・時刻選択ボタン

日付項目・時刻項目の選択。

⑤-2 フォーマット(日付・時刻)

日付・時刻の表示の書式選択(設定)。

⑤-3 区切り(日付・時刻)

年月日の区切り文字の選択。

⑤-4 固定日付・固定時間

時計にかかわらず印字させる日付の設定。

⑤-5 日付補正・時間補正

内蔵時計に加算する日数。

⑤-6 曜日設定

曜日の印字と表示形式の選択。

⑤-7 暦設定

印字する年号の設定。(西暦・元号)

⑤-8 すべて全角文字にする(日付・時刻)

設定された日付項目を一括で全角に変更する選択。

時刻設定

⑤-9 時間システム

印字する時間の書式の選択。

日付 時刻

名前 時刻1

フォーマット h 区切り 漢字

時間システム 24時間

固定時間 時_分_秒

時間補正 補正日数 0 補正単位 時

すべて全角文字にする 印字

9-⑤-1 日付 日付・時刻の選択

⑤-1 日付 時刻

⑤-1 日付・時刻選択

日付項目設定・時刻項目設定の選択。

※初期は日付

日付、時刻いずれかの**タブ**をクリックして選択します。

※日付タブをクリックすると日付項目設定が、時刻タブをクリックすると時刻項目設定が開きます。

日付 時刻

9-⑤-2 日付 フォーマット 日付・時刻

⑤-2 フォーマット yyyy.mm.dd

⑤-2 日付フォーマット

印字する日付の書式設定。

※初期は西暦4桁月2桁日2桁

入力設定窓内の**Vボタン**をクリックして選択・変更します。

yyyy.mm.dd は西暦0000. 00. 00

yyyy. m. d は0000. 0. 0 月日、前の0をスペース

yyyy.m.d は0000. 0. 0 月日、前の0削除

mm. dd は 月2桁日2桁 00. 00

dd は 日2桁 00

dd.mm.yy は日付、月、年号の順に印字します。

OK

⑤-2 選択、入力後OKボタンをクリックすると、

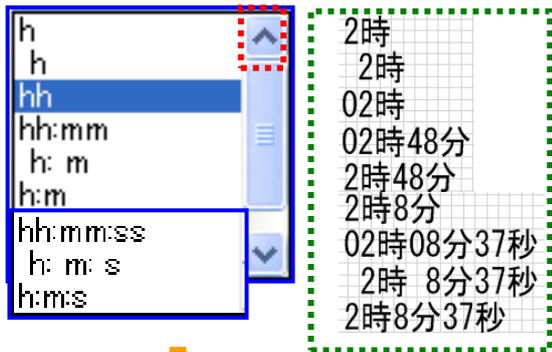
データ作成・編集エリアのラベルイメージに日付・時刻データが置けます。

※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。

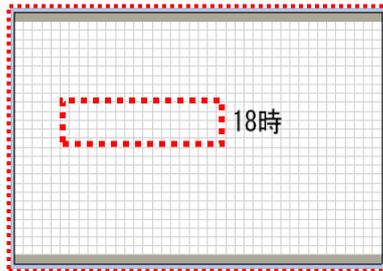
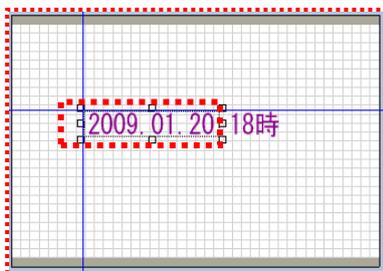
※設定の変更はプロパティで行います。

※日付項目を設定すると時刻項目が自動で表示されます。時刻が不要な場合は削除して下さい。

⑤-2 フォーマット hh



OK



⑤-2 時刻フォーマット

印字する時刻の書式選択。

※初期は時間 2桁

入力設定窓内の **Vボタン** をクリックして選択します。
hh は時刻2桁、h は左詰め、h は前の0をスペース、
hh:mmは時間:分各2桁、h: mは0をスペース、
h:mは0を左詰め以下同様となります。

⑤-2 選択、入力後 **OKボタン** をクリックすると、
データ作成・編集エリアのラベルイメージに
日付・時刻データが置けます。

※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と
時刻項目は別々に調整します。

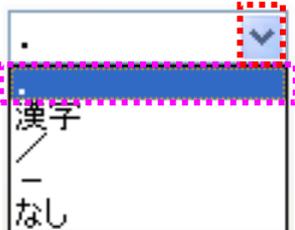
※設定の変更はプロパティで行います。

※時刻項目のみを設定することはできません。

日付項目を選択し、時刻項目を設定後、
ラベルイメージ上の日付項目を削除して下さい。

9-⑤-3 日付区切り 日付・時刻

⑤-3 区切り .



OK

⑤-3 日付区切り文字

印字する日付の区切り文字の選択。

※初期は . (ピリオド)

入力設定窓内の **Vボタン** をクリックして選択します。

⑤-3 選択後 **OKボタン** をクリックすると、
データ作成・編集エリアのラベルイメージに
日付・時刻データが置けます。

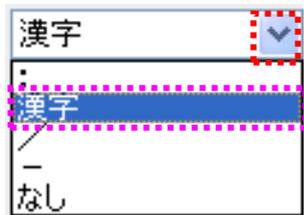
※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と
時刻項目は別々に調整します。

※設定の変更はプロパティで行います。

※日付項目を設定すると時刻項目が自動で表示
されます。時刻が不要な場合は削除して下さい。

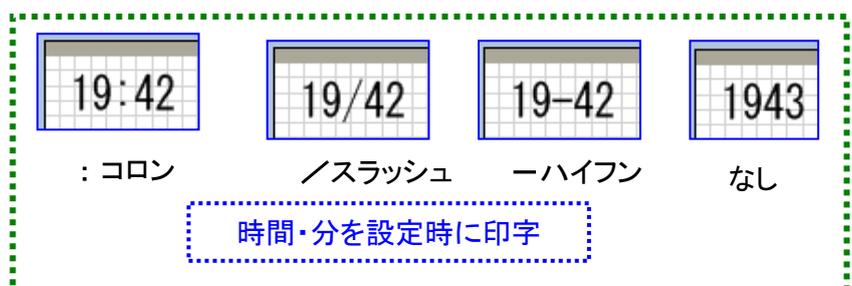


⑤-3 漢字



⑤-3 時刻区切り文字
 印字する時刻の区切り文字の選択。
 ※初期は漢字
 入力設定窓内のVボタンをクリックして選択します。

⑤-3 選択、入力後OKボタンをクリックすると、データ作成・編集エリアのラベルイメージに日付・時刻データが置けます。
 ※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。
 ※設定の変更はプロパティで行います。
 ※時刻項目のみを設定することはできません。
 日付項目を選択し、時刻項目を設定後、ラベルイメージ上の日付項目を削除して下さい。



9-⑤-4 日付 固定 日付・時刻

⑤-4 固定日付 年_月_日

固定日付 年_月_日

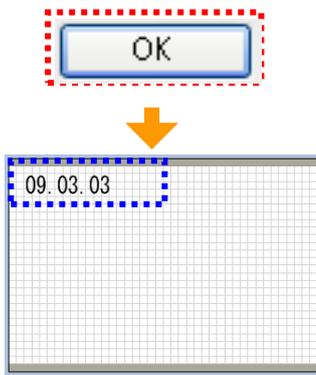
2009年03月03日

フォーマット yy.mm.dd
 固定日付 2009年03月03日

⑤-4 固定日付
 印字する日付は常に設定の日付の印字設定。
 ※初期は設定 無
 固定日付チェックボックスにチェックを入れると固定する年月日の入力ができます。

⑤-4 固定する年月日を入力します。
 年月日は年号から全て入力します。
 ※09年3月3日の場合は20090303と入力すると左記のように入力されます。

※年月日を入力しても実際に印字する内容は、前項⑤-2のフォーマット(日付)で設定された形式となります。

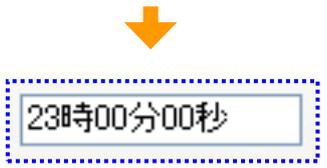


※キャンペーン期間など限定期間の表示に利用ができます。

⑤-4 入力後**OKボタン**をクリックすると、データ作成・編集エリアのラベルイメージに固定日付・時刻データが置けます。
 ※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。
 ※設定の変更はプロパティで行います。
 ※日付項目を設定すると時刻項目が自動で表示されます。時刻が不要な場合は削除して下さい。



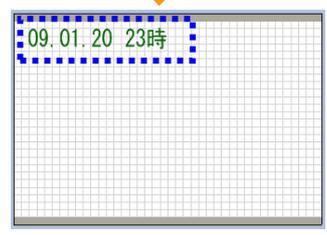
⑤-4 **固定時間**
 印字する時刻は常に設定の時刻の印字設定。
 ※初期は設定 無
 固定時間チェックボックスに**チェック**を入れると固定する時分秒の入力ができます。



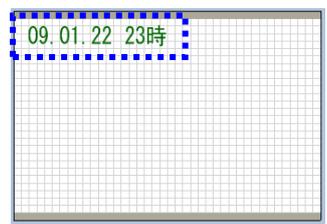
⑤-4 固定する時分秒を入力します。
 時分秒は時間から全て入力します。
 ※23時00分00秒の場合は230000と入力すると左記のように入力されます。



※時分秒を入力しても実際に印字する内容は、前項⑤-2のフォーマット(時刻)で設定された形式となります。



⑤-4 入力後**OKボタン**をクリックすると、データ作成・編集エリアのラベルイメージに日付・固定時刻データが置けます。
 ※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。
 ※設定の変更はプロパティで行います。
 ※時刻項目のみを設定することはできません。
 日付項目を選択し、時刻項目を設定後、ラベルイメージ上の日付項目を削除して下さい。



※常に一定した期限の時間表示などに利用ができます。

9-⑤-5 日付補正 日付・時刻

⑤-5 日付補正 補正日数 0

⑤-5 日付補正
本体の内蔵時計に加算する日付の設定。
※初期は設定 無

日付補正 補正日数 0

⑤-5 日付補正チェックボックスに**チェック**を入れると**補正(加算)する日数**の入力ができます。
※補正値は当日に**＋日数**となります。

補正日数 2

⑤-5 補正(加算)する日数を**入力・選択窓内**の**△▽ボタン**または**直接入力**します。

OK

⑤-5 入力後**OKボタン**をクリックすると、データ作成・編集エリアのラベルイメージに日付補正・時刻データが置けます。
※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。
※設定の変更はプロパティで行います。
※日付項目を設定すると時刻項目が自動で表示されます。時刻が不要な場合は削除して下さい。

09.01.22 21時

⑤-5 時間補正 補正時数 0

⑤-5 時間補正
本体の内蔵時計に加算する時間の設定。
※初期は設定 無
※日付があり時間を補正した場合は補正された時間に日付が連動します。

時間補正 補正数 12 補正単位 時

⑤-5 時間補正チェックボックスに**チェック**を入れると**補正(加算)する時または分**の入力ができます。
補正単位の**▽ボタン**をクリックして時または分を選択します。
※補正値は**現在時刻に＋時間**となります。(1の場合は1時間または1分後となります。)

補正単位 時

⑤-5 補正(加算)する時間を**入力・選択窓内**の**△▽ボタン**または**直接入力**します。

OK

⑤-5 入力後**OKボタン**をクリックすると、データ作成・編集エリアのラベルイメージに日付補正・時刻データが置けます。
※位置の移動はラベルイメージ上で、日付項目と時刻項目は別々に調整します。
※設定の変更はプロパティで行います。

09.01.21 09時

9-⑤-6 日付曜日設定

⑤-6 曜日設定
 曜日印字 形式 X曜日 括弧付き

⑤-6 曜日設定

曜日を印字する場合の選択。

※初期は設定 無

曜日表示する形式を選択(設定) X曜日、(X)

曜日設定
 曜日印字 形式 X曜日 括弧付き

⑤-6 曜日印字チェックボックスに**チェック**を入れると
 曜日形式の選択、括弧のチェックボックスが表示されます。

X曜日 括弧付き

X曜日
X

⑤-6 設定窓内の**Vボタン**をクリックして**選択**します。
 表示に括弧が必要な場合は、**括弧付き**に
 チェックを入れます。

OK

⑤-6 選択後**OKボタン**をクリックすると、
 データ作成・編集エリアのラベルイメージに
 曜日付き日付項目が置けます。
 ※日付項目は前項、8-⑤-2フォーマット(日付)
 の設定によります。

09.01.21 水曜日 10時
 09.01.21(水曜日) 10時
 2009.01.21(水) 10時

X曜日・括弧 無

X曜日・括弧 有

X・括弧 有

9-⑤-7 日付 暦設定

⑤-7 暦設定
 暦 西暦 和暦元年設定

和暦 和暦元年設定
 西暦 和暦 印字

和暦元年設定

和暦元年 1989

OK キャンセル

⑤-7 暦設定

印字する年号の暦の設定。

※初期は西暦

西暦か和暦かの選択(設定)

⑤-7 設定窓内の**Vボタン**をクリックして
選択します。
 和暦を選択すると**和暦元年設定**
ボタンが有効になり、クリックする
 と西暦に対する和暦元年の設定が
 できます。

9-⑤-8 日付 全て全角文字にする 日付・時刻

⑤-8 すべて全角文字にする

すべて全角文字にする



09.01.21 11時
 09. 01. 21 11時
 09. 01. 21 11時

⑤-8 すべて全角文字にする

設定・印字する日付・時刻項目を全角にする設定。

※初期は 無 (半角)

すべて全角文字にするチェックボックスに**チェック**を入れると表示・印字する日付・時刻項目は全角になります。

※日付項目と時刻項目はそれぞれ別に全角に設定をします。

※**チェック**を入れませんか文字(フォント)は、MSゴシック、8ポイント、文字間隔-4の半角で表示、印字されます。

初期のまま(半角)
 日付項目を全角
 日付・時刻項目とも全角

9-⑤-9 日付 時刻設定 時間システム

⑤-9 時間システム 24時間

⑤-9 時間システム

印字する時間の形式の設定。

※初期は24時間

時刻設定を選択時に設定できます。

24時間
 24時間
 12時間+AM/PM
 AM/PM+12時間
 12時間+午前/午後
 午前/午後+12時間

⑤-9 設定窓内の**Vボタン**をクリックして**選択**します。

※時間システムは前項、9-⑤-2フォーマット(時刻)の設定によります。

11時
 11時 AM
 AM 11時
 11時 午前
 午前 11時

フォーマット hh

24時間
 12時間+AM/PM
 AM/PM+12時間
 12時間+午前/午後
 午前/午後+12時間

12時01分
 12時01分 PM
 PM 12時01分
 12時01分 午後
 午後 12時01分

フォーマット hh:mm

24時間
 12時間+AM/PM
 AM/PM+12時間
 12時間+午前/午後
 午前/午後+12時間

9-⑥ イメージ イメージデータ(リサイクルマーク画像など)

⑥ イメージデータ(リサイクルマーク画像など)

画像イメージをラベルに印字する事ができます。

リサイクルマークも画像イメージとして、ラベルに印字することができます。

ラベルパートナーで画像を取込みデータとして本体に送信します。

◎ 画像イメージ

1) 事前に取込む画像を作成します。

※【取込める画像の形式は.bmp(ビットマップ)、.jpg(ジエイペグ)となります。】

2) 本体は、200dpiの印字ヘッドになりますので画像イメージの印字は荒くなります。

3) 画像のサイズ・移動は、ラベルパートナーのデータ作成・編集エリアのラベルイメージ上で調整する事ができます。



⑥ イメージデータ(リサイクルマーク画像など)

印字する画像イメージデータを作成。

イメージ追加アイコン選択後、イメージ項目のウインドが開きます。

取込む画像をファイルから開きます。

※設定後OKボタンをクリックするとデータ作成・編集エリアに

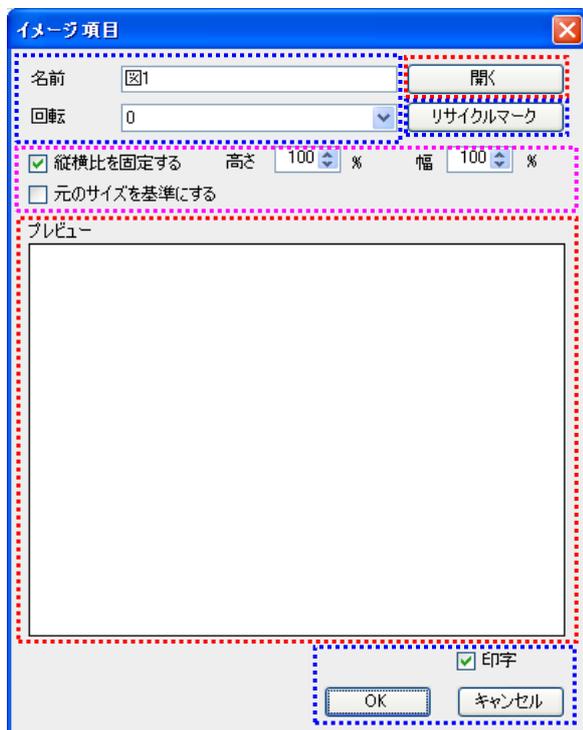
表示が変わり、ラベルイメージ上に画像イメージを置く事ができます。

※ラベルパートナー上では、取込んだ画像イメージの拡大縮小、位置の移動のみ行うことができます。



⑥ ツールボックスの**イメージ追加アイコン**をクリックします。

ボタンを押すと**イメージ追加アイコン**の背景色が変わり、離すとイメージ項目が表示されます。



※名前・回転・印字選択・OKボタン・キャンセルボタンの設定は、【文字項目】と同様となります。

※ 9-①を参照下さい。

⑥-1 開くボタン

取込む画像ファイルを開きます。

⑥-2 プレビュー

取込んだ画像データのイメージを表示。

⑥-3 縦横比を固定する

取り込む画像ファイルの縦横比を固定にするかどうかと、拡大縮小の比率の設定。

⑥-4 元のサイズを基準にする

元の取り込む画像イメージを基準にして、拡大縮小するかどうかの設定。

⑥-5 リサイクルマーク

プラまたは紙のリサイクルマークをサイズ6mm、8mm、15mmから選択できます。

9-⑥-1,2 イメージ イメージデータ(リサイクルマーク画像など) 開く、取り込み

⑥-1 名前



⑥-1 開く

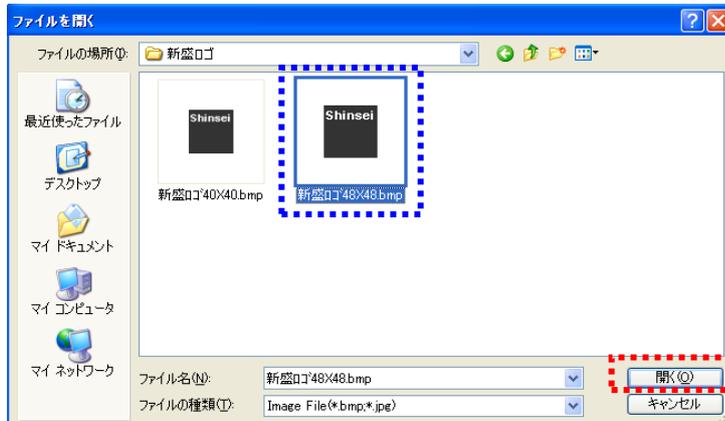
ここでは、四角枠のShinsei画像を読み込む場合について、説明します。

読み込むファイルを開きます。

※初期は 無 (半角)

開くボタンをクリックして、イメージデータにする
画像データファイルを開き(読み)ます。

※読みめるファイル形式は.bmpと.jpgとなります。



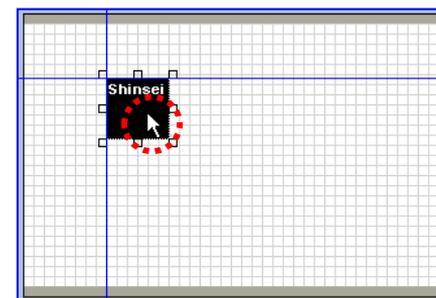
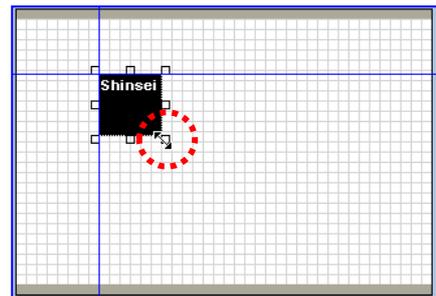
⑥-1 読み込むファイル一覧が表示されます。

開く(読み込む)ファイルを指定して
開くボタンをクリックします。

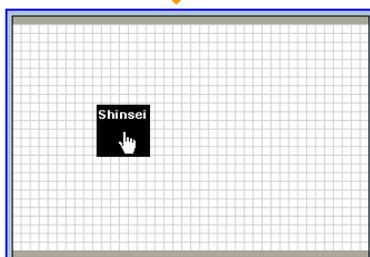


⑥-2 画像イメージが開き(取込まれ)ました。

名前・回転など設定し、OKボタンを
クリックします。

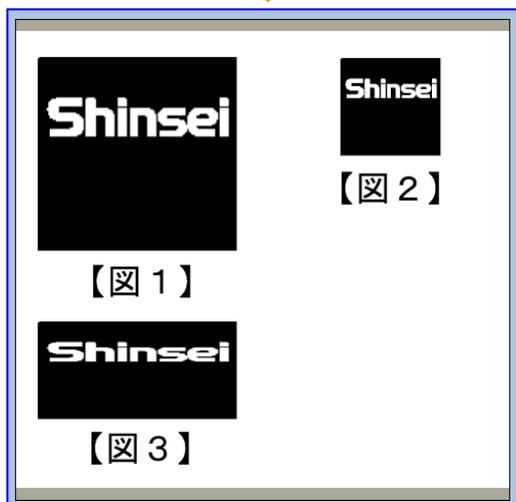


ドラッグして画像イメージを拡大・縮小・
移動する事ができます。



⑥-2 取込んだ画像イメージをクリックするとデータ作成・編集エリアの
ラベルイメージ上に画像イメージを置くことができます。

9-⑥-3.4 イメージ イメージデータ(リサイクルマーク画像など)縦横比を固定する、元のサイズを基準



⑥-3 初期は、「縦横比を固定にする」にチェックされ、高さおよび幅の比率がどちらも100%に設定されています。

※「縦横比を固定にする」にチェックを入れた場合は、高さまたは幅のいずれかの比率を設定してOKボタンをクリックすると、取込んだ画像イメージの縦横比を維持したまま拡大または縮小させてデータ作成・編集エリアに置くことができます。

※「縦横比を固定にする」のチェックを外すと、高さおよび幅の比率をそれぞれ別個に設定することができます。

⑥-3 図1は、初期のまま取込んだ画像イメージをデータ作成・編集エリアに置いたものです。

図2は、「縦横比を固定にする」にチェックを入れた場合で、取込んだ画像イメージの高さまたは幅のいずれかの比率を50%に設定してデータ作成・編集エリアに置いたものです。

図3は、「縦横比を固定にする」のチェックを外して、取込んだ画像イメージの高さおよび幅の比率を50%×100%に設定してデータ作成・編集エリアに置いたものです。



⑥-4 初期は、「元のサイズを基準にする」にチェックが入っていません。

※「元のサイズを基準にする」にチェックを入れた場合は、高さまたは幅の比率表示は元の取込んだ画像イメージのサイズを基準にして表示されます。

※「元のサイズを基準にする」のチェックを外すと、データ作成・編集エリアに表示された画像イメージのサイズを基準にして表示されます。

9-⑦ 図形 四角枠・円形枠



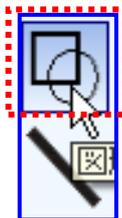
⑦ 図形 四角枠・円形枠のデータ設定

印字する四角枠・円形枠のデータを作成。

図形を追加アイコン選択後、四角枠を、データ作成・編集エリアのラベルイメージに作成します。

角R四角、楕円形、円形の設定は一度、四角枠を置いた後、プロパティで行います。

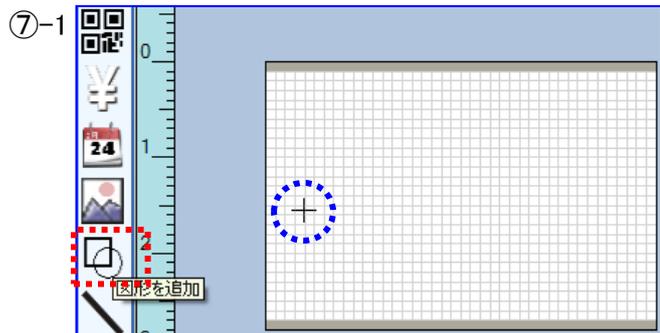
※サイズの変更は、図形上でクリックしサイズ表示の□マークをドラッグで行います。



⑦ ツールボックスの図形を追加アイコンをクリックします。

ボタンを押すと図形を追加アイコンの背景色が変わり、離すとラベルイメージに四角枠を設定できます。

9-⑦-1 図形 図形を設定

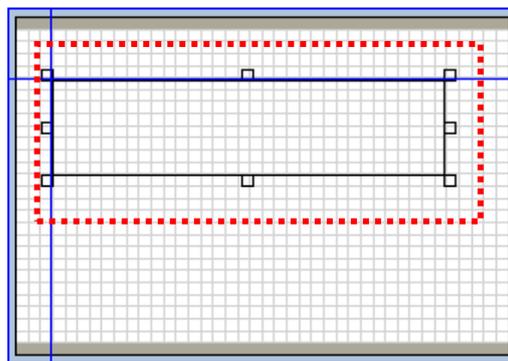
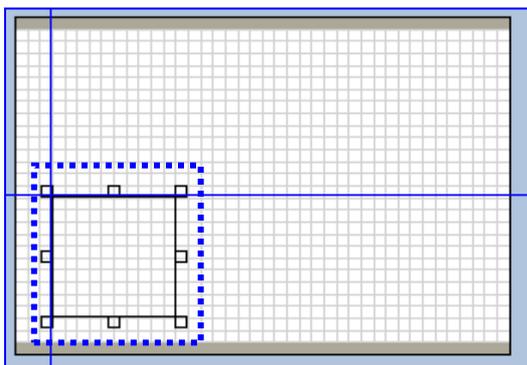


⑦-1 図形を追加アイコンをクリックし、ラベルイメージ上にポインターを移動すると + マークが表示されます。

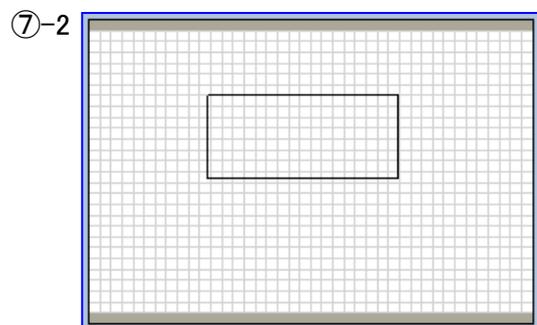


クリックすると、+ を起点に10mm角の四角形が設定されます。

開始位置(起点)をクリックし、ドラッグすると希望の大きさの四角形を設定できます。



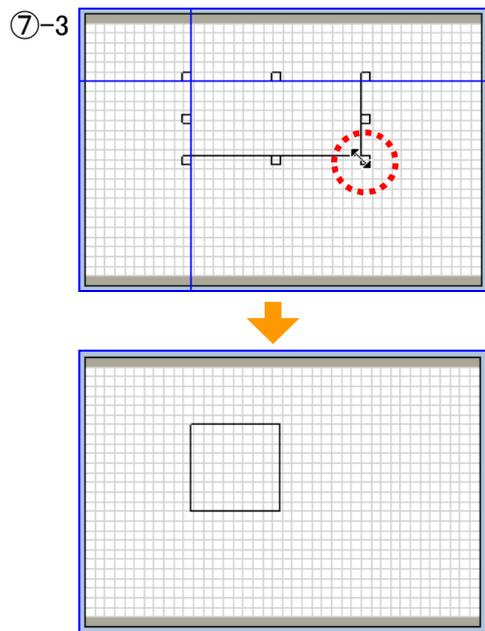
9-⑦-2 図形 形状変更



⑦-2 正方形、角Rの四角、楕円形、円形ラベルイメージ上の四角のプロパティを開きます。

※プロパティの開き方は、前項9-①文字項目を参照下さい。

9-⑦-3 図形 四角形 正方形



⑦-3 正方形
四角枠内でクリックしShiftキーを押しながら
四隅の矢印キーをドラッグします。

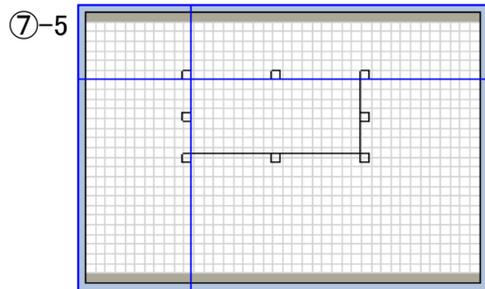
9-⑦-4 図形 四角形 角R四角形



⑦-4 角R四角形
四角枠内でダブルクリックし、プロパティを
開きます。

四角のタイプ選択の、Vボタンで四角形角R
を選択し、OKボタンをクリックします。

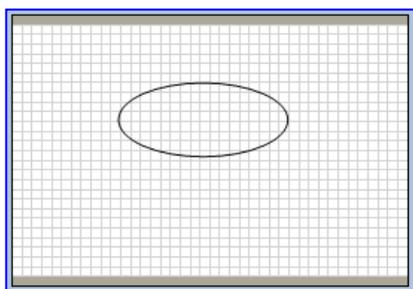
9-⑦-5 図形 円形枠 楕円



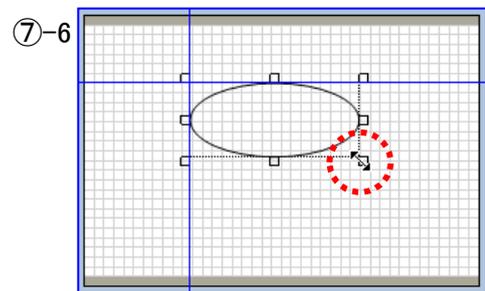
⑦-5 楕円形
四角枠内でダブルクリックし、プロパティを開きます。



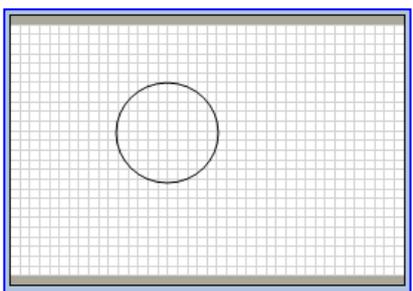
四角のタイプ選択の、Vボタンで楕円を選択し、OKボタンをクリックします。



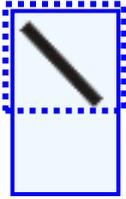
9-⑦-6 図形 円形枠 円形



⑦-6 円形
楕円形内でクリックしShiftキーを押しながら四隅の矢印キーをドラッグします。



9-⑧ 線 直線・斜線



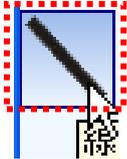
⑧ 線 直線・斜線データの設定

印字する直線・斜線のデータを作成。

線を追加アイコン選択後、データ作成・編集エリアのラベルイメージに直線・斜線を引くことができます。

線のタイプ、太さは、プロパティで行います。

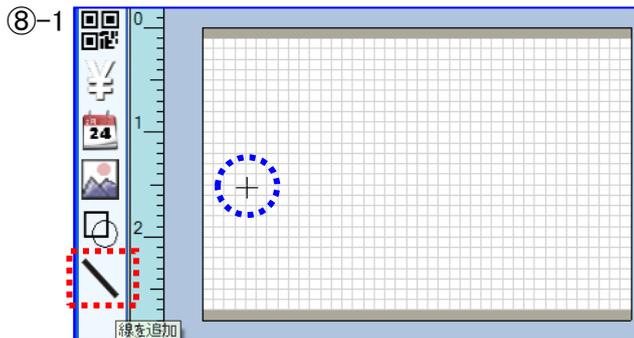
※サイズの変更は、図形上でクリックしサイズ表示マークをドラッグで行います。



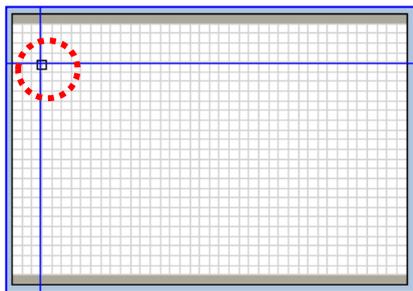
⑧ ツールボックスの線を追加アイコンをクリックします。

ボタンを押すと線を追加アイコンの背景色が変わり、離すとラベルイメージに線を引く起点マークが表示されます。

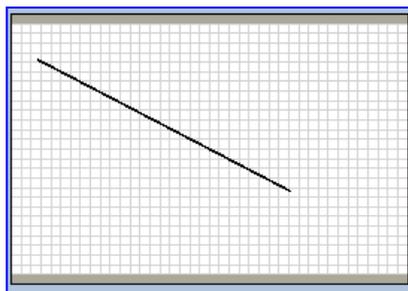
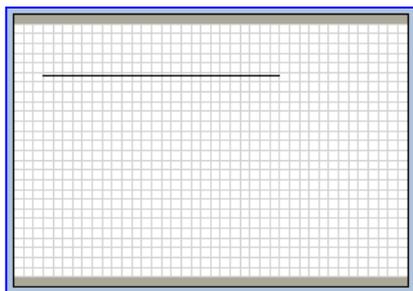
9-⑧-1 線 線を引く



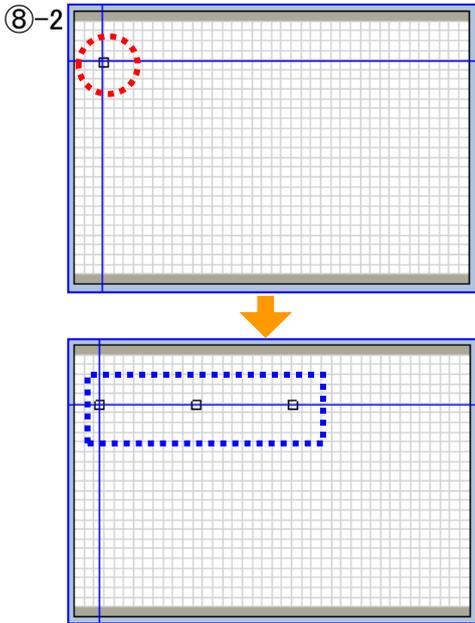
⑧-1 線を追加アイコンをクリックし、ラベルイメージ上にポインターを移動すると + マークが表示されます。



開始位置(起点)をクリックし、ドラッグすると希望の長さの直線・斜線を引けます。

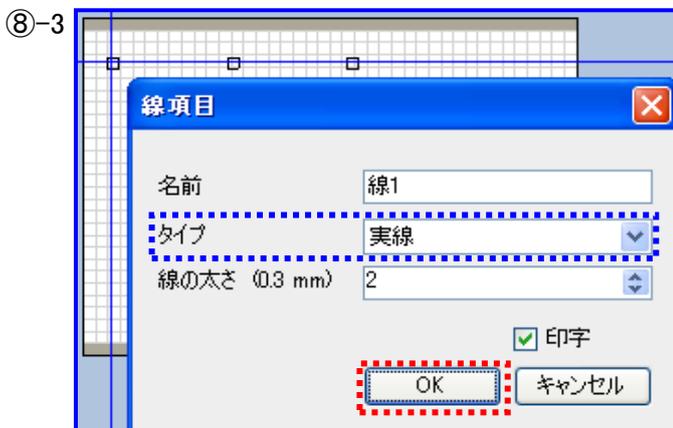


9-⑧-2 線 正確な直線



- ⑧-2 正確な直線
直線を引く時に、Shiftキーを押しながらドラッグします。
※Shiftキーを押すと直線のみ引けます。

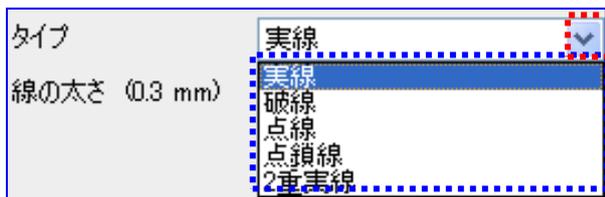
9-⑧-3 線 線のタイプ



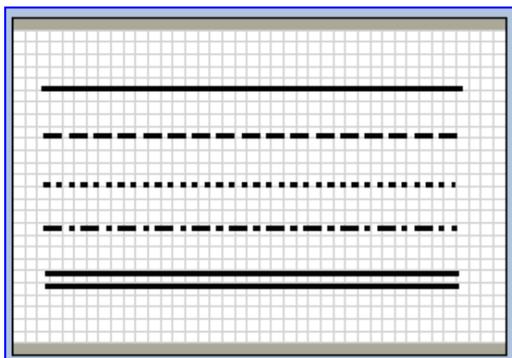
- ⑧-3 線のタイプ (初期は実線)
線のタイプの選択は、線項目のプロパティで行います。
※プロパティの開き方は、前項9-①文字項目を参照下さい。

線のプロパティが開きました。

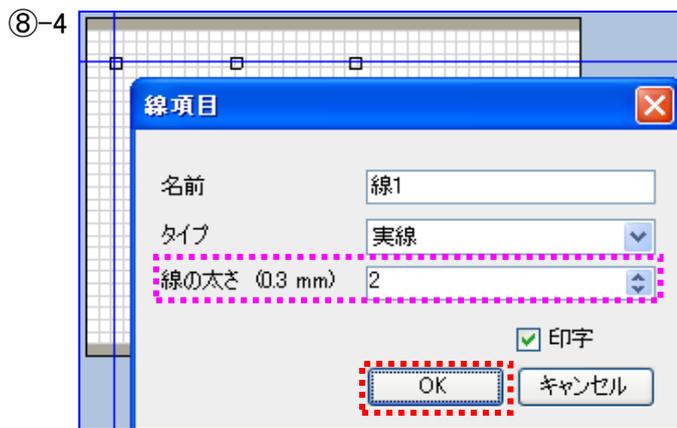
- ⑧-3 線のタイプを選択後、OKボタンをクリックすると引かれていた線が変更されます。



- ⑧-3 線のタイプ選択窓のVボタンをクリックして選択する線のタイプをクリックします。
OKボタンをクリックすると引かれていた線が変更されます。
※線のタイプは
実線・破線・点線・点鎖線・2重実線



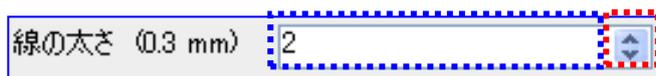
9-⑧-4 線 線の太さ



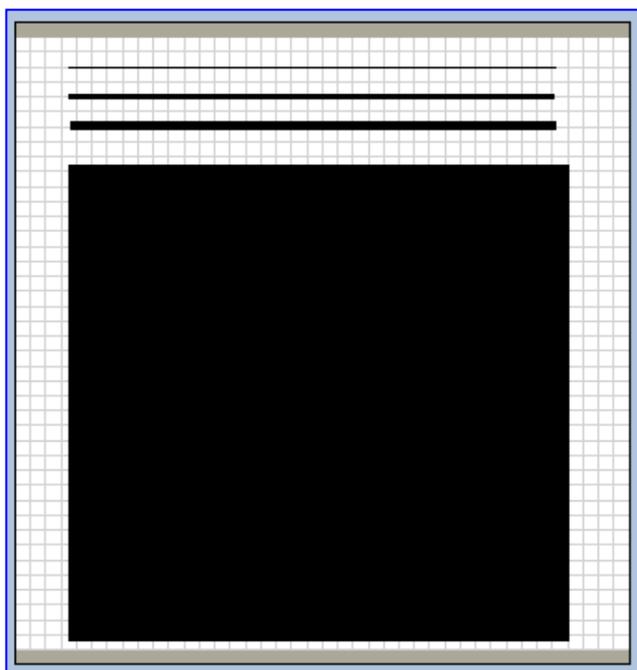
⑧-4 線の太さ (初期は2ドット)
線の太さの選択・入力は、線項目のプロパティで行います。
※プロパティの開き方は、前項9-①文字項目を参照下さい。

線のプロパティが開きました。

⑧-4 線の太さを、選択・入力後、
OKボタンをクリックすると引かれていた線が変更されます。



⑧-4 線の太さ入力・選択窓内の **△▽ボタン** または **直接入力** します。
※入力単位はドット数となります。
入力後、OKボタンをクリックすると引かれていた線が変更されます。
※線の太さは1ドット(0.1mm)～255ドット(31.9mm)まで設定できます。



1ドット線
2ドット線
4ドット線

255ドット線

各種設定項目の機能、操作方法

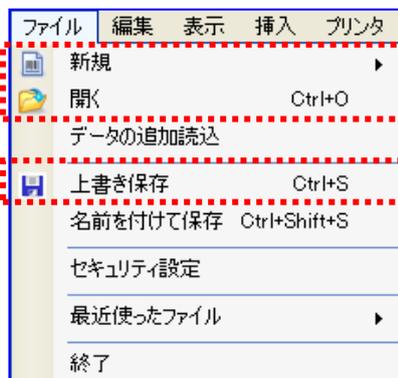
10、メニューバー

データの作成・保存・開く・使用ラベル選択・変更・本体との通信などの各種設定を行います。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

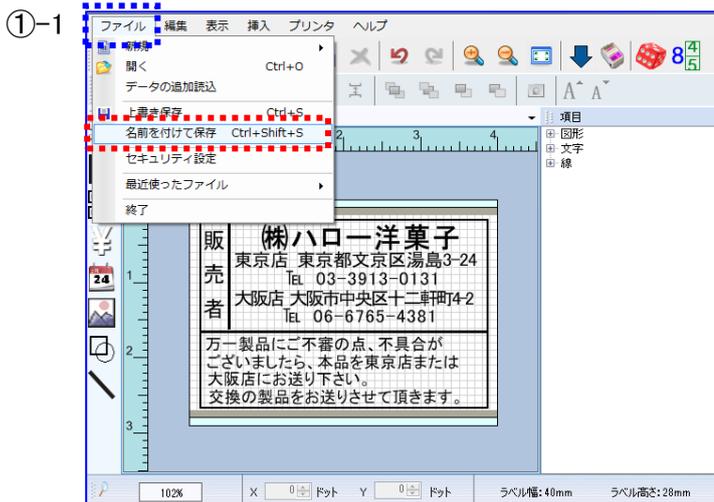
ファイル 編集 表示 挿入 プリンタ ヘルプ

10-① ファイル

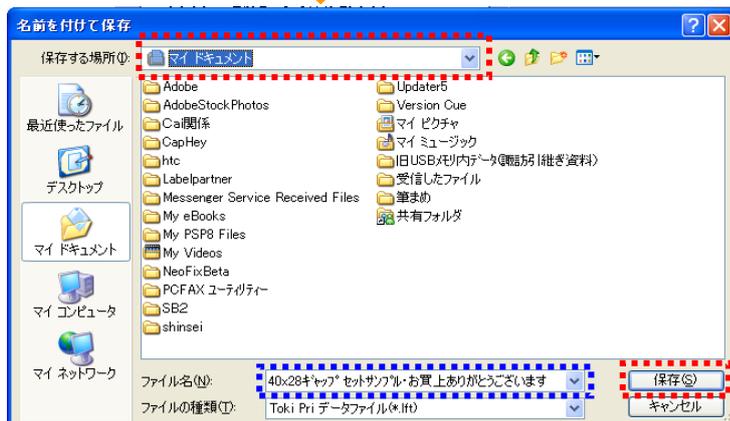


- ① ファイルをクリックすると左記画面が開きます。
赤点線枠内はツールバーからも同じ操作が出来ます。
- ①-1 ※名前をつけて保存
ファイル名を付けて保存する時はこのモードより行います。
- ①-2 ※データの追加読込
作成中のファイルに既に作成されたデータの追加読込をします。
- ①-3 ※最近使ったファイル
最近使用したラベルパートナーのデータを最大9件まで表示する事ができます。
- ①-4 ※セキュリティ設定
ファイルを開くときに、パスワードを設定することができます。

10-①-1 ファイル 名前を付けて保存

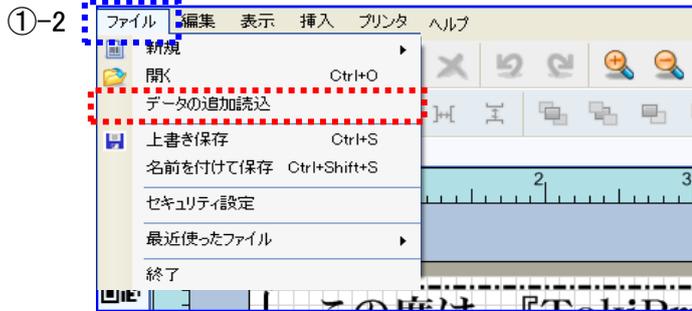


- ①-1 名前を付けて保存
データ作成後、メニューバーのファイルをクリック→名前をつけて保存をクリックします。



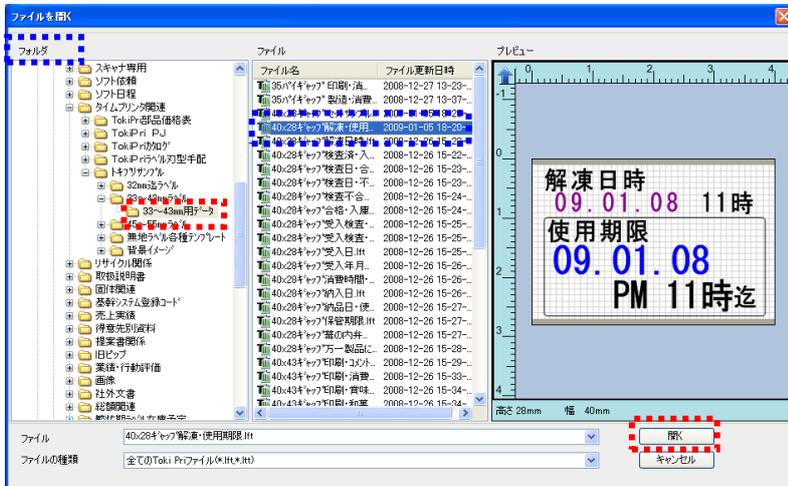
- ①-1 名前を付けて保存
ファイルの保存先を選択し、判り易いファイル名を付けて、保存ボタンをクリックします。

10-①-2 ファイル データの追加読込



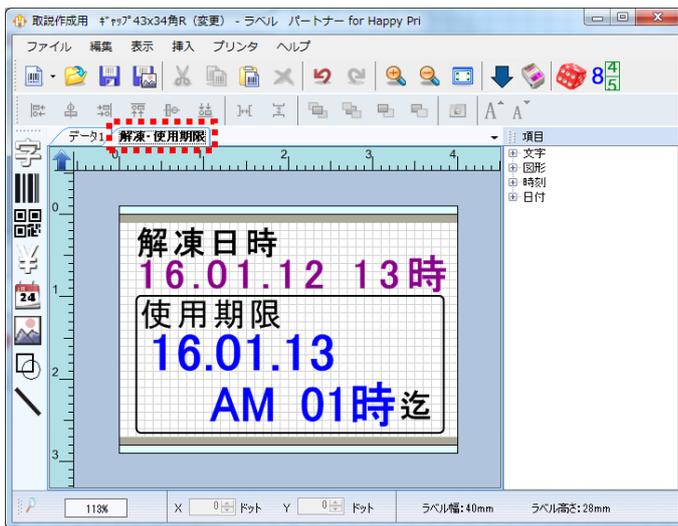
①-2 データの追加読込

現在開いているファイルに既存のデータを追加読込します。
 1ファイルに登録できる件数は40件となります。
 追加読み込みをして40件以上の場合は、40件を超える読込データは削除されます。

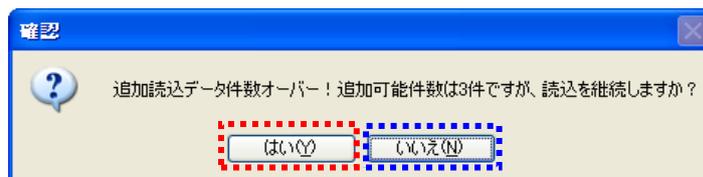


①-2 読み込むデータの保存先を指定します。
 ファイルの保存先を指定し、読込むデータファイルをクリック→開くボタンをクリックします。

ファイル名をクリックすると、プレビューにそのイメージが表示されます。

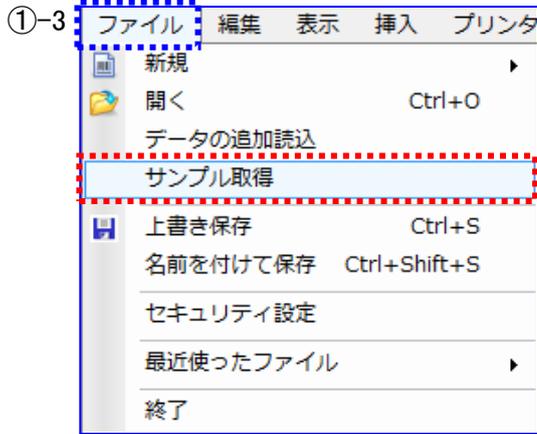


①-2 データの追加読込ができました。
 追加読み込みしたデータが表示されデータタブが追加されました。

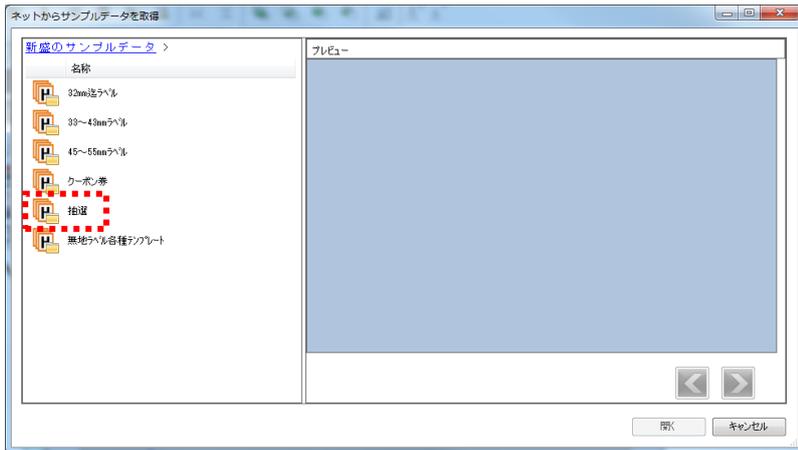


追加読込で選択したファイルにデータが複数あり、追加読込をすると本体が40件を超える場合は、追加可能件数の確認(警告)が出ます。
 はい(Y)をクリックすると残り追加可能件数を読込むデータの先頭のタブデータから順に追加読込し、40件を超えるデータは破棄されます。
 いいえ(N)をクリックすると読込を中止し、前項の追加データのファイル選択画面に戻ります。

10-①-3 ファイル サンプル取得

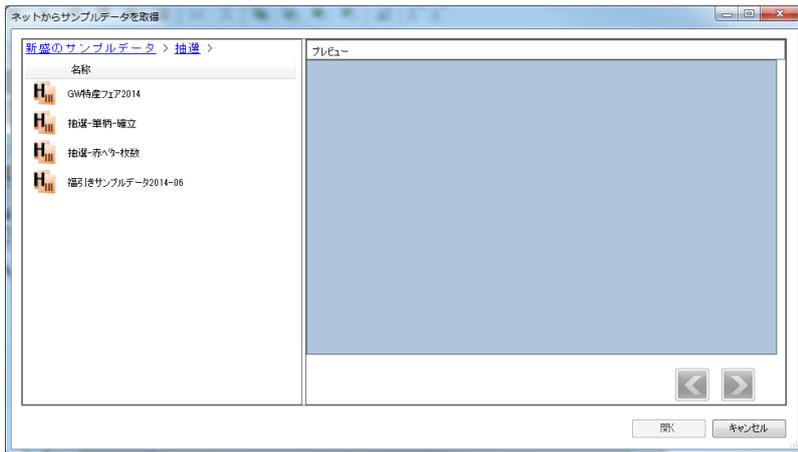


①-3 サンプル取得
サーバーからレイアウトのサンプルデータ
を取得します。

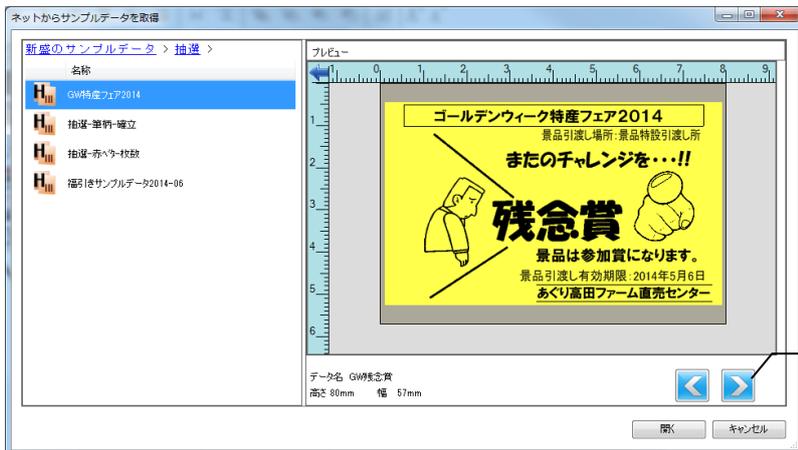


①-3 いろいろなフォルダが準備
されています。
取得したいファイルが入って
いるフォルダをダブルクリック
します。

たとえば、抽選フォルダを
ダブルクリックします。



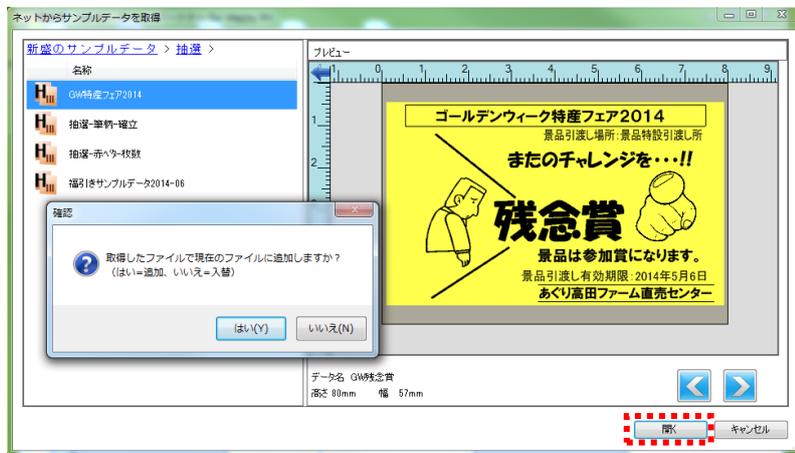
①-3 抽選フォルダ内のファイル
が表示されました。



①-3 たとえば、GW特産フェア2014
ファイルをクリックします。

すると、プレビュー画面に
レイアウトが表示されます。

背景が青色に反転している場合は、
前後に別のレイアウトがあります。

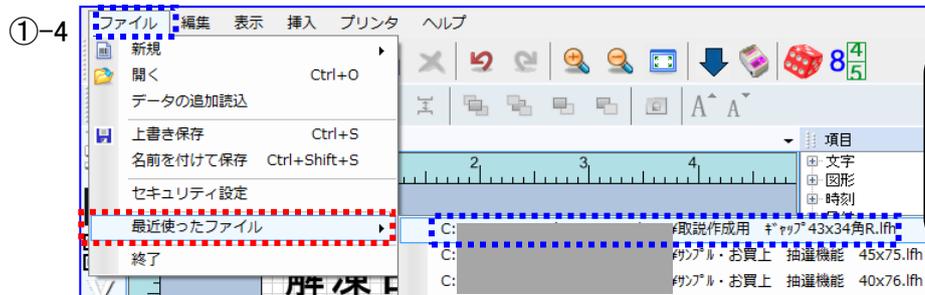


①-3 開くボタンをクリックすると、今開いているファイルに取得したファイルのレイアウトを追加するか入れ替えるかの画面が表示されます。

はい: 今開いているファイルのレイアウトの後に取得したレイアウトが追加されます。

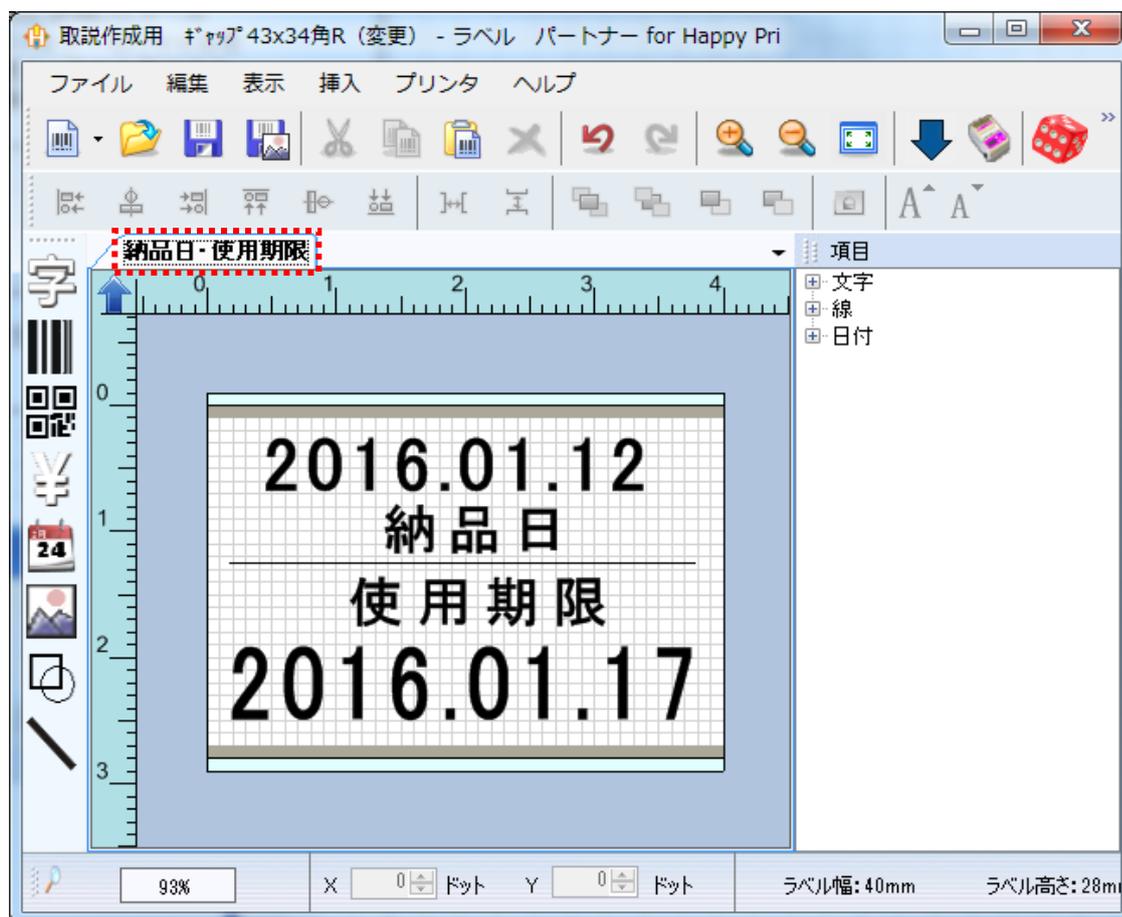
いいえ: 今開いているファイルのレイアウトと取得し

10-①-4 ファイル 最近使ったファイル



①-4 最近使ったファイル
最近使用したラベル
パートナーのファイルを
最大9件まで表示する
事が出来ます。

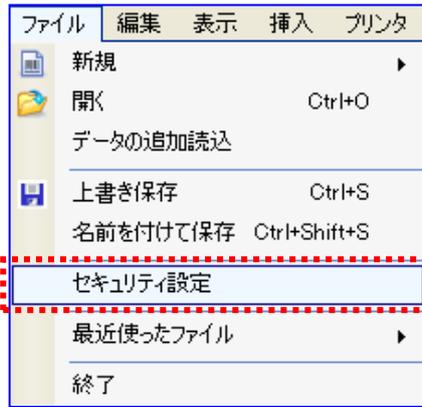
①-4 ファイル→最近使ったファイルをクリックすると最近使用したファイル一覧が表示されます。
ファイル名をクリックするとファイルが開きます。



①-4 最近使ったファイル一覧から指定したファイルが開きました。

10-①-5 ファイル セキュリティ設定

①-5



①-5 セキュリティ設定

ファイルを開くときに、パスワードを設定することができます。

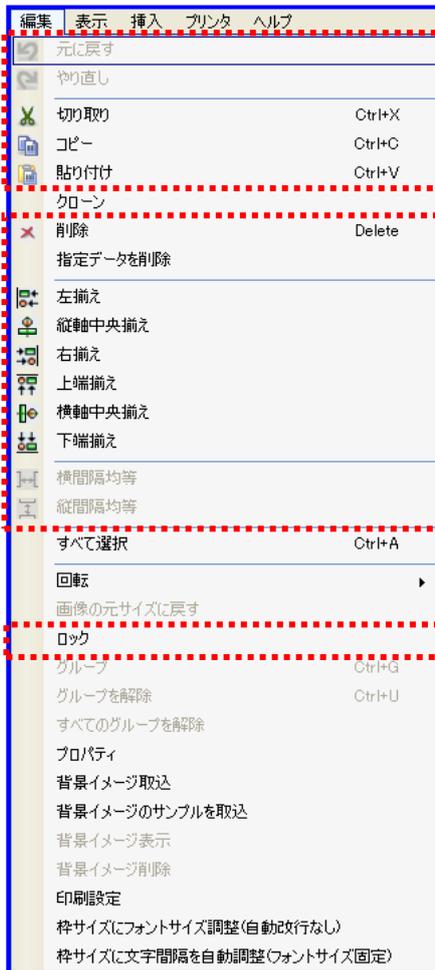
ファイル変更パスワード入力画面が表示されます。

パスワード枠に2-8桁の半角英数字で入力します。

確認のために、パスワード確認枠にもう一度パスワードを入力します。

最後に、OKボタンをクリックします。

パスワードが設定されたファイルを開くとパスワードが要求されます。
正しいパスワードを入力してOKボタンをクリックします。



② 編集をクリックすると左記画面が開きます。
赤点線枠内はツールバーからも同じ操作が出来ます。

②-1 ※クローン

データ作成・編集エリアに表示されているデータの
コピー時に、1クリックでコピーと貼り付けを行います。

②-2 ※すべて選択

データ作成・編集エリアに表示されているデータを
1クリックですべてを選択する事が出来ます。

②-3 ※画像の元サイズに戻す

データ作成・編集エリアに表示されている画像イメージ
を取り込んだ元サイズに戻します。
(取込んだ画像データの加工中に元サイズに戻します。)

②-4 ※グループ

データ作成・編集エリアに表示されているデータを
グループ化します。
グループ化する事で、グループとして移動する事が
出来ます。

■グループを解除

選択されたグループを指定して解除します。

■すべてのグループを解除

設定されたグループすべてを一括で解除します。

②-5 ※プロパティ (項目の詳細設定)

データ作成・編集エリアに表示されているデータ項目
をクリック(指定)した後、プロパティをクリックすると
指定された項目の設定が開きます。

②-6 ※背景イメージ取込み

データ作成・編集エリアのラベルイメージ上に、
印刷された化粧ラベルのイメージを、背景として
表示する事ができます。

○印刷ラベルイメージがラベル背景に表示されます。

データを作成する際、印字位置合わせに利用します。

○印刷ラベルイメージはプリントされません。

■背景イメージ表示

取込んだ印刷ラベルイメージの表示、非表示の
選択となります。

■背景イメージ削除

取込んだ印刷ラベルイメージを削除します。

■印刷設定

項目8、印刷設定を参照してください。

■枠サイズにフォントサイズ調整(自動改行なし)

枠サイズを変更した時に、枠の範囲に文字項目が
収まるようにフォントサイズを自動的に拡大・縮小
します。

※文字項目上を右クリックしても選択できます。

10-②-1 編集 クローン

②-1

消費期限	時間
09.01.09	AM 05時
販売者: (株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 Tel. 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 Tel. 06-6765-4381

②-1 クローン

データ作成・編集エリアに表示されているデータを1クリックでコピー、貼り付けする事ができます。

②-1 クローン(コピー)する項目をクリックします。



②-1 編集をクリック→クローンをクリックします。

消費期限	時間
09.01.09	AM 06時
販売者: (株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 Tel. 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 Tel. 06-6765-4381

②-1 クローン(コピー)する項目を右クリック→クローンをクリックしても同様となり

消費期限	時間
09.01.09	AM 06時
販売者: (株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 Tel. 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 Tel. 06-6765-4381

②-1 クローンができました。
ドラッグして移動します。

消費期限	時間
09.01.09	AM 06時
販売者: (株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 Tel. 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 Tel. 06-6765-4381

②-1 データを変更します。

10-②-2 編集 すべて選択

②-2

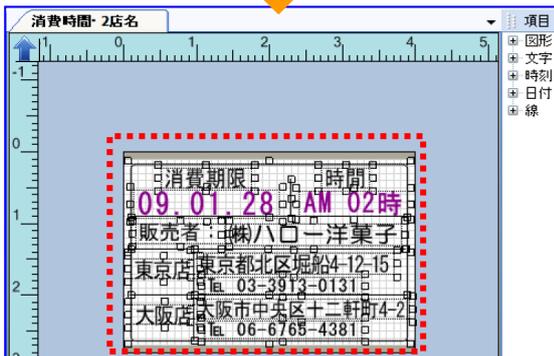


②-2 すべて選択

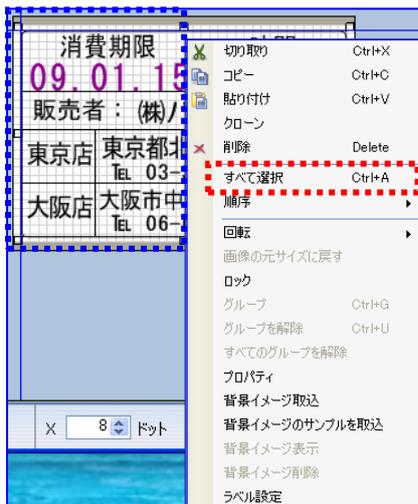
データ作成・編集エリアに表示されているデータを1クリックですべて選択します。



②-2 編集をクリック→すべて選択をクリックします。



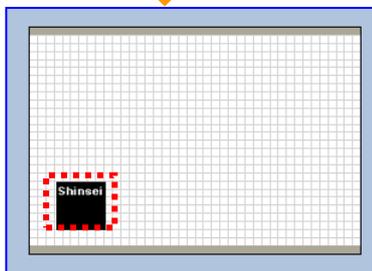
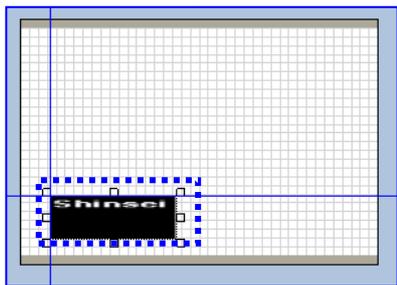
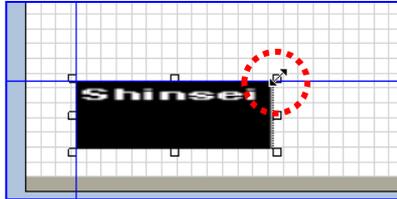
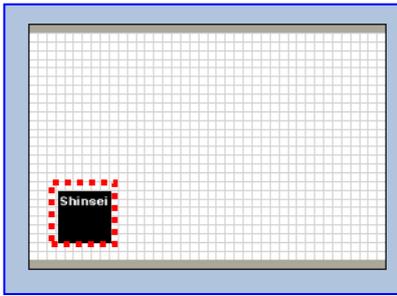
②-2 すべての項目が選択出来ました。



②-2 データ作成・編集エリアに表示されているデータを右クリック→すべて選択をクリックしても同様となります。

10-②-3 編集 画像の元サイズに戻す (印字するイメージ画像)

②-3



②-3 画像の元サイズに戻す

データ作成・編集エリアに表示されている
画像イメージを取り込んだ元サイズに戻します。

②-3 取込んだ画像イメージをクリックします。

②-3 イメージをドラッグしてサイズの変更をします。

②-3 変更したイメージを元に戻します。

②-3 編集をクリック→
画像の元サイズに
戻すをクリック
します。



②-3 元に戻す画像データ上で
右クリック→画像の元サイズ
に戻すをクリックしても同様と
なります。

②-3 元の取込んだ
画像サイズに
戻りました。

10-②-4 編集 グループ

②-4

消費期限	時間
09.01.10	AM 00時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381

②-4 グループ

データ作成・編集エリアに表示されているデータをグループ化します。
○グループ化後、データをグループで移動することができます。

消費期限	時間
09.01.10	AM 00時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381

②-4 グループ(選択項目のグループ化)

Ctrlキーを押しながらグループ化する項目をクリックします。
グループ化する項目が選択されました。

編集 表示 挿入 プリント

元に戻す

やり直し

画像の元サイズに戻す

ロック

グループ Ctrl+G

②-4 編集をクリック→グループをクリックします。

消費期限	時間
09.01.10	AM 00時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381

②-4 選択項目がグループ化されました。

消費期限	時間
09.01.10	AM 00時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381

②-4 グループ化した項目をクリックするとグループ表示となり、ドラッグするとグループとして移動が出来ます。

②-4

消費期限	時間
09.01.10	AM 00時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381



編集	表示	挿入	プリンタ
↶	元に戻す		
↷	やり直し		
≡	ラベルの縦均等		
	すべて選択	Ctrl+A	



消費期限	時間
09.01.10	AM 01時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381



編集	表示	挿入	プリンタ
↶	元に戻す		
↷	やり直し		
🔒	ロック		
	グループ	Ctrl+G	
	グループを解除	Ctrl+U	



消費期限	時間
09.01.10	AM 01時
販売者：(株)ハロー洋菓子	
東京店	東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
大阪店	大阪市中央区十二軒町4-2 TEL 06-6765-4381

②-4 グループ(全項目のグループ化)

データ作成・編集エリアの全データ項目をグループ化します。

②-4 編集をクリック→すべて選択をクリックします。

②-4 全項目が選択されました。

②-4 編集をクリック→グループをクリックします。

②-4 全項目がグループ化されました。
いずれかのデータ項目をクリックしてドラッグすると全項目が移動できます。

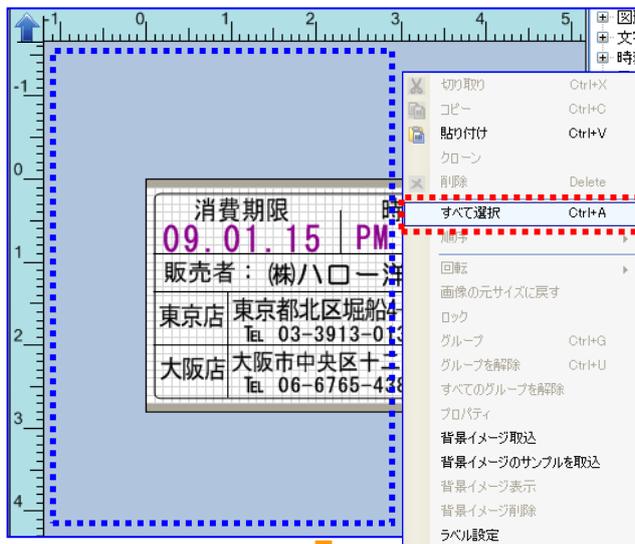
10-②-4 編集 グループ



②-4 グループ(選択項目のグループ化)

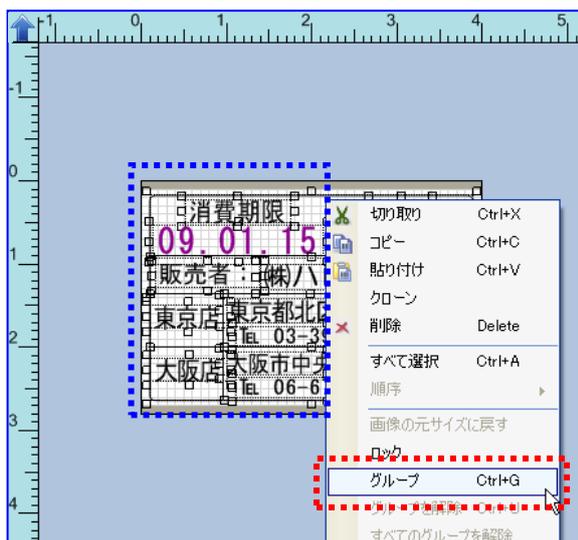
Ctrlキーを押しながらグループ化する項目をクリックします。

選択した項目内で右クリック→グループをクリックしても選択項目のグループ化ができます。



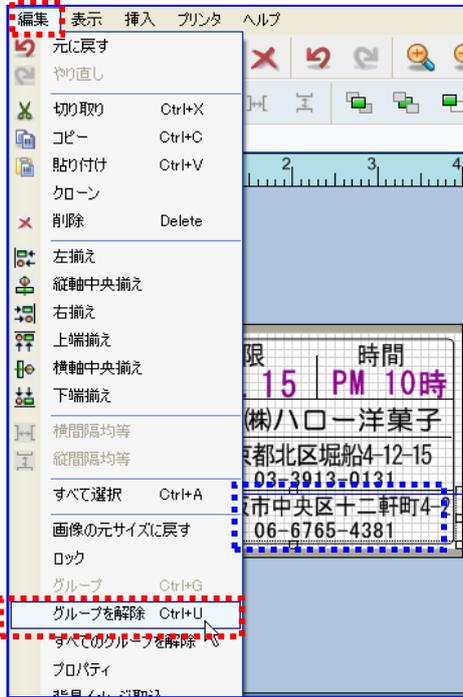
②-4 グループ(全項目のグループ化)

データ作成・編集エリア内で右クリック→すべて選択をクリック。



②-4 選択した項目内で右クリック→グループをクリックで全項目がグループ化できます。

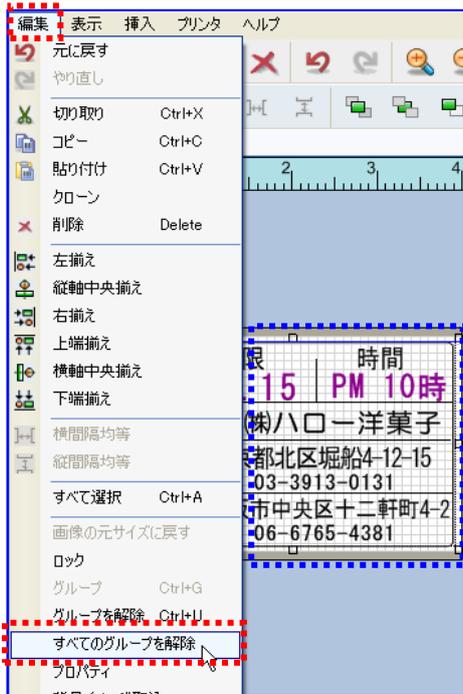
②-4



②-4 グループを解除 (選択したグループ)
グループをクリック(指定)し、編集をクリック→
グループを解除をクリックします。

○データ作成・編集エリアをクリックすると
グループが解除され各項目ごとに
戻ります。

②-4 グループを解除 (選択したグループ)
グループ化されたデータ項目を右クリックし、
グループを解除をクリックしても同様となります。



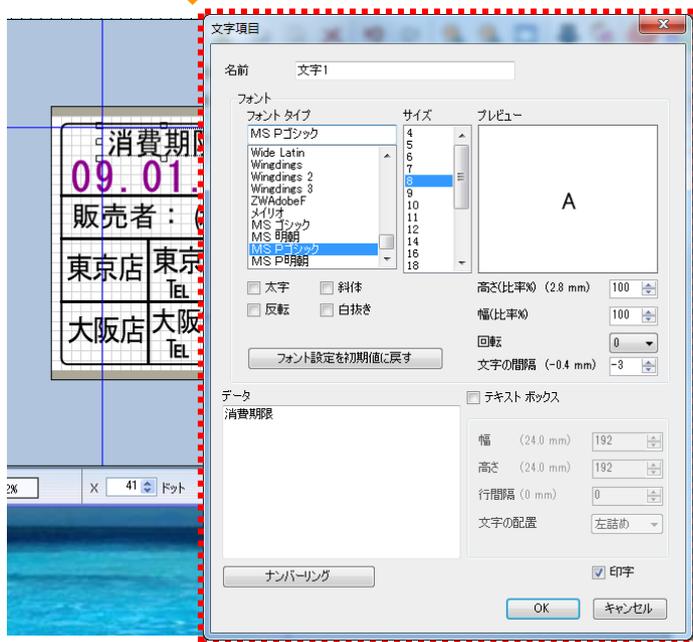
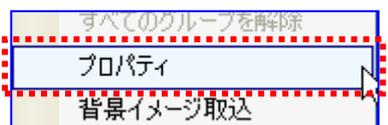
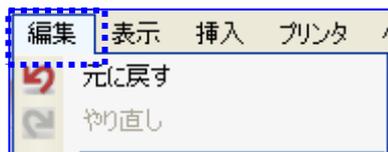
②-4 すべてのグループを解除 (一括グループ解除)
一括ですべてのグループ設定を解除します。
データ項目をクリックし、編集をクリック→
すべてのグループを解除をクリックします。

○データ作成・編集エリアをクリックすると
グループが解除され各項目ごとに戻ります。

②-4 すべてのグループを解除 (一括グループ解除)
いずれかのデータ項目を右クリックし、
すべてのグループを解除をクリックしても同様と
なります。

10-②-5 編集 プロパティ

②-5



②-5 プロパティ (項目の詳細設定)

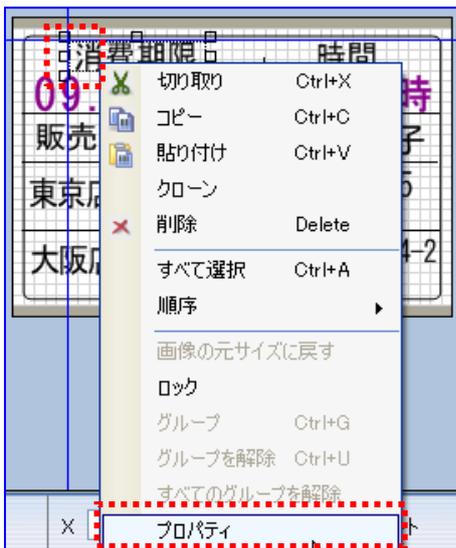
データ作成・編集エリアに表示されているデータ項目のプロパティ(詳細設定)を開きます。

②-5 プロパティ (項目の詳細設定)

データ作成・編集エリアに表示されているデータ項目をクリック(指定)します。

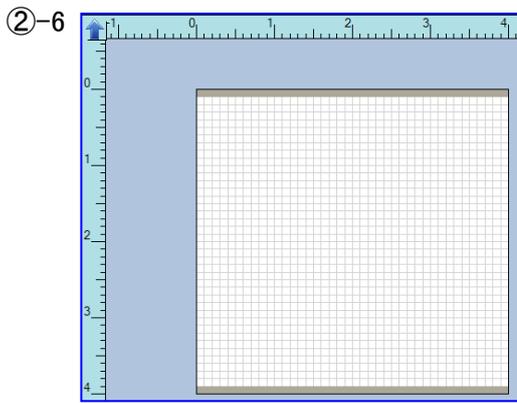
②-5 編集をクリック→プロパティをクリックします。

②-5 選択したデータ項目のプロパティ(詳細設定)が開きました。項目の設定値、データを変更する事ができます。



②-5 プロパティ(詳細設定)を開きたい項目を右クリック→プロパティをクリックしても同様となります。

10-②-6 編集 背景イメージ取込み

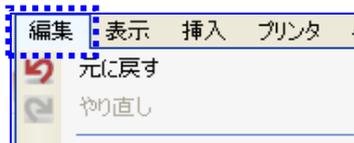


②-6 背景イメージ取込み

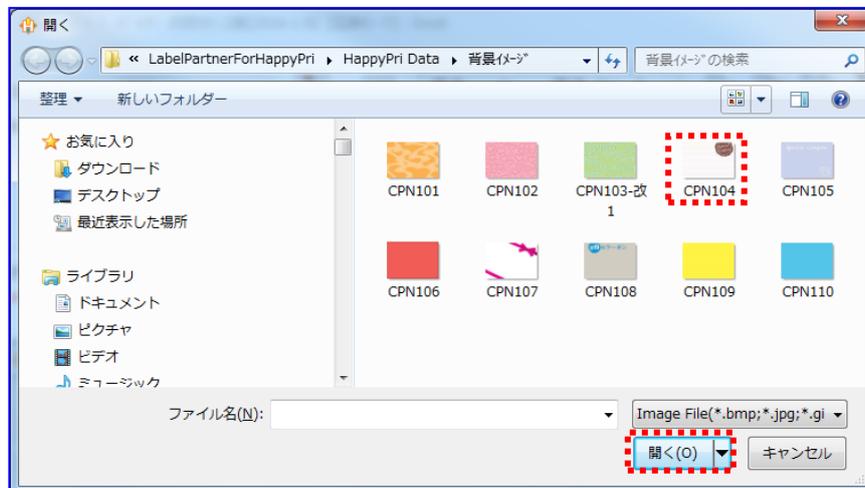
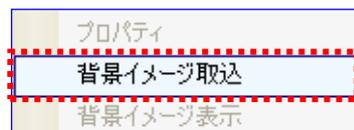
データ作成・編集エリアのラベルイメージ上に、印刷された化粧ラベルのイメージを、背景として表示する事ができます。

②-6 事前に背景にしたい印刷ラベルの画像を作成しておきます。

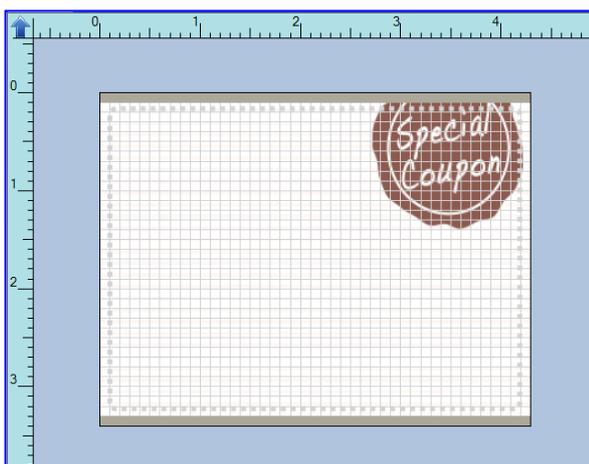
取込める画像ファイル形式は **bmp・jpg・gif** となります。



②-6 編集をクリック→印刷ラベルイメージ取込みをクリックします。

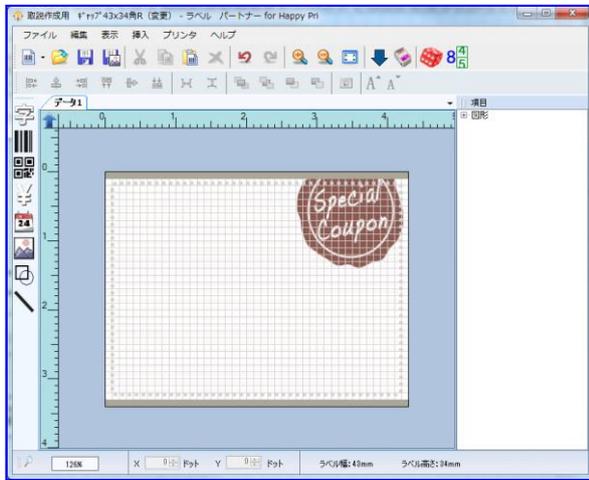


②-6 取込む画像ファイルの保存先を選択し、取込むファイルをクリックして開くをクリックします。



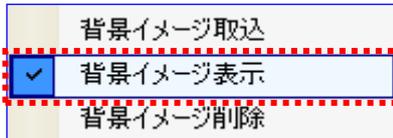
②-6 印刷ラベルイメージが取込めました。印刷イメージを見ながらデータを作成します。印刷イメージはプリントできません。※実際に本体でプリントすると若干のズレが生じます。データ作成後、調整をして下さい。

②-6

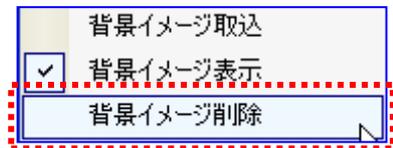


②-6 **背景イメージ表示**
取込んだ背景イメージの表示、非表示の選択。

②-6 印刷ラベルイメージを取込み後、印刷イメージの表示、非表示の選択となります。

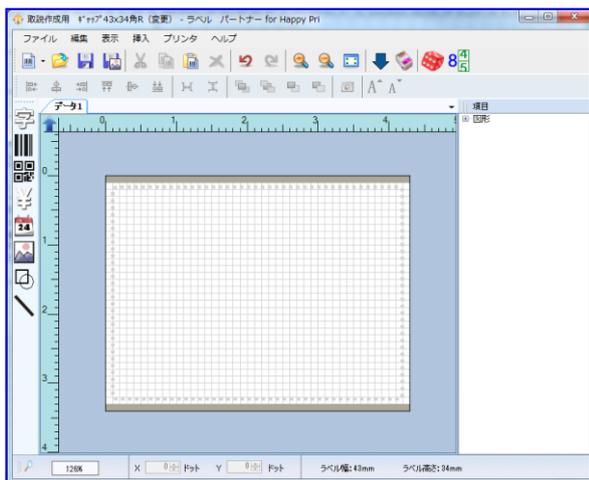


②-6 印刷ラベルイメージ取り込み後、**編集**をクリックすると、**背景イメージ表示**と背景イメージ削除の項目が表示されます。
背景イメージ表示をクリックするとチェックがはずれデータ作成・編集エリアのラベルの背景イメージが非表示となります。
再度クリックすると表示されます。

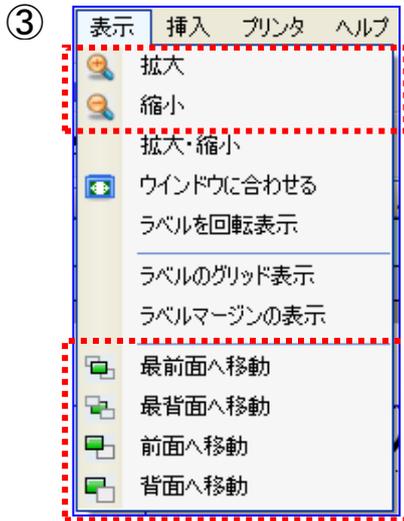


②-6 **印刷ラベルイメージ削除** **背景イメージ削除**
取込んだ背景イメージを削除します。

②-6 印刷ラベルイメージ取り込み後、**編集**をクリックすると、**背景イメージ表示**と**背景イメージ削除**の項目が表示されます。
背景イメージ削除をクリックすると取込んだ印刷ラベルイメージが削除され編集エリアのラベルの背景イメージが削除されます。
表示するには取込みを行って下さい。



10-③ 表示



③ 表示をクリックすると左記画面が開きます。

赤点線枠内はツールバーからも同じ操作が出来ます。

③-1※拡大・縮小

データ作成・編集エリアに表示されているデータの表示サイズを任意の値で拡大・縮小します。

(最小30%、最大1000%)

③-2 ※ウィンドウに合わせる

データ作成・編集エリアに表示されているデータをウィンドウのサイズにします。

③-3 ※ラベルのグリッド表示

データ作成・編集エリアに表示されているラベルイメージの背景にグリッド線を表示(1ミリ単位で任意)

非表示・なしの設定をします。(0.1~100ミリ)

(初期は、1ミリ間隔で表示するに設定されています。)

③-4 ※ラベルマージンの表示

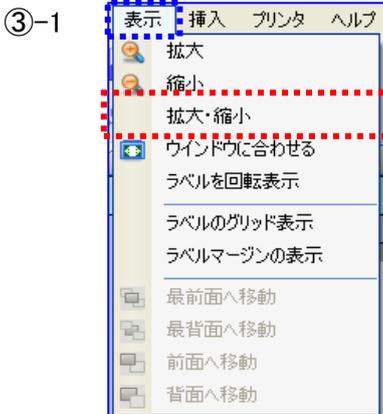
ラベルマージンの背景を灰色表示するか、点線で表示するかの設定をします。

(注) ※ラベルを回転表示

ラベルの出し方向とラベルを90度回転させて表示させることができます。

※データタブからでも同じ操作ができますので、詳細は、データタブ⇒④⇒「ラベルを回転表示」をご参照下さい。

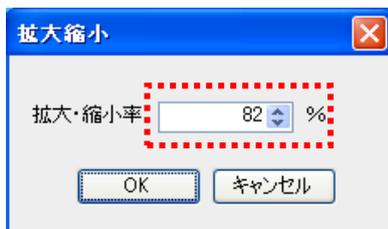
10-③-1 表示 拡大・縮小



③-1 拡大・縮小 (イメージラベル表示の拡大・縮小)

データ作成・編集エリアの表示ラベルを任意のサイズで拡大・縮小表示する事ができます。

③-1 表示をクリック→拡大・縮小をクリックします。



③-1 現在表示されている比率が表示されます。

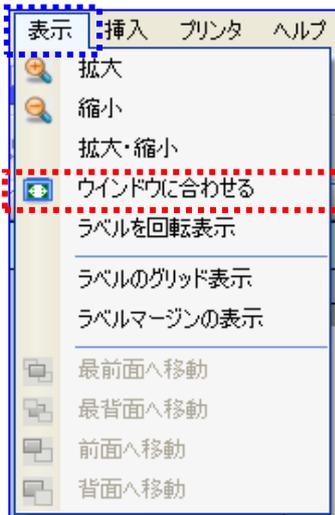
表示窓内の数値を変えることでイメージ表示のサイズを変えることができます。

③-1 例..数値を122%に変更



10-③-2 表示 ウィンドウに合わせる

③-2

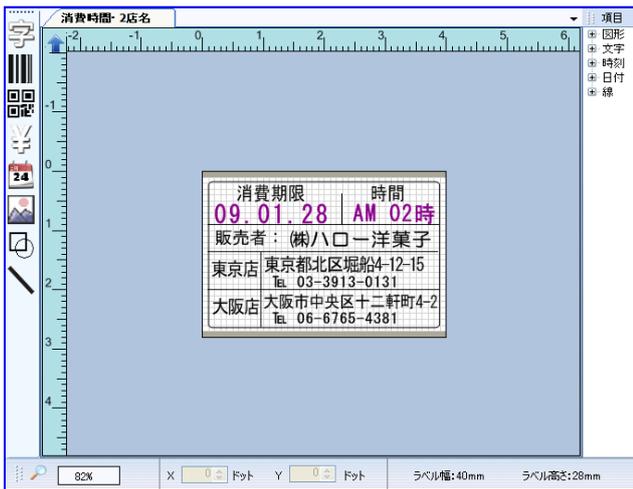


③-2 ウィンドウに合わせる

データ作成・編集エリアの表示ラベルをウィンドウのサイズに合わせます。

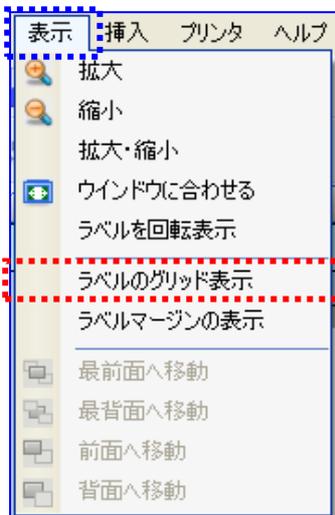
③-2 表示をクリック→ウィンドウに合わせるをクリックします。

③-2 現在表示されているデータ作成・編集エリアのラベルイメージがウィンドウ一杯に拡大されました。



10-③-3 表示 ラベルのグリッド表示

③-3



③-3 ラベルのグリッド表示 (イメージラベルの背景グリッド表示)

データ作成・編集エリアのラベルイメージの背景にグリッド線を表示・非表示の設定をします。
(初期値は1ミリ間隔で表示する。)

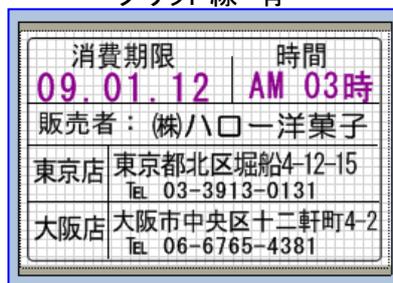
※グリッド線の間隔は0.1ミリ~100ミリまで設定可能

③-3 表示をクリック→ラベルのグリッド表示をクリックします。

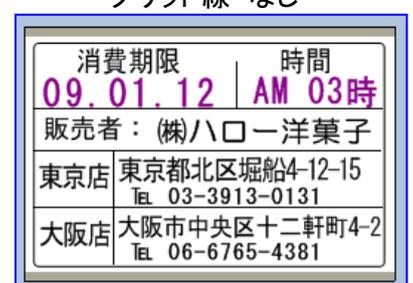
③-3 グリッド線表示の場合は間隔を設定できます。
グリッド間隔にチェックを入れ、間隔を入力してOKボタンをクリックするとグリッド線が表示されます。
グリッドなしにチェックを入れるとグリッド線は表示されません。



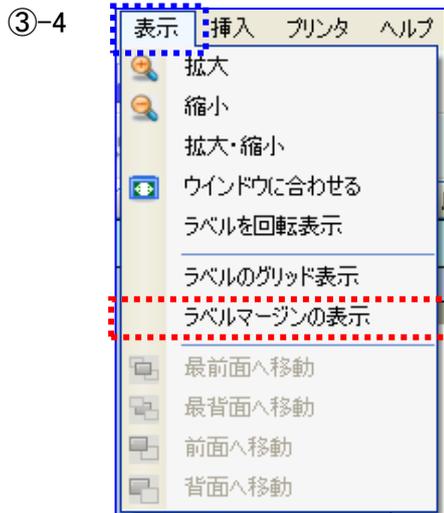
グリッド線 有



グリッド線 なし



10-③-4 表示 ラベルマーゼンの表示



③-4 ラベルマーゼンの表示

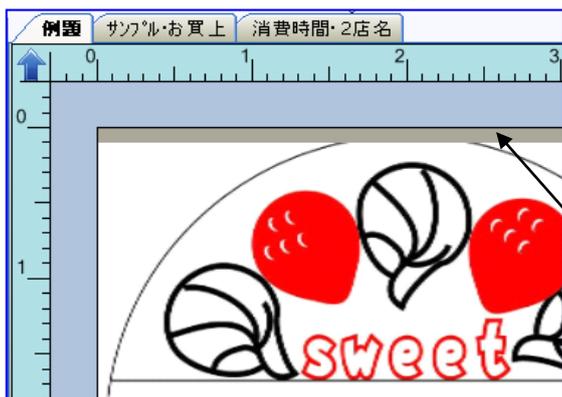
ラベルのマーゼンの背景を灰色で表示するか、点線で表示するかの設定をします。

③-4 表示をクリック→ラベルマーゼンの表示をクリックします。



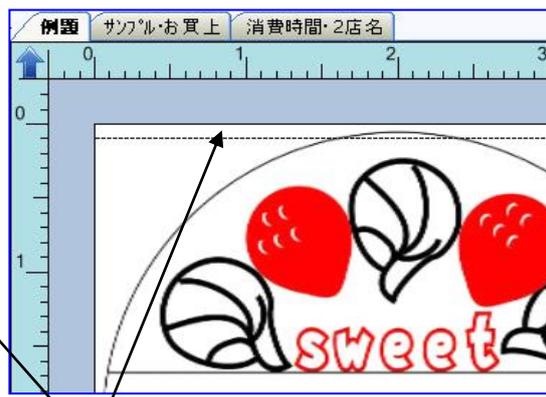
灰色で表示または点線で表示のどちらかを選択し、OKをクリックします。

灰色で表示



マーゼンが灰色になり、マーゼンと重なる背景イメージが表示されません。

点線で表示



マーゼン

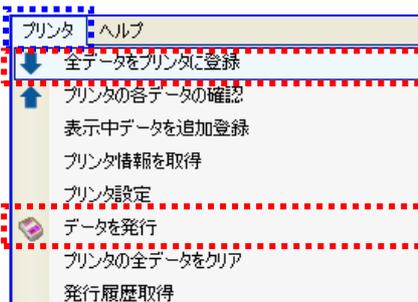
マーゼンが点線で表示され、マーゼンと重なる背景イメージも表示されます。

10-④ 挿入



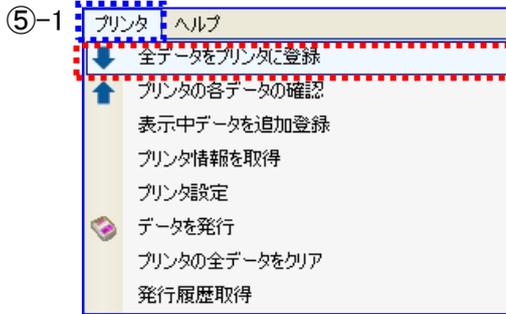
- ④ 挿入をクリックすると左記画面が開きます。
全ての項目がツールボックスから同じ操作ができます。
詳細は8、[ツールボックス](#)で説明いたします。
- 文字**
文字の設定(フォント・サイズ)とデータを作成します。
- バーコード**
1次元のバーコードの設定とデータを作成します。
- 2次元コード**
QRコード、RSSコードの設定とデータを作成をします。
- 価格**
価格項目の設定と価格データを作成します。
- 日付と時刻**
内蔵時計の日付・時刻に関する設定とデータを作成します。
- イメージ**
本体でプリントする文字以外の画像をイメージで取り込みをします。『bmp(ビットマップ)・jpg(ジエイペグ)』となります。
- 図形**
四角枠、角R四角、楕円(円)のデータを作成します。
- 線**
直線、斜め線のデータを作成します。

10-⑤ プリンタ



- ⑤ プリンタをクリックすると左記画面が開きます。
赤点線枠内はツールバーからも同じ操作が出来ます。
- ⑤-1 全データをプリンタに登録
ラベルパートナーで作成された全データを本体に登録します。
- ⑤-2 プリンタの各データの確認
本体に登録されている全データを取り込みプレビューに表示します。確認のみとなります。
(変更・送信する事はできません。)
- ⑤-3 表示中データを追加登録
データ作成・編集エリアに現在表示されているデータを本体に追加登録(送信)します。
(本体の登録件数が40件以下の時に限ります。)
- ⑤-4 プリンタ情報を取得
本体のソフト、総印字距離を表示します。
(パソコンとの通信チェック、本体のソフト確認。)
- ⑤-5 プリンタ設定
本体のLCDコントラスト設定、印字全体の左右移動、内蔵時計の日付・時間をパソコンを取り込む変更設定、プリントヘッドチェックの設定をして本体に送信します。
(内容を変更して、本体に送信『更新』します。)
- ⑤-6 データを発行
表示しているデータのラベルを発行します。
(データ作成・編集時のラベルの確認ができます。)
- ⑤-7 プリンタの全データをクリア
本体に登録されている全データを削除します。

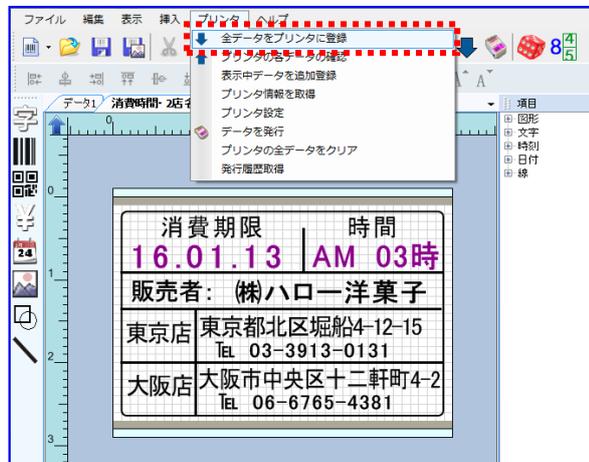
10-⑤-1 プリンタ 全データをプリンタに登録



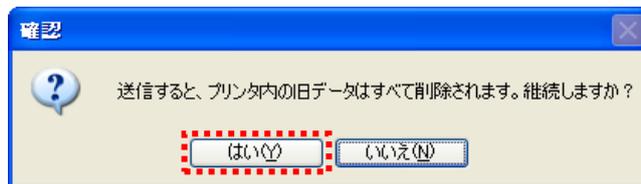
⑤-1 全データをプリンタに登録

ラベルパートナーで作成された全データを本体に登録します。

ツールバーの【本体へ全データ通信】をクリックしても同様な操作をすることができます。



⑤-1 ラベルパートナーが開いた状態から【プリンタ】→【全各データをプリンタに登録】をクリックします。



⑤-1 確認メッセージが表示されます。送信する場合は、【はい】をクリックします。

データが本体に送信されます。送信にしばらく時間がかかります。



⑤-1 本体に正常にデータが送信されると左図のようなメッセージが表示されます。

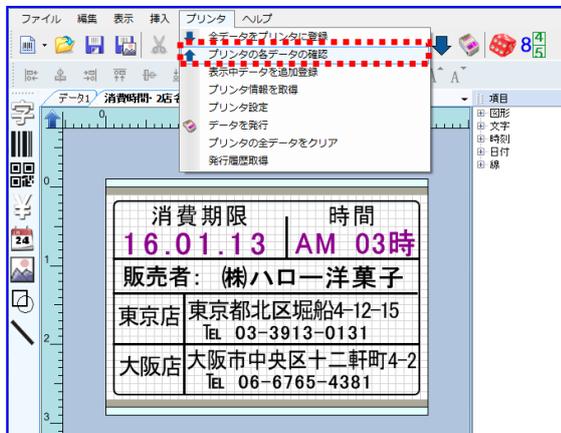
【OK】をクリックします。

これで本体にラベルパートナーの全データが送信されました。

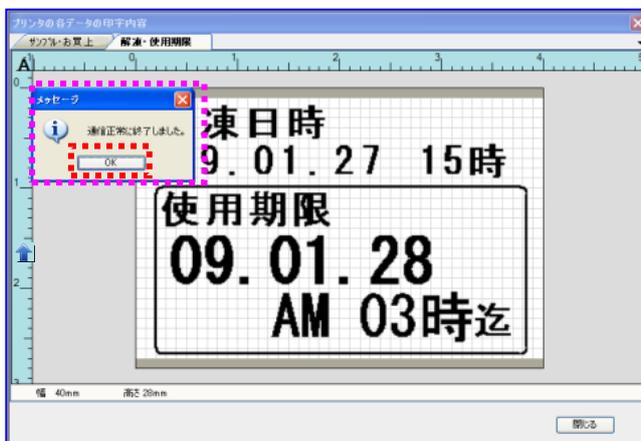
10-⑤-2 プリンタ プリンタの各データの確認



⑤-2 プリンタの各データの確認 (本体の登録データ確認)
 データ作成・編集エリアの表示データにかかわらず
 本体に登録された全データをプレビュー表示します。
 表示されたデータが複数の場合はデータタブをクリック
 すると、そのデータを確認する事ができます。
※確認用のため、変更・保存・送信はできません。



⑤-2 ラベルパートナーが開いた状態から
**【プリンタ】→【プリンタの各データの
 確認】**をクリックします。



本体内のデータをパソコン
 に通信中です。データ受信後、
 メッセージ表示になります。

⑤-2 本体内のデータがプレビュー
 表示されました。
メッセージのOKボタンをクリック
 します。

データタブまたはデータ作成・編
 集エリアをダブルクリックすると、
 印字設定画面が表示されます。

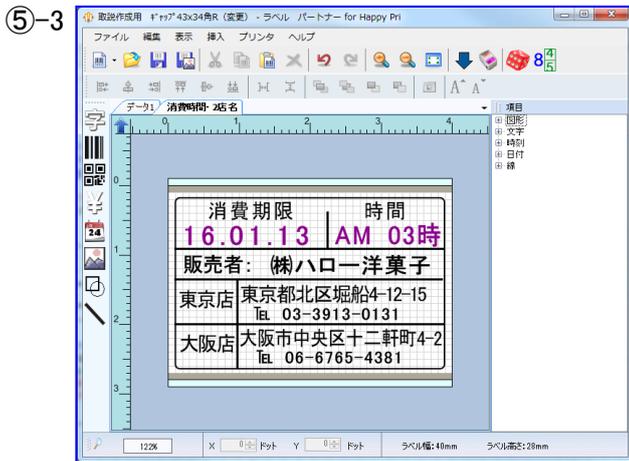


⑤-2 **データタブ**をクリックすると他のデータ
 を開けます。

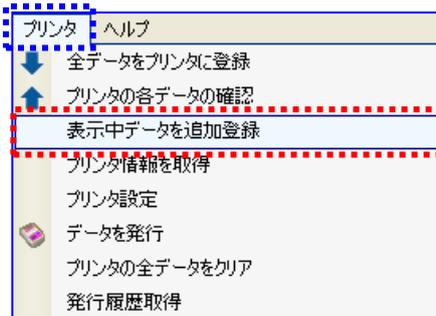
データタブまたはデータ作成・編集
 エリアをダブルクリックすると印字
 設定画面が表示されます。

閉じるボタンをクリックするとプレビュー
 を終了します。

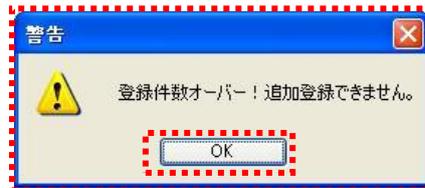
10-⑤-3 プリンタ 表示中データを追加登録



⑤-3 表示中データを追加登録
データ作成・編集エリアに表示されているデータを本体に追加登録(通信)します。
(本体の登録件数が40件以下の場合に限り追加する事が出来ます。)

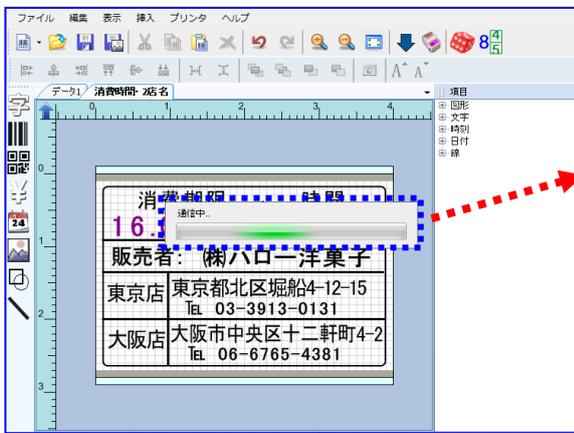


⑤-3 プリンタをクリック→表示中データを追加登録をクリックします。

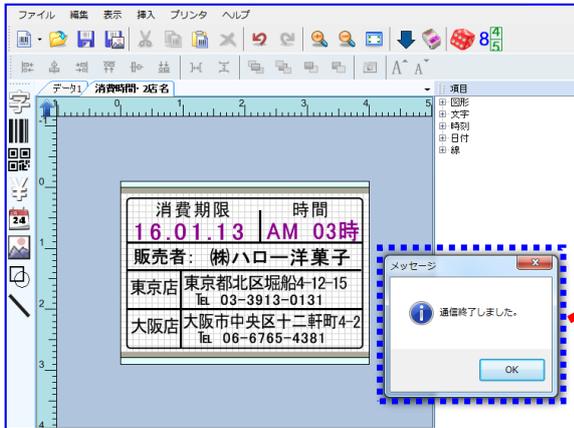


- ◎既に本体に登録済のデータが有る場合は登録済のデータの後に追加登録されます。
- 本体に既に40件の登録がされている場合は、警告・確認画面が表示されます。
追加登録は出来ません。
パートナー上でデータファイルを作成の上、全データ送信をして下さい。
※追加登録は補助的な機能となりますのでデータの件数が多い場合は、
前項5-①-2の追加読み込みでデータファイルで事前にデータを作成してから
本体に送信するようにしてご利用下さい。

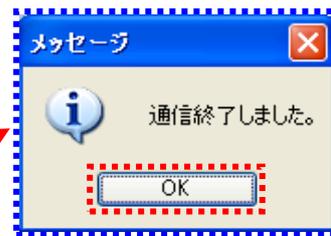
⑤-3



⑤-3 データを送信中です。

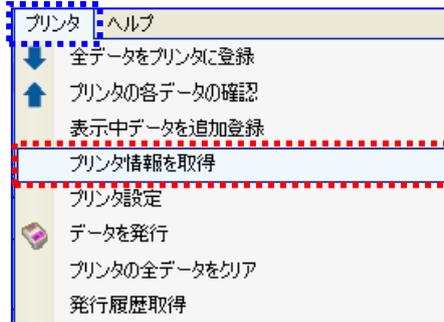


⑤-3 データ通信が終了しました。
OKボタンをクリックして終了です。



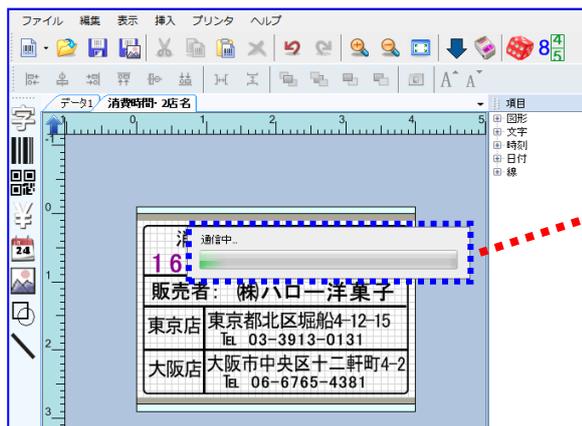
10-⑤-4 プリンタ プリンタ情報を取得

⑤-4



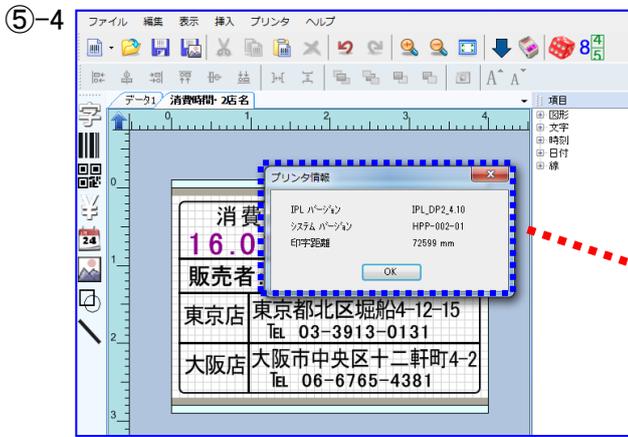
⑤-4 プリンタ情報を取得
本体のソフトウェアの確認
本体の発行距離を表示します。
パソコンと本体の通信チェックにも利用できます。

⑤-4 プリンタをクリック→プリンタ情報を取得をクリックします。



⑤-4 プリンタ情報を受信中です。





⑤-4 プリンタ情報が取得できました。
OKボタンをクリックして終了です。



10-⑤-5 プリンタ プリンタ設定



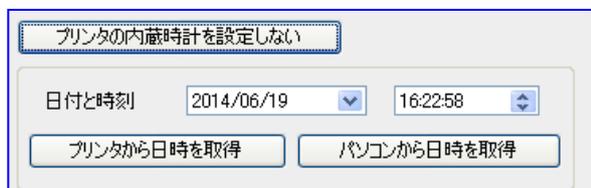
⑤-5 **プリンタ設定 (本体の設定値を取得)**
 本体のLCDコントラスト設定、印字全体の左右移動、内蔵時計の日付・時間をパソコンに取込む変更設定、プリントヘッドチェックの設定をして、本体に送信することができます。
 (本体の印字左右、内蔵時計の修正などに使用します。)

⑤-5 **プリンタ**をクリック→**プリンタ設定**をクリックします。
 受信後プリンタ設定が開きます。
 通常のラベルプリンタで使用した場合と、抽選機能を使った場合とでプリンタ設定画面が異なります。

【通常のラベルプリンタとして使用する場合】



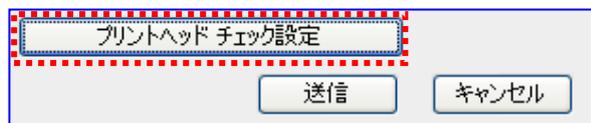
⑤-5-1 抽選機能を使った場合のみ、本体の設定を読み込んでから発行開始間隔が有効となり、間隔あり・なしを設定することができます。
 間隔ありの場合、PRINTキーを押してから、抽選機能が作動するまでの時間を設定することができます。

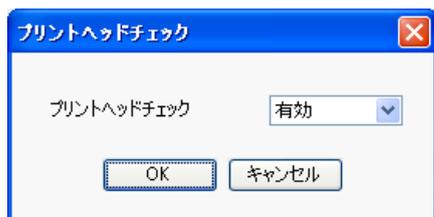


- ⑤-5-2 日付・時刻の調整には
プリンタの内蔵時計を設定ボタンをクリックし項目を変更の上、**送信ボタン**をクリックします。
 ※日時を設定せず閉じるにはプリンタの内蔵時計を設定しないボタンをクリックします。

プリンタから日時を取得ボタン
 本体の日時を受信して表示、修正箇所を選択または直接入力して変更します。
パソコンから日時を取得ボタン
 使用中のパソコンの日時に変更します。

時刻は、取得・修正した時刻のままとなります。秒・分を修正して時間が経過しても修正(設定)された時刻のままとなります。
 分・秒の修正時は速やかに本体に送信して下さい。



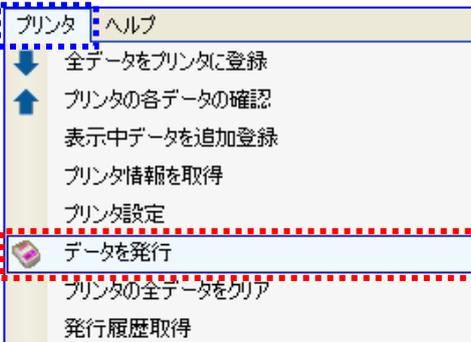
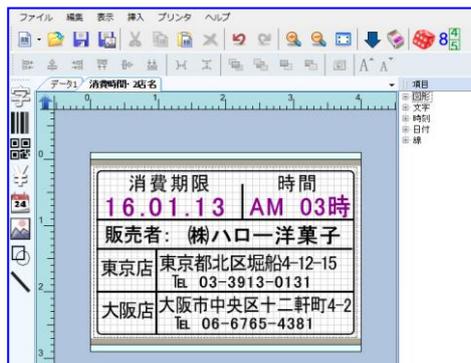


- ⑤-5-3 ヘッドチェックの設定をすることができます。
プリントヘッドチェック設定をクリックします。

- ⑤-5-3 プrintヘッドチェック
 ▼ボタンをクリックして、プリントヘッドチェックを有効・無効にするかの選択をし、OKボタンをクリックします。

10-⑤-6 プリンタ データを発行

⑤-6



⑤-6 データを発行

データ作成・編集エリアに表示しているデータを本体で発行します。

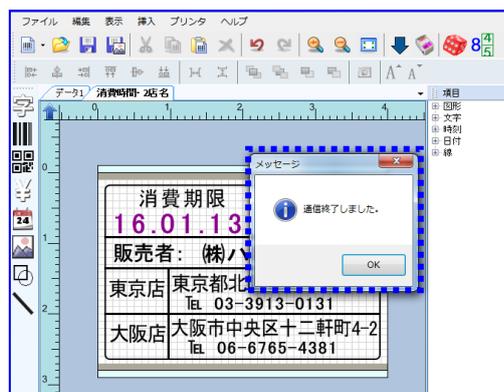
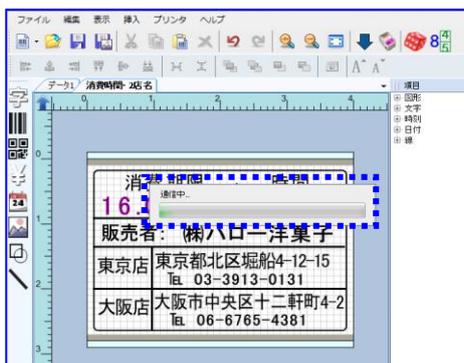
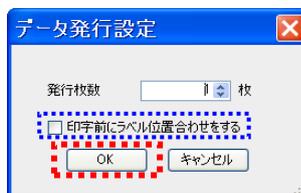
※ラベルパートナー上のデータ作成・編集集中のデータの確認がラベル上で出来ます。

⑤-6 プリンタをクリック→データを発行をクリックします。

発行枚数を入力し、OKボタンをクリックします。
(発行枚数: 1-99)

※ラベルを交換した時などは、印字前にラベル位置合わせをするにチェックを入れます。

そうすると、自動的に位置合わせされて、印字発行されます。



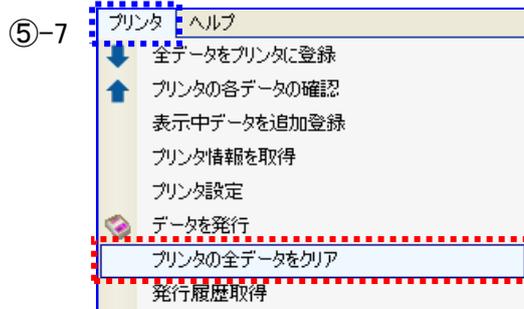
⑤-6 データを送信中です。

⑤-6 データ作成・編集エリアに表示しているデータのラベル発行枚数の命令を転送後、通信終了メッセージが表示されます。OKボタンをクリックします。

発行されたラベルを確認してデータの微調整を行って下さい。

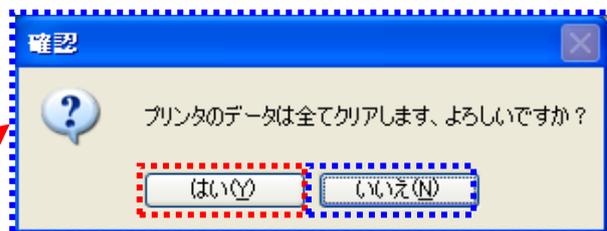
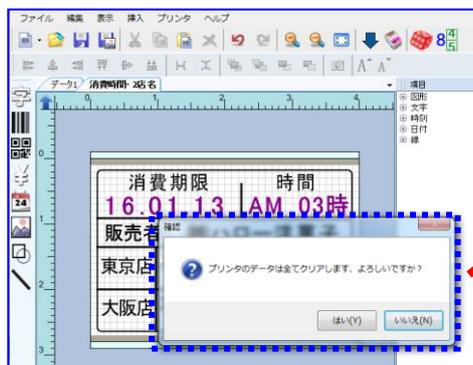
パソコン画面上的ラベルイメージは、あくまで印刷イメージで、実際の本体で印字したラベルとは若干異なります。

10-⑤-7 プリンタ プリンタの全データをクリア



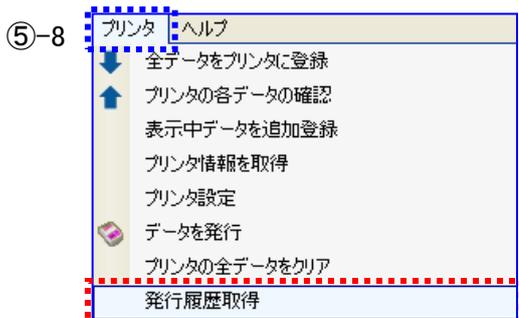
⑤-7 プリンタの全データをクリア(削除)
本体に登録された全てのデータを削除します。

⑤-7 プリンタをクリック→プリンタの全データをクリアをクリックします。



⑤-7 削除確認画面が表示されます。
はい(Y)ボタンをクリックすると本体内の全データが削除されます。
いいえ(N)ボタンをクリックすると削除を中止して表示画面に戻ります。

10-⑤-8 プリンタ 発行履歴取得



⑤-8 発行履歴取得
通常発行の場合は、「プリンタ設定」で「通常発行履歴データ記録」を「する」に設定した場合、履歴データが取得できます。
※本体でも設定ができます。

抽選券発行の場合は、いつでも履歴データが取得できます。

⑤-8 プリンタをクリック→発行履歴取得をクリックします。

※この時、本体は、通信状態にしてください。

正常に発行履歴がパソコンに取得されると次のようなメッセージが表示されます。



⑤-8 発行履歴取得

通常発行の場合：

デフォルトは、デスクトップ上にフォルダ「Happy Pri 発行履歴」が自動的に作成され、ファイル名は「日付」(CSVフォーマット)になります。

抽選券発行の場合：

デフォルトは、デスクトップ上にフォルダ「抽選券発行履歴」が自動的に作成され、ファイル名は「日付」(CSVフォーマット)になります。

※発行履歴データがフォルダに保存されると、本体の発行履歴は自動的に消去されます。

10-⑥ ヘルプ



⑥ ヘルプをクリックすると左記画面が開きます。

バージョン情報

このラベルパートナーのバージョンを表示します。



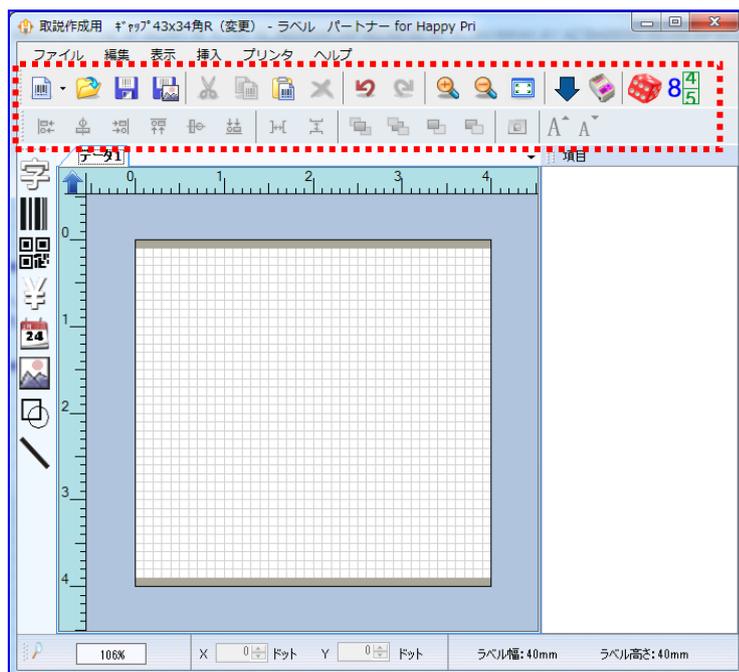
⑥ ヘルプをクリック→バージョン情報をクリックします。
バージョン情報が表示されます。

⑥ バージョン情報が表示されました。

⑥ バージョン情報を閉じるには、表示されたバージョン情報内をクリックします。

11、 ツールバー

新規作成・ファイルを開く・上書き保存、切り取り・イメージ表示サイズ・データの元へ戻す・全データ送信・各項目のデータ揃え・表示順などの機能となります。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮



⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑



- ①新規 データを追加・ファイル新規作成
- ②ファイルを開く
- ③上書き保存
- ④簡単イメージ化で保存
- ⑤切り取り
- ⑥コピー
- ⑦貼り付け
- ⑧削除 選択データを削除
- ⑨元へ戻す・やり直し
- ⑩ラベルイメージ表示の拡大、縮小
- ⑪ラベルイメージを表示 ウィンドウに合わせる
- ⑫全データをプリンタに登録
- ⑬画面上のデータのオンライン発行
- ⑭抽選設定
- ⑮ナンバーリング
- ⑯データの縦軸に対する左右方向揃え
- ⑰データの横軸に対する上下方向揃え
- ⑱3項目以上選択時の横・縦方向の間隔均等
- ⑲選択データのイメージ表示順 (最前面・最背面・前面・背面)
- ⑳選択データのロック (移動禁止)
- ㉑フォントサイズ拡大・縮小

11-① 新規



新規をクリックすると左記画面が開きます。

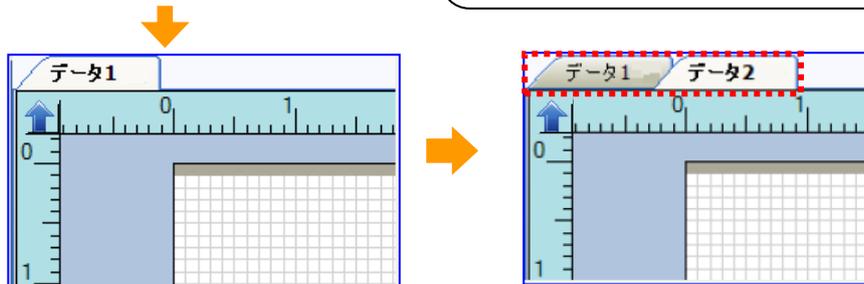
- ①-1 データを追加。
- ①-2 ファイル新規作成。

11-①-1 新規 データを追加

①-1



データを追加をクリックすると新しいデータシートが追加されます。
※データ番号(2)のデータシートが追加されました。データの追加が出来ます。

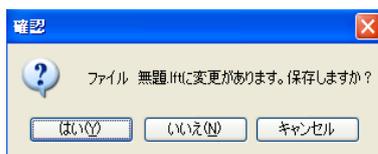


11-①-2 新規 ファイル新規作成

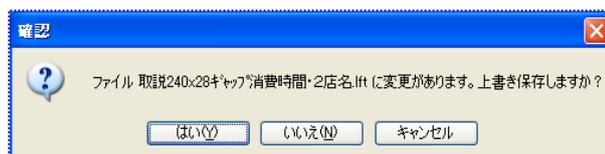
①-2



ファイル新規作成をクリックすると現在のデータを削除して新規のデータファイルの作成となります。
※ラベルパートナーを開いた状態になります。
※作成中で保存されていないデータがある場合は保存の確認画面が表示されます。

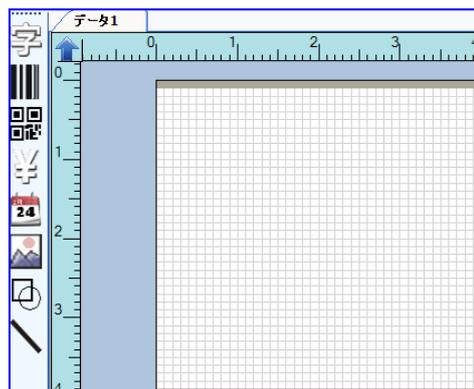


新規でデータ作成し、保存していない場合の表示



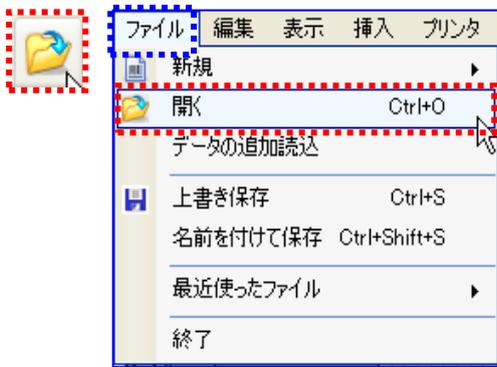
既存ファイル開きデータの変更をし、保存していない場合の表示

保存する場合は、はい(Y)を、保存せず終了は、いいえ(N)を新規作成を中止する場合はキャンセルをクリックします。

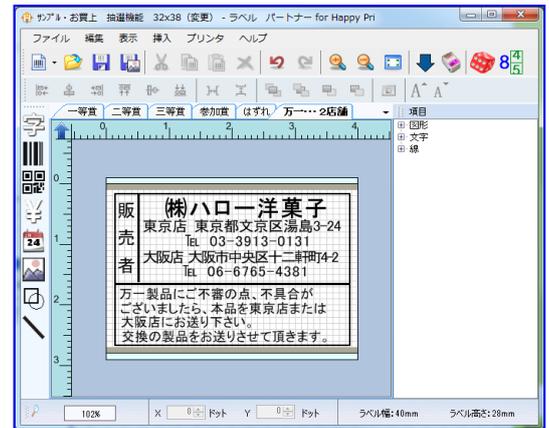
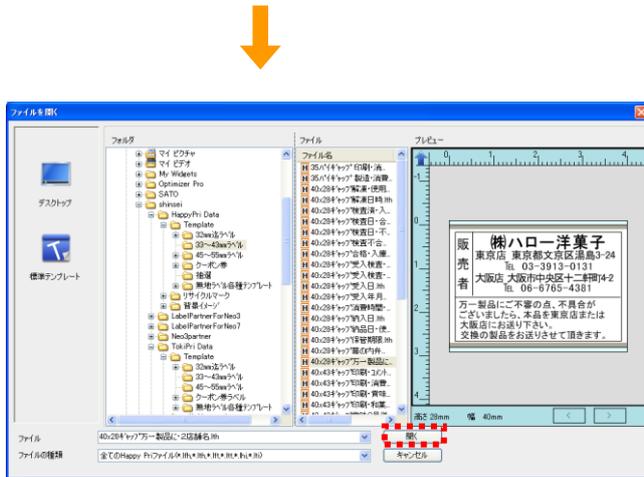


新規データファイルが開きました。ラベルパートナー初期画面の状態となります。

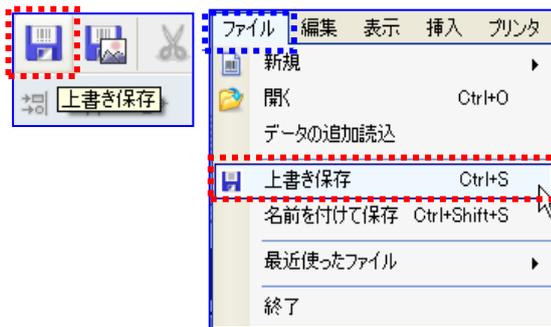
11-② ファイルを開く 既存のファイルを開く



ファイルを開く
保存されているファイルを開きます。
ファイルを開くをクリックすると保存先の選択画面となります。
メニューバーの【ファイル】→【開く】からでも同様となります。
保存先を指定してファイル名をダブルクリックまたは、開くボタンをクリックしてファイルを開きます。



11-③ 上書き保存



上書き保存
既存のファイルを開いてデータを更新した場合に同名ファイルで上書きで保存します。
上書き保存をクリックすると同ファイル名でデータの更新がされます。
メニューバーの【ファイル】→【上書き保存】でも同様となります。
※新規の場合は、名前をつけて保存の表示となります。

無題 - ラベル パートナー for Happy Pri

メニューバーの上部アイコン

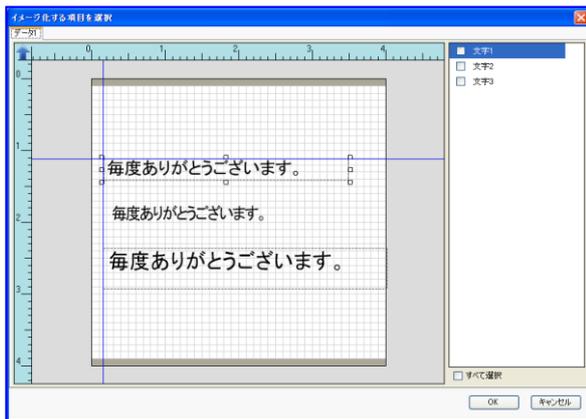
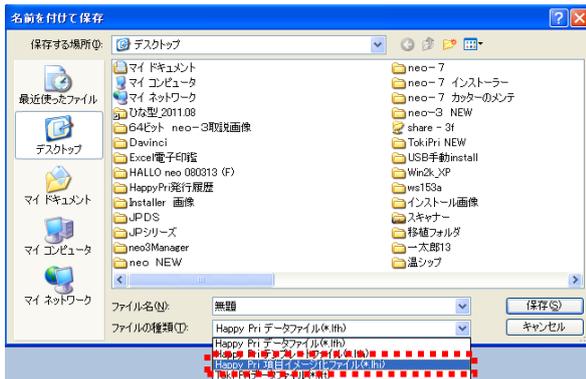
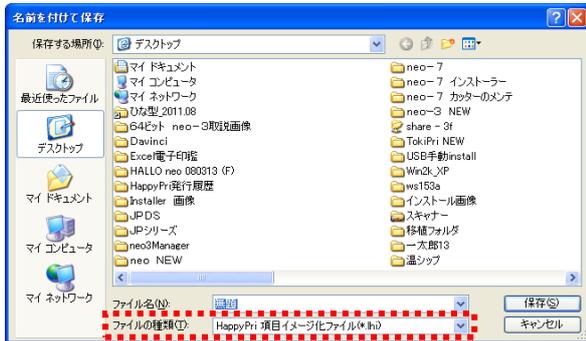
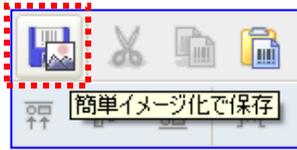
新規ファイルを開いた場合の表示。無題(変更)と表示されます。
名前をつけての保存となります。

40x28キャップ消費時間-2店名(変更) - ラベル パートナー for Happy Pri

メニューバーの上部アイコン

既存ファイルを開きデータを変更した場合の表示。開いたファイル名に(変更)と表示されます。
上書き保存、名前をつけて保存のいずれかとなります。

11-④ 簡単イメージ化で保存



簡単イメージ化で保存

(印字データをイメージ化して保存します。)

名前をつけて保存画面が開きます。

ファイルの保存先を選択し、判り易いファイル名を付けて、保存ボタンをクリックします。

※自動的にファイルの種類が「Happy Pri 項目イメージ化ファイル(*.lhi)」になります。

簡単イメージ化で保存する場合は、**ファイル⇒名前を付けて保存**をクリックして**名前をつけて保存**画面を開き、ファイルの種類を「Happy Pri 項目イメージ化ファイル(*.lhi)」を選択しても保存できます。

イメージ化したい文字項目を選択することができます。

すべてを選択枠にチェックを入れると、すべての文字項目が一括で選択されます。

11-⑤ 切り取り



切り取り（データを指定すると有効となります。）
切り取るデータを指定し、切り取りアイコンをクリックすると指定したデータを切り取る事ができます。
※データを現在のデータシートから他のデータシートに移動するような場合に使用します。

※元のデータシートにはデータがなくなります。
メニューバー【編集】→【切り取り】または、切り取るデータ内で、右クリックしても同様の操作が出来ます。
※貼り付けとセットで使用します。
※削除のみする場合は⑦の削除を選択します。
※同シート中の移動はデータをドラッグします。

11-⑥ コピー



コピー（データを指定すると有効となります。）
コピーするデータを指定し、コピーアイコンをクリックすると指定したデータをコピーする事ができます。

※データを他の場所に複製を作る場合に使用します。
他のデータシートへも貼り付けられます。
メニューバー【編集】→【コピー】または、コピーするデータ内で、右クリックしても同様の操作ができます。
※貼り付けとセットで使用します。
※削除のみする場合は⑦の削除を選択します。
※同シート中の移動はデータをドラッグします。

11-⑦ 貼り付け



貼付（データを切り取り、コピー、すると有効となります。）
前項で切り取りまたは、コピーしたデータを、データ作成・編集エリアで、貼りつけアイコンをクリックし貼り付けます。
※前項で切り取りまたはコピーしたデータは、再度切り取り、コピーをするまで繰り返す事ができます。

メニューバー【編集】→【貼付】または、データ作成・編集エリア内で、右クリックしても同様の操作ができます。

11-⑧ 削除 選択データを削除



削除（データを指定すると有効となります。）
削除するデータを指定して削除アイコンをクリックすると指定したデータが削除されます。

※間違えて削除した場合は⑧の元へ戻すアイコンで復活させる事ができます。

メニューバー【編集】→【削除】または、データ作成・編集エリアで削除するデータを右クリックしても同様の操作ができます。

11-⑨ 元に戻す・やり直し



元に戻す、やり直し

元に戻すアイコンを押すごとに1操作前に戻ります。
やり直しアイコンを押すごとに1操作進みます。
(やり直せる項目がある場合)

※データの入力中に前回値へ戻すような時、使用します。
メニューバー【編集】→【元に戻す・やり直し】をクリックしても同様の操作が出来ます。

11-⑩ ラベルイメージ表示 拡大・縮小

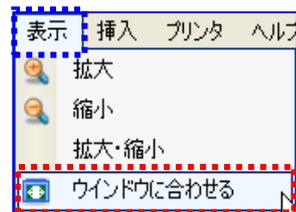


ラベルイメージ表示の拡大、縮小

データ作成・編集エリアのラベルイメージ表示の調整。
拡大マーク+アイコンを押すごとに表示を拡大します。
縮小マーク-アイコンを押すごとに表示を縮小します。
※グリッド線を表示の時はグリッド線も変化します。

メニューバー【表示】→【拡大・縮小】をクリックしても同様の操作が出来ます。

11-⑪ ラベルイメージ表示 ウィンドウサイズに合わせる



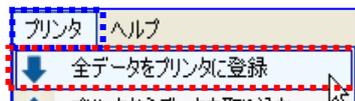
ラベルイメージを表示画面サイズに変更

データ作成・編集エリアのラベルイメージ表示の調整。
ウィンドウに合わせるアイコンをクリックすると表示されているラベルイメージがデータ作成・編集エリア一杯に表示されます。
※グリッド線を表示の時はグリッド線も変化します。

※微妙な位置の調整などの時に使用します。

【表示】→【ウィンドウに合わせる】をクリックしても同様の操作が出来ます。

11-⑫ 全データをプリンタに登録



全データを本体に送信

全データ送信は、データ作成・編集エリアで作成された1ファイルの全データを、本体に送信します。

メニューバー【プリンタ】→【全データをプリンタの登録】をクリックしても同様の操作が出来ます。



データを送信すると本体の全データ

が削除されるので確認画面が表示されます。
はい(Y)をクリックすると本体内のデータを全て削除して送信します。

いいえ(N)をクリックすると中止して戻ります。

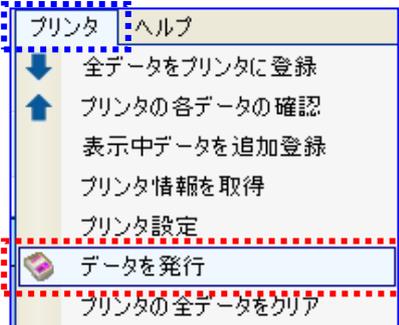
11-⑬ データを発行 画面上のデータのオンライン発行



データを発行

画面上に表示しているデータを本体に送信し、オンライン発行します。

※メニューバー【プリンタ】→【データを発行】をクリックしても同様の操作が出来ます。



印字枚数を入力し、本体とUSB接続を確認後、**OKボタン**をクリックします。

(発行枚数:1-999)

※ラベルを交換した時などは、**印字前にラベル位置合わせをする**にチェックを入れます。

そうすると、自動的に位置合わせされて、印字発行されます。

※センサーレベルを本体で自動検出したい場合は、**センサー値を本体で自動検出**ボタンをクリックします。



本体と接続していないと、エラーメッセージが表示されます。

本体が通信状態になっているか、または、USB接続を再度確認して下さい。

11-⑭ 抽選設定



⑭ 確率による抽選設定または枚数による抽選設定をすることにより抽選ラベルを発行することができます。
ツールバーの抽選設定アイコンをクリックします。

11-⑭-1 抽選設定 確率による抽選設定

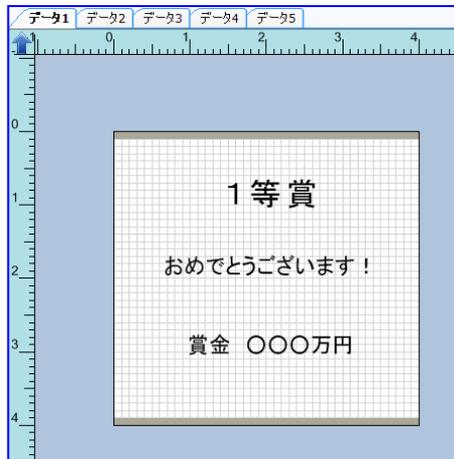
⑭-1

確率によって抽選ラベルを発行する場合は、確率による抽選設定にチェックを入れてOKボタンをクリックします。

抽選設定テーブルにデータ1が作成されるとともに、データ作成・編集エリアにデータ1タブが作成されます。【初期値】

データ作成・編集エリアでデータタブを追加することができます。(最大40レイアウト)

※40レイアウト以上作成して、本体と通信しようとすると右図のようなエラーメッセージが表示されます。



⑭-1 データ作成・編集エリアで発行するラベルに印字するレイアウトを作成します。

ここでは、レイアウトを5個作成しています。

抽選券	確率(%)	履歴記録設定	当選等級設定	当たり・はずれ表示
データ1	20	記録する	当選等級1	非表示
データ2	20	記録する	当選等級2	非表示
データ3	20	記録する	当選等級3	非表示
データ4	20	記録する	当選等級4	非表示
データ5	20	記録する	当選等級5	非表示
合計	100			

⑭-1 抽選設定アイコンをクリックすると、抽選設定テーブルが表示されます。

- 本体で乱数作成し、抽選設定テーブルで設定された確率(%)で抽選を行います。
- 確率(%)の合計が100未満でハズレ券が定義されていない場合は、本体の抽選券発行画面に「ハズレ！」を表示します。
→約4秒後、本体のPRINTキーで戻ります。
- 最小確率(%) : 0.01%された確率(%)で抽選を行います。
- ラベル発行が終了した後は、次の抽選動作に一切影響しません。
- 確率(%)の合計セルは、100%以内に設定しなければなりません。

※100%をオーバーしてOKボタンをクリックすると次のようなエラーメッセージが表示されます。





⑭-1 履歴記録設定
 【記録する】に設定した場合
 デスクトップ上に自動的に作成された抽選券発行履歴フォルダに発行した抽選ラベルの履歴を1枚ごと記録します。

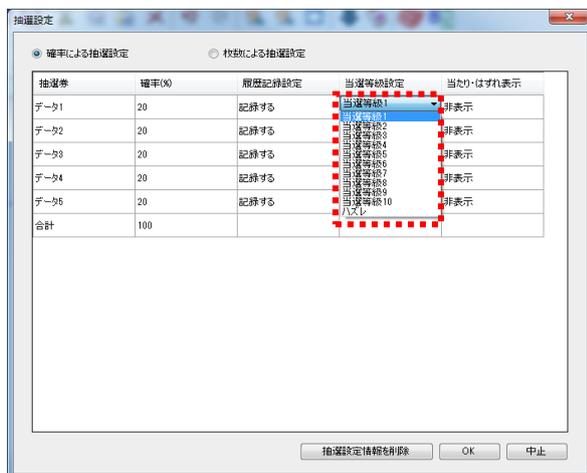
【記録しない】に設定した場合
 発行した抽選ラベルをレイアウト番号ごとに集計します。

※履歴記録:最大3855件

※確率(%)の合計が100未満でハズレ券が定義されていない場合は、本体の抽選券発行画面に「ハズレ！」が表示されたものは、記録されません。

※抽選ラベル発行中、検出できるエラーが発生した場合、履歴記録されません。
 また、エラーが検出できない場合は、発行枚数と一致しない場合があります。

⑭-1
 タブレットやスマートフォンなどのモバイル機器にスロットアプリケーションをインストールして、スロットを動作させてスロット画面に合わせて、本体から抽選ラベルを発行することができます。



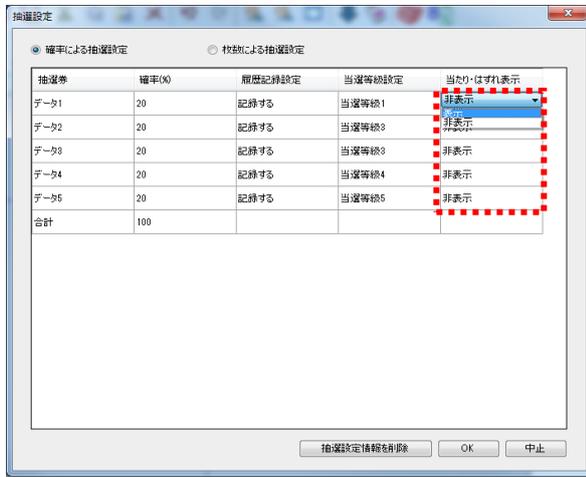
⑭-1 それぞれのレイアウトとスロット画面の当たり表示が合うように、プルダウンメニューから当選等級設定をします。

すると、スロット画面に対応するレイアウトの抽選ラベルを本体から発行することができます。



たとえば、レイアウト「データ1」と当選等級設定の「1等」を対応させると、スロット画面が上図のように表示

⑭-1



⑭-1 スロットが揃った場合、当たり・はずれ設定でスロット画面全体に当たり・はずれの表示・非表示の設定をすることができます。

すべての抽選設定が終了したら、OKボタンをクリックします。



スロット画面全体に当たり表示



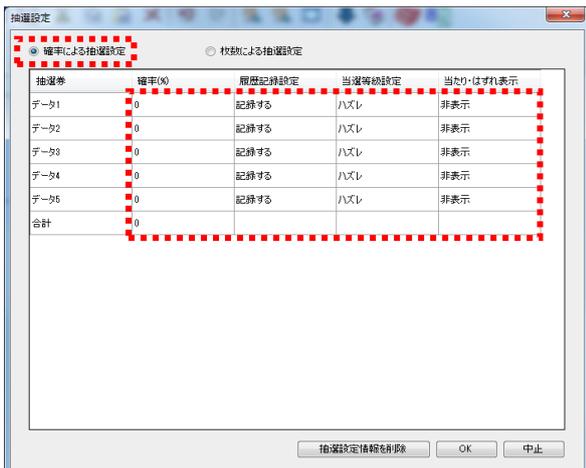
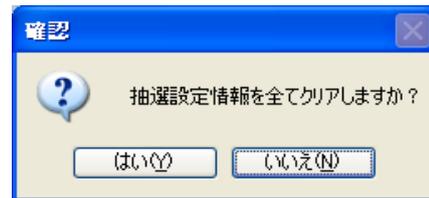
スロット画面全体にハズレ表示

⑭-1

抽選設定機能を無効にして、通常のラベル発行をすることができます。



⑭-1 「抽選設定情報を削除」ボタンをクリックすると、次のような確認メッセージが表示されます。



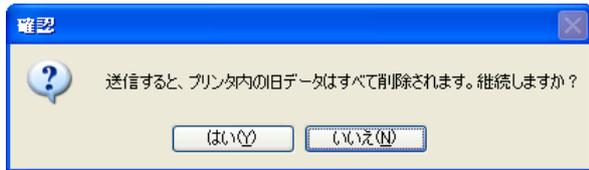
⑭-1 「はい」ボタンをクリックすると確率(%)が「0」にリセットされるとともに、その他の抽選設定も初期値に戻ります。

この状態でツールバーの  アイコンをクリックして本体にダウンロードすると、本体の抽選券発行画面から通常の発行画面に戻ります。



⑭-1

抽選設定したレイアウトデータを本体に送信して、本体から抽選ラベルを発行します。



- ⑭-1 本体を通信状態（発行画面）にして、ツールバーの アイコン（または、メニューバー⇒プリンタ⇒全データをプリンタに登録）をクリックすると左図のようなメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、レイアウトデータが本体にダウンロードされます。

この時、本体で抽選ラベルが発行されている場合は、パソコン上にアップロードされます。すでに、パソコン上に同じファイルがある場合は、左図のようなメッセージが表示されます。OKボタンをクリックして、別ファイルで保存してください。

ダウンロードが終了すると左図のような終了メッセージが表示されますのでOKボタンをクリックします。

すると、本体の発行画面が左図のような抽選券発行画面になります。本体のPRINTキーを押すごとに設定された確率(%)で抽選ラベルを発行します。

※確率(%)の合計が100未満でハズレ券が定義されていない場合は、本体の抽選券発行画面に「ハズレ！」を表示します。→約3秒後、自動的に抽選券発行画面に戻ります。

⑭-1

次に、自動的にデスクトップ上に作成された抽選券発行履歴フォルダを開いて発行履歴を確認します。
※セル内が「###・・・」になっている場合は、セル幅を広げてください。

【記録する】に設定した場合

	A	B	C	D	E
1	TokiPriPartnerLogFile				
2					
3		3 データ3	2013/11/14	12:03:27	1
4		1 データ1	2013/11/14	12:03:23	1
5		4 データ4	2013/11/14	12:03:07	1
6		2 データ2	2013/11/14	12:02:56	1
7		2 データ2	2013/11/14	12:02:52	1
8		4 データ4	2013/11/14	12:02:48	1
9		3 データ3	2013/11/14	12:02:43	1
10		2 データ2	2013/11/14	12:02:39	1
11		2 データ2	2013/11/14	12:02:35	1
12		3 データ3	2013/11/14	12:02:30	1

レイアウト番号
↑
レイアウト名

発行枚数

【記録しない】に設定した場合

	A	B	C	D	E
1	TokiPriPartnerLogFile				
2					
3					
4		1 データ1	2013/11/15	17:22:43	1
5		2 データ2	2013/11/15	17:23:03	2
6		3 データ3	2013/11/15	17:22:31	2
7		4 データ4	2013/11/15	17:23:14	5

レイアウト番号
↑
レイアウト名

発行枚数

※発行枚数には、確率(%)の合計が100未満で本体の抽選券発行画面に「ハズレ！」と表示されたものは記録されません。

11-⑭-2 抽選設定 枚数による抽選設定

⑭-2

発行枚数によって抽選ラベルを発行する場合は、枚数による抽選設定にチェックを入れてOKボタンをクリックします。

抽選設定テーブルにデータ1が作成されるとともに、データ作成・編集エリアにデータ1タブが作成されます。【初期値】

データ作成・編集エリアでデータタブを追加することができます。(最大40レイアウト)

※40レイアウト以上作成して、本体と通信しようすると右図のようなエラーメッセージが表示されます。



⑭-2 データ作成・編集エリアで発行するラベルに印字するレイアウトを作成します。

ここでは、レイアウトを5個作成しています。

抽選設定

○ 確率による抽選設定 ● 枚数による抽選設定

抽選券	発行枚数(最大9999)	確率	履歴記録設定	当選等級設定	当たり・はずれ表示
データ1	1	0.67%	記録する	ハズレ	非表示
データ2	2	13.33%	記録する	ハズレ	非表示
データ3	3	20%	記録する	ハズレ	非表示
データ4	4	26.67%	記録する	ハズレ	非表示
データ5	5	33.33%	記録する	ハズレ	非表示
合計	15	100%			

抽選設定情報削除 OK 中止

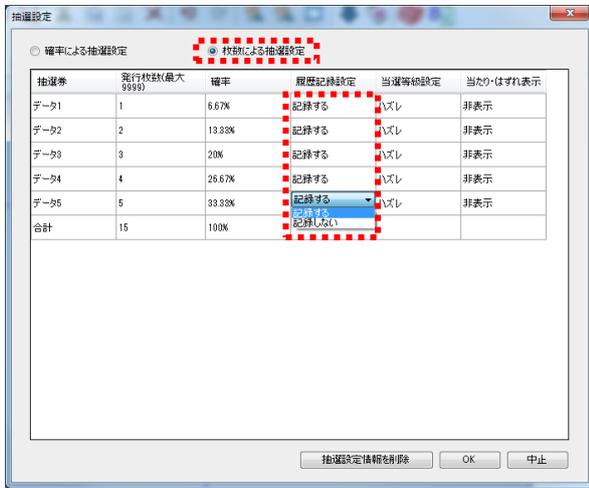
⑭-2 抽選設定アイコンをクリックすると、抽選設定テーブルを表示します。

- 本体で乱数作成し、抽選設定テーブルで入力枚数によって算出された確率(%)で抽選を行います。
- ラベル発行が終了した後は、次の抽選動作に一切影響しません。
- 各レイアウトの最大発行枚数は、9999枚以内に設定しなければなりません。
- 発行枚数セルに入力すると自動的に確率セルに数値が算出されて表示されます。

※9999枚をオーバーしてOKボタンをクリックすると次のようなエラーメッセージが表示されます。



⑭-2



⑭-2 履歴記録設定

【記録する】に設定した場合

発行した抽選ラベルごとに1枚ずつ履歴を記録します。

【記録しない】に設定した場合

発行した抽選ラベルをレイアウト番号ごとに集計します。

※履歴記録: 最大3855件

※抽選ラベル発行中、検出できるエラーが発生した場合、履歴記録されません。
また、エラーが検出できない場合は、発行枚数と一致しない場合があります。

⑭-2

タブレットやスマートフォンなどのモバイル機器にスロットアプリケーションをインストールして、スロットを動作させてスロット画面に合わせて、本体から抽選ラベルを発行することができます。



⑭-2 それぞれのレイアウトとスロット画面の

当たり表示が合うように、プルダウンメニューから当選等級設定をします。

すると、スロット画面に対応するレイアウトの抽選ラベルを本体から発行することができます。



たとえば、レイアウト「データ1」と当選等級設定の「1等」を対応させると、スロット画面が上図のように表示

すると、本体からレイアウト「データ1」の1等賞の抽選ラベルが発行されます。

⑭-2

抽選券	発行枚数(最大 9999)	確率	履歴記録設定	当選等級設定	当たり・はずれ表示
データ1	1	6.67%	記録する	当選等級1	非表示
データ2	2	13.33%	記録する	当選等級2	非表示
データ3	3	20%	記録する	当選等級3	非表示
データ4	4	26.67%	記録する	当選等級4	非表示
データ5	5	33.33%	記録する	当選等級5	非表示
合計	15	100%			

⑭-2 スロットが揃った場合、当たり・外れ設定でスロット画面全体に当たり・はずれの表示・非表示の設定をすることができます。

すべての抽選設定が終了したら、OKボタンをクリックします。



スロット画面全体に当たり表示



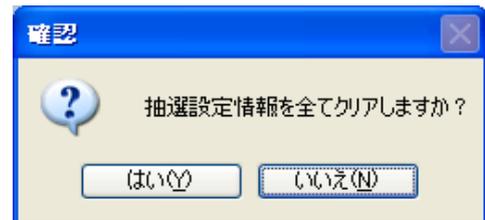
スロット画面全体にハズレ表示

⑭-2

抽選設定機能が無効にして、通常のラベル発行をすることができます。

抽選券	発行枚数(最大 9999)	確率	履歴記録設定	当選等級設定	当たり・はずれ表示
データ1	1	6.67%	記録する	当選等級1	表示
データ2	2	13.33%	記録する	当選等級2	表示
データ3	3	20%	記録する	当選等級3	表示
データ4	4	26.67%	記録する	当選等級4	表示
データ5	5	33.33%	記録する	当選等級5	表示
合計	15	100%			

⑭-2 「抽選設定情報を削除」ボタンをクリックすると、次のような確認メッセージが表示されます。



抽選券	発行枚数(最大 9999)	確率	履歴記録設定	当選等級設定	当たり・はずれ表示
データ1	0	0%	記録する	ハズレ	非表示
データ2	0	0%	記録する	ハズレ	非表示
データ3	0	0%	記録する	ハズレ	非表示
データ4	0	0%	記録する	ハズレ	非表示
データ5	0	0%	記録する	ハズレ	非表示
合計	0	0%			

⑭-2 「はい」ボタンをクリックすると、発行枚数および確率が「0」にリセットされるとともに、その他の抽選設定も初期値に戻ります。

OKボタンをクリックします。

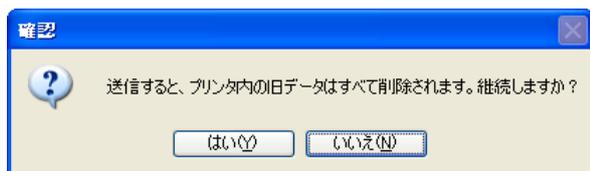
この状態で アイコンをクリックして本体にダウンロードすると、抽選券発行画面から通常の発行画面に戻ります。



通常のラベル発行をすることができます。

⑭-2

抽選設定したレイアウトデータを本体に送信して、本体から抽選ラベルを発行します。

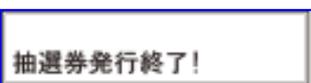


⑭-2 本体を通信状態(発行画面)にして、ツールバーの アイコン(または、メニューバー⇒プリンタ⇒全データをプリンタに登録)をクリックすると左図のようなメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、レイアウトデータが本体にダウンロードされます。

この時、本体で抽選ラベルが発行されている場合(履歴記録設定で「記録する」に設定されているレイアウト)は、パソコンにアップロードされます。すでに、パソコン上に同じファイルがある場合は、左図のようなメッセージが表示されます。

OKボタンをクリックして、別ファイルで保存します。

⑭-2



⑭-2 ダウンロードが終了すると左図のような終了メッセージが表示されますのでOKボタンをクリックします。

⑭-2 すると、本体の発行画面が左図のような抽選券発行画面になります。

本体のPRINTキーを押すごとに枚数による抽選設定された確率(%)で抽選ラベルを発行します。

※設定した発行枚数に到達すると、本体の発行画面に右図のような「抽選券発行終了!」を表示します。

再度、抽選ラベルを発行する場合は、同じ手順でラベルパートナーからレイアウトデータを本体にダウンロードしてください。

⑭-2

次に、自動的にデスクトップ上に作成された抽選券発行履歴フォルダを開いて発行履歴を確認します。
※セル内が「###・・・」になっている場合は、セル幅を広げてください。

【記録する】に設定した場合

	A	B	C	D	E
1	TokiPriPartnerLogFile				
2					
3		3 データ3	2013/11/14	12.03.27	1
4		1 データ1	2013/11/14	12.03.23	1
5		4 データ4	2013/11/14	12.03.07	1
6		2 データ2	2013/11/14	12.02.56	1
7		2 データ2	2013/11/14	12.02.52	1
8		4 データ4	2013/11/14	12.02.48	1
9		3 データ3	2013/11/14	12.02.43	1
10		2 データ2	2013/11/14	12.02.39	1
11		2 データ2	2013/11/14	12.02.35	1
12		3 データ3	2013/11/14	12.02.30	1

レイアウト番号

レイアウト名

発行枚数

【記録しない】に設定した場合

	A	B	C	D	E
1	TokiPriPartnerLogFile				
2					
3					
4		1 データ1	2013/11/15	17:50:36	1
5		2 データ2	2013/11/15	17:50:39	2
6		3 データ3	2013/11/15	17:50:32	3
7		4 データ4	2013/11/15	17:51:01	4

レイアウト番号

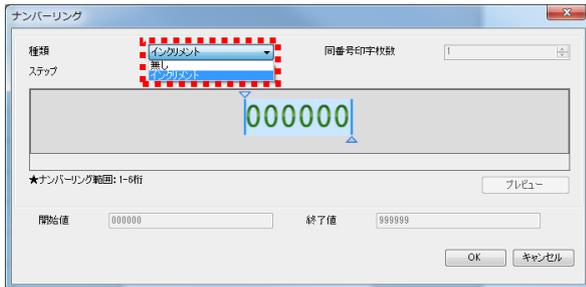
レイアウト名

発行枚数

11-⑮ ナンバーリング



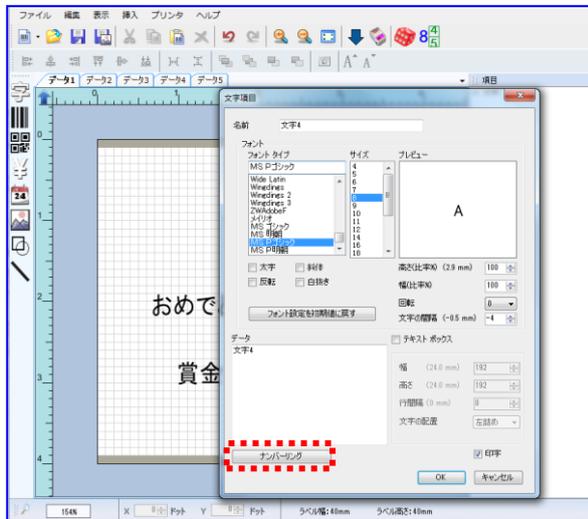
⑮ 本体から発行されたラベルに発行番号を連番で印字することができます。
ツールバーのナンバーリングアイコンをクリックします。



⑮ それぞれのレイアウトで発行されるラベルに連番でナンバーリングを印字する場合に、ナンバーリング設定を行います。

種類をインクリメントをプルダウンメニューから選択して、OKボタンをクリックします。

ナンバーリングをもう一度クリックすると、開始値と終了値が有効になります。



⑮ それぞれのレイアウトにナンバーリング設定をします。

レイアウト画面でツールボックスの文字項目をクリックすると、文字項目のプロパティが開きますので、ナンバーリングをクリックします。



⑮ 種類のプルダウンメニューからインクリメントを選択します。



⑮ 共有ナンバーリング設定を使用にチェックを入れると、ツールバーのナンバーリングでの設定値が適用されます。

共有ナンバーリング設定を使用にチェックした全てのレイアウトに適用されます。

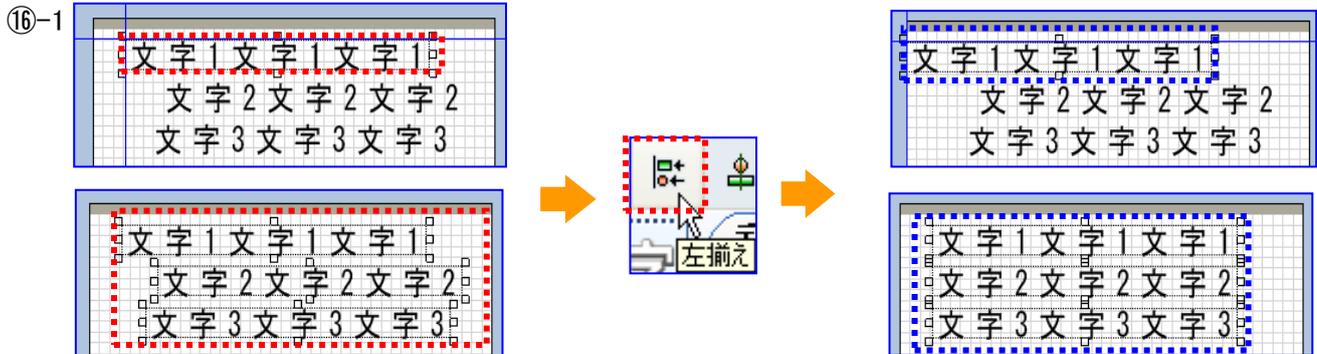
※共有ナンバーリング設定を使用にチェックしないと、このレイアウトにだけナンバーリングが適用されます。

11-⑯ データの左右方向揃え【縦軸】



データ左右方向揃え【縦軸】（データを指定すると有効となります。）
データを指定して、左右方向揃えアイコンをクリックします。
※1データを選択した場合の左・右揃えは、それぞれラベルの左・右となります。
※複数データを選択した場合は、選択された一番左・右寄りのデータに揃えます。
複数データを選択するには、Ctrlキーを押したまま項目を指定します。

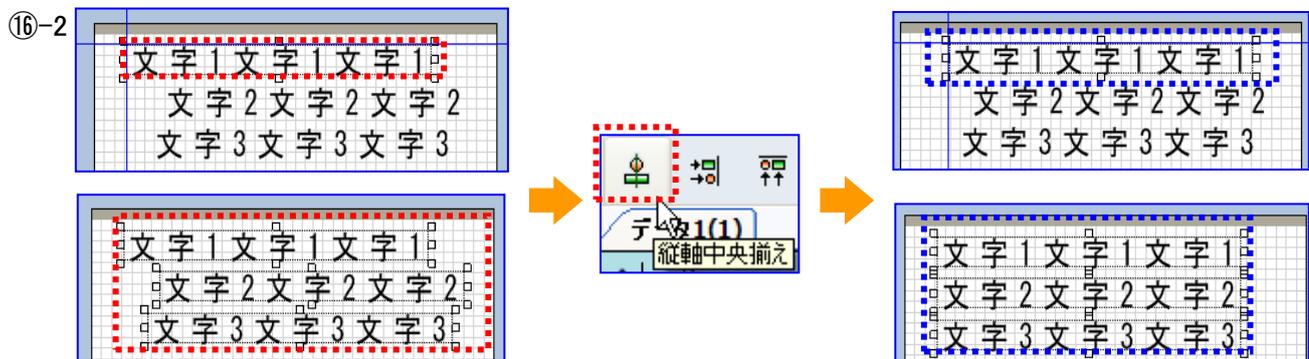
11-⑯-1 データ左揃え



⑯-1 データ左揃え【縦軸】（データを指定すると有効となります。）

1データを指定して、左揃えアイコンをクリックします。
※1データを選択した場合はラベルの左となります。
※複数データを選択した場合は選択された一番左寄りのデータに揃えます。
※複数データを一括で左揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

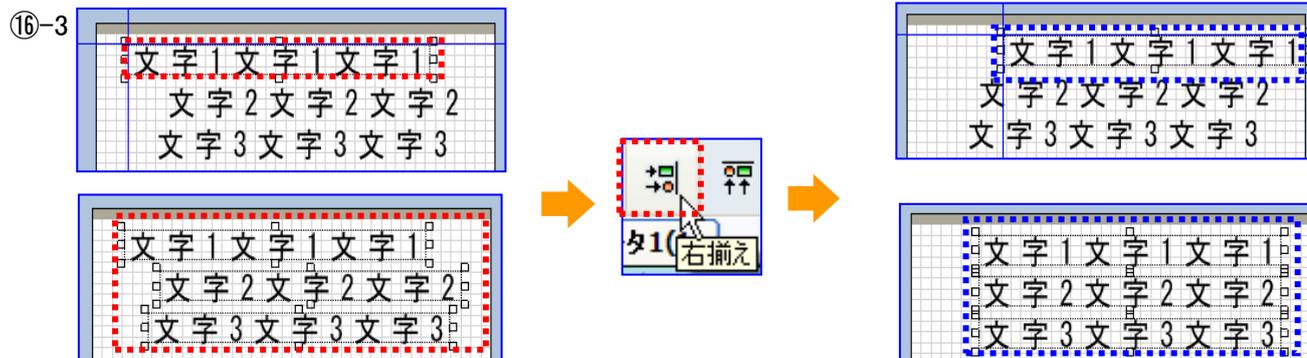
11-⑯-2 データ中央揃え



⑯-2 データ中央揃え【縦軸】（データを指定すると有効となります。）

1データを指定して、縦軸中央揃えアイコンをクリックします。
※1データを選択した場合はラベルの左となります。
※複数データを選択した場合は選択された一番大きい幅のデータの中央軸に揃えます。
データサイズが同一の場合は最初に作成されたデータに揃えます。
項目一覧のデータ項目の先頭に合わせて揃えます。
※複数データを一括で中央揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

11-⑩-3 データ右揃え



⑩-3 データ右揃え【縦軸】（データを指定すると有効となります。）

1 データを指定して、右揃えアイコンをクリックします。

※1 データを選択した場合はラベルの右となります。

※複数データを選択した場合は選択された一番右寄りのデータに揃えます。

※複数データを一括で右揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

11-⑰ データの上下方向揃え【横軸】



⑰ データ上下方向揃え【横軸】（データを指定すると有効となります。）

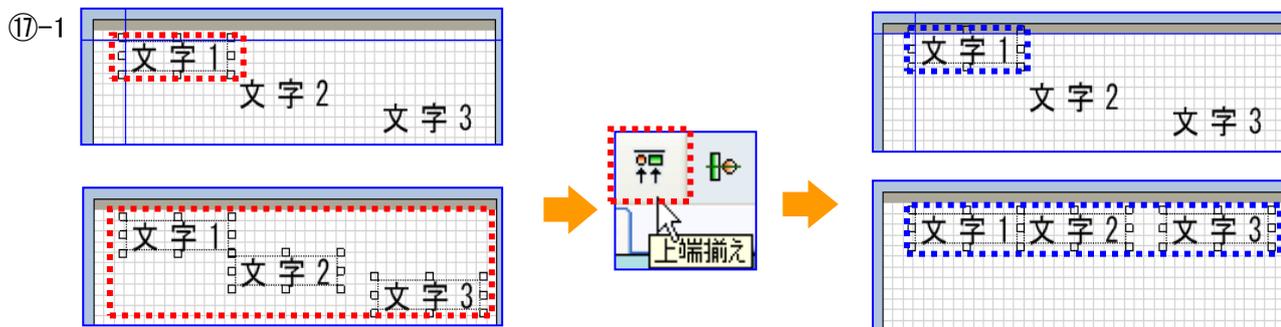
データを指定して、上下方向揃えアイコンをクリックします。

※1 データを選択した場合はラベルの上端・下端揃えは、それぞれラベルの上端・下端となります。

※複数データを選択した場合は、選択された一番上・下・中央寄りのデータに揃えます。

複数データを選択するには、Ctrlキーを押したまま項目を指定します。

11-⑰-1 データ上端揃え



⑰-1 データ上端揃え【横軸】（データを指定すると有効となります。）

1 データを指定して、上端揃えアイコンをクリックします。

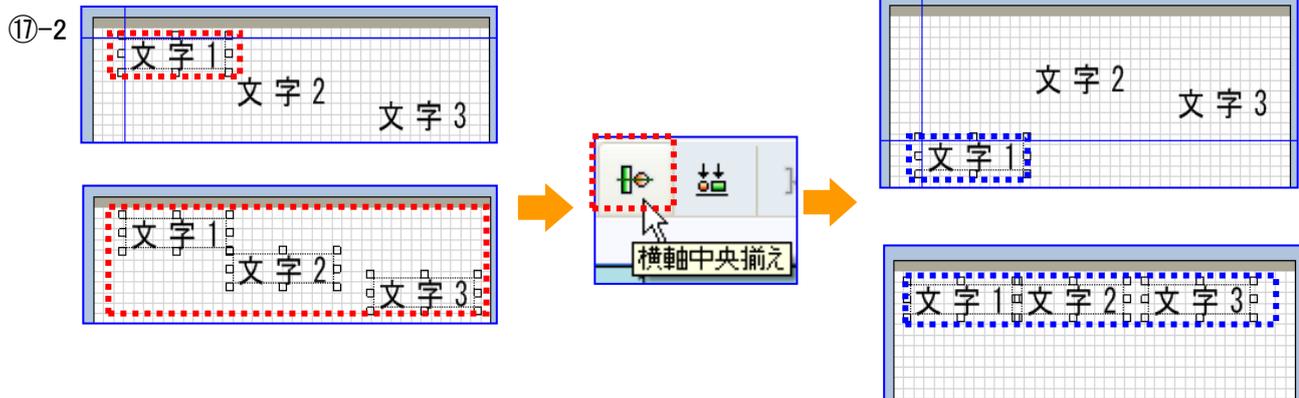
※1 データを選択した場合はラベルの上端となります。

※複数データを選択した場合は選択された一番上寄りのデータに揃えます。

※複数データを一括で左揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

●複数データの場合はデータの配置により重複しますのでデータ内容によりご利用下さい。

11-⑰-2 データ中央揃え



⑰-2 データ中央端揃え【横軸】（データを指定すると有効となります。）

1データを指定して、横軸中央揃えアイコンをクリックします。

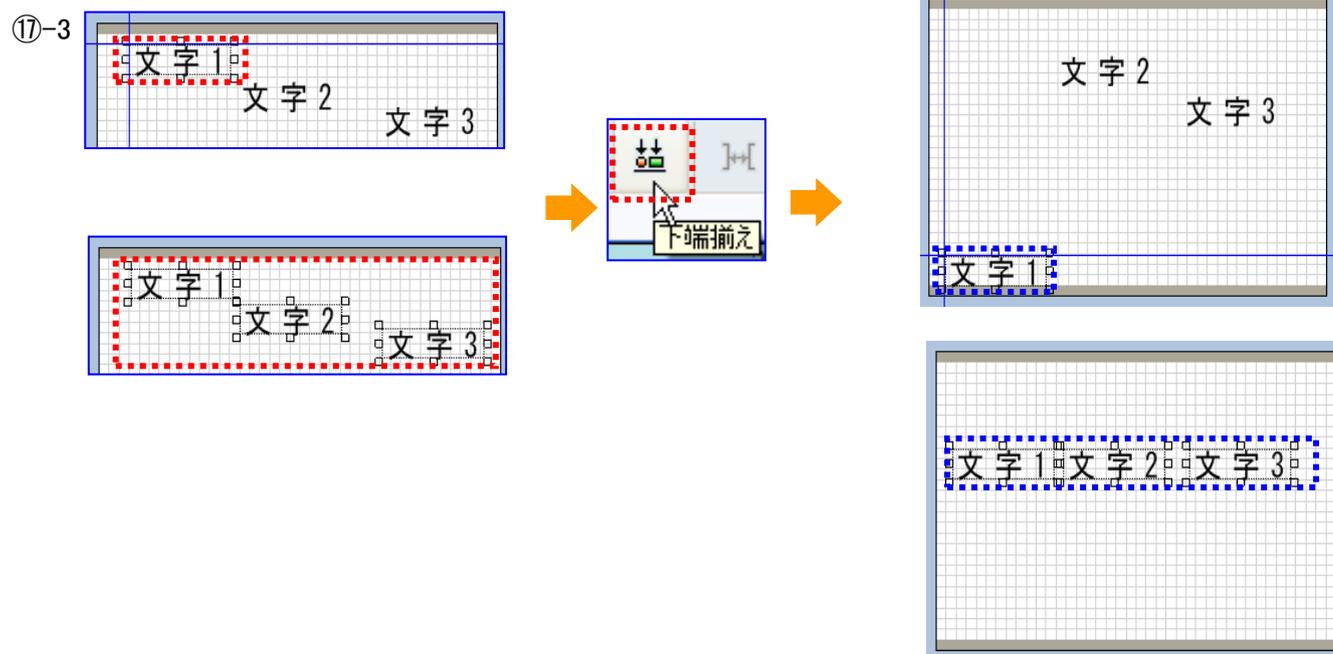
※1データを選択した場合はラベルの上下中央となります。

※複数データを選択した場合は、項目一覧中の最上部に表示されたデータの位置に揃えます。【項目中のxxx 1】

※複数データを一括で中央揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

●複数データの場合はデータの配置により重複しますのでデータ内容によりご利用下さい。

11-⑰-3 データ下端揃え



⑰-3 データ下端揃え【横軸】（データを指定すると有効となります。）

1データを指定して、下端揃えアイコンをクリックします。

※1データを選択した場合はラベルの下端揃えとなります。

※複数データを選択した場合は選択された一番下端し寄りのデータに揃えます。

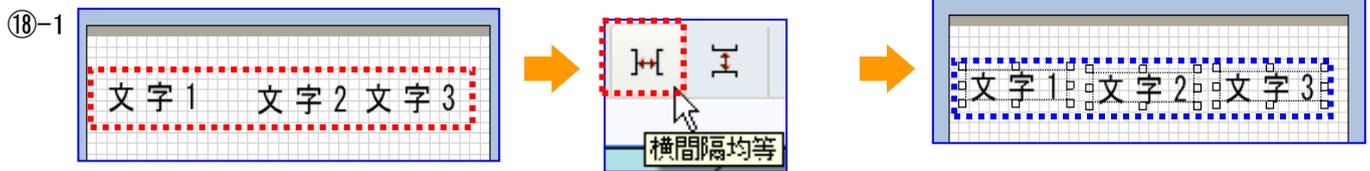
※複数データを一括で下端揃えする場合はCtrlキーを押したままデータを指定します。

●複数データの場合はデータの配置により重複しますのでデータ内容によりご利用下さい。

11-⑩ データ間、横・縦の間隔の均等【3データ以上選択時】

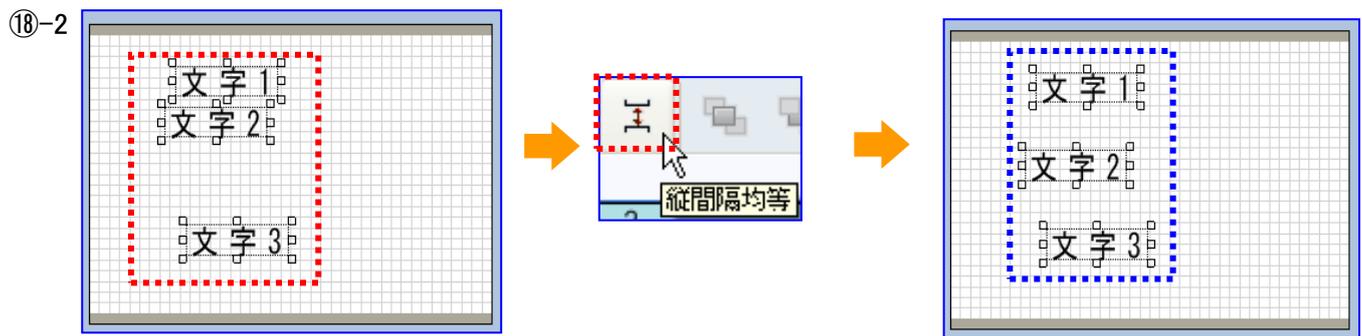
- ⑩ データとデータの間隔均等（3データ以上を指定すると有効となります。）
3つ以上のデータを指定して、横・縦いずれかのアイコンをクリックします。
※横間隔均等は並列のデータのデータ間隔を均等にします。
※縦間隔均等は縦の並びのデータ間隔を均等にします。
複数データを選択するには、Ctrlキーを押したまま項目を指定します。
●選択されたデータ項目が均等にできる場合のみ実線となり、データ項目間隔を均等にできます。

11-⑩-1 データ間の横間隔均等



- ⑩-1 データ間の横間隔均等（3つ以上のデータを指定すると有効となります。）
データを指定して、横間隔均等アイコンをクリックします。
※データ項目間に、横間隔がある場合に有効となり間隔を均等にします。
※複数データを選択するにはCtrlキーを押したままデータを指定します。
●選択された、それぞれのデータの座標位置によっては横間隔均等にできない場合があります。

11-⑩-2 データ間の縦間隔均等



- ⑩-2 データ間の縦間隔均等（3つ以上のデータを指定すると有効となります。）
データを指定して、縦間隔均等アイコンをクリックします。
※データ項目間に、縦間隔がある場合に有効となり間隔を均等にします。
※複数データを選択するにはCtrlキーを押したままデータを指定します。
●選択された、それぞれのデータの座標位置によっては縦間隔均等にできない場合があります。

11-19 データの順序



⑱ データの順序 (最前面・最背面・前面・背面)

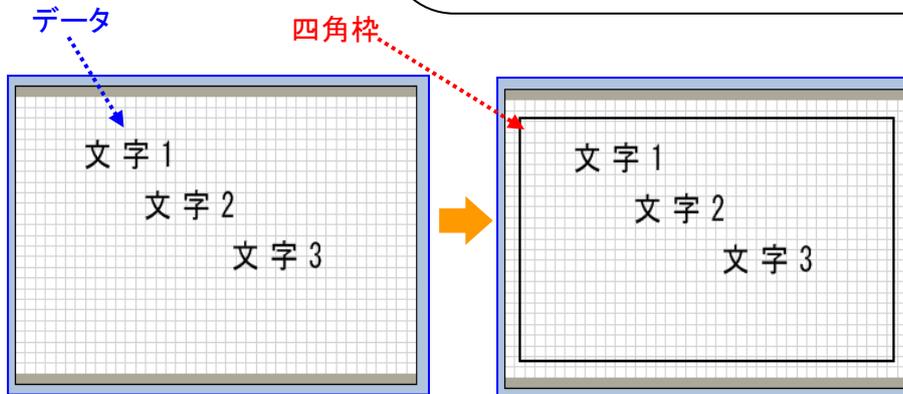
(データを指定すると有効となります。)

新規データは常に最前面に配置されます。

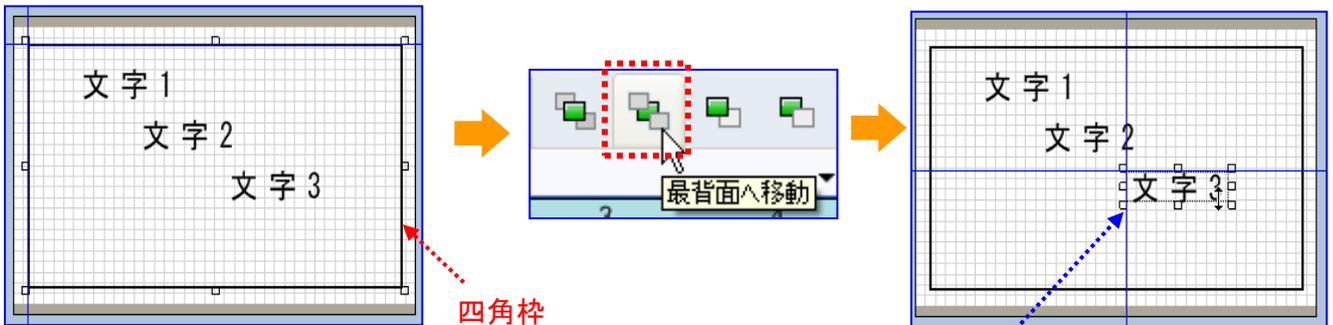
重なった背面のデータを指定する場合は前面のデータを背面(最背面)に変更して下さい。

※データを作り後から四角枠を設定したような場合には、四角枠が最前面となりデータを指定することができなくなります。

このような場合に四角枠をクリックし最背面に移動する事で、先に作成したデータを指定することができます。

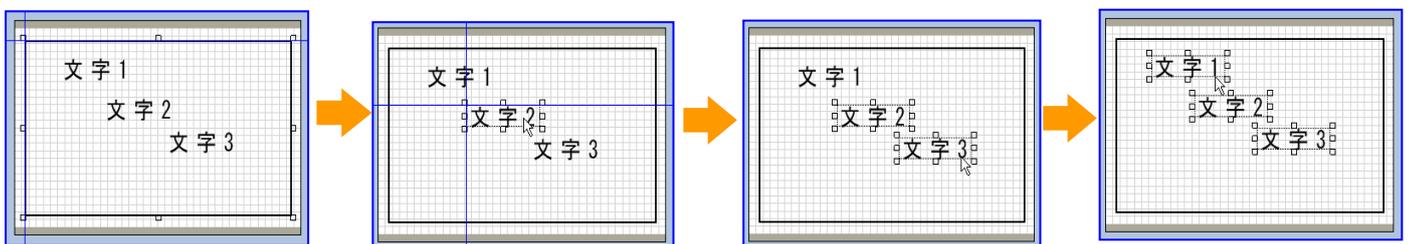
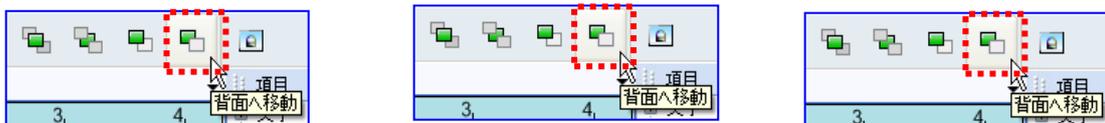


⑱ データ作成後、四角枠を設定すると四角枠が最前面になり、データを指定できなくなります。



⑱-1 四角枠をクリックし、最背面へ移動アイコンをクリックするとデータが最前面となり指定する事ができます。

⑱-2 四角枠をクリックし、背面へ移動アイコンをクリックするごとに四角枠の順序は下となりデータが1件づつ前面になります。



11-⑳ 選択データのロック(移動禁止)



- ⑳ 選択データのロック(移動禁止) (データを指定すると有効となります。)
 ロック(移動禁止)したいデータを指定して、ロックアイコンをクリックします。
 指定されたデータはロックされ移動ができなくなります。
 ※データの配置が決まり、データ位置を移動させたくない場合に使用します。
 メニューバー【編集】→【ロック】をクリックしても同様の操作が出来ます。
 ※複数データを選択するには、Ctrlキーを押したままデータを指定します。
 ※全データをロックするには、メニューバー【編集】→【すべて選択】をクリック、
 または、ラベルイメージ上で右クリック→【すべて選択】をクリックし、すべて
 選択された後にロックアイコンをクリックします。



- ⑳ 2行目の日付・時刻データをロックする場合
 日付データと時刻データの複数となります。
 Ctrlキーを押しながら日付データ、時刻データを
 クリックします。



- ⑳ 指定した日付・時刻データが選択されました。



- ⑳ ロックアイコンをクリックします。



- ⑳ ロックされていないデータをクリックすると、
 ロックアイコンの表示は初期のままとなります。



- ⑳ ロックされたデータをクリックすると
 ロックアイコンの背景が白く表示されロック
 されていることが判ります。

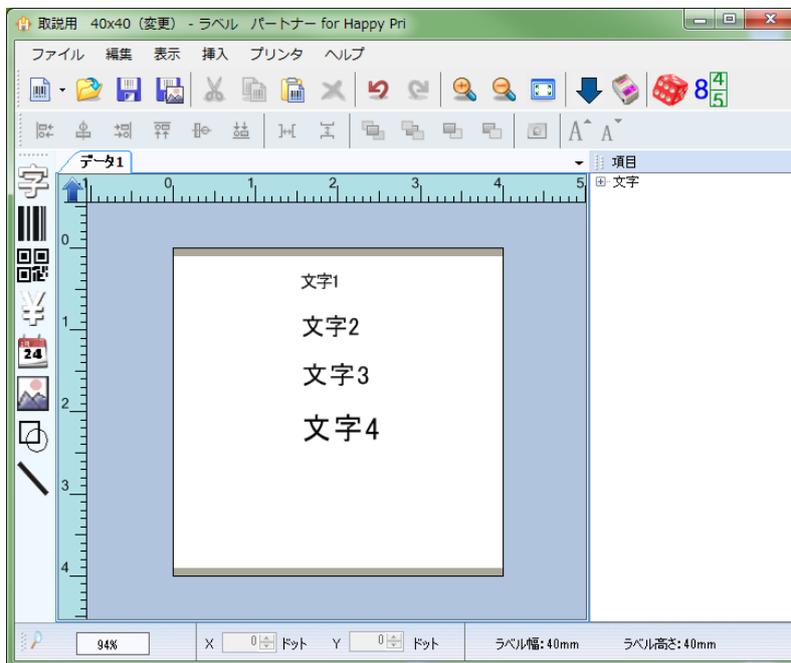


21-1 フォントサイズ拡大・フォントサイズ縮小

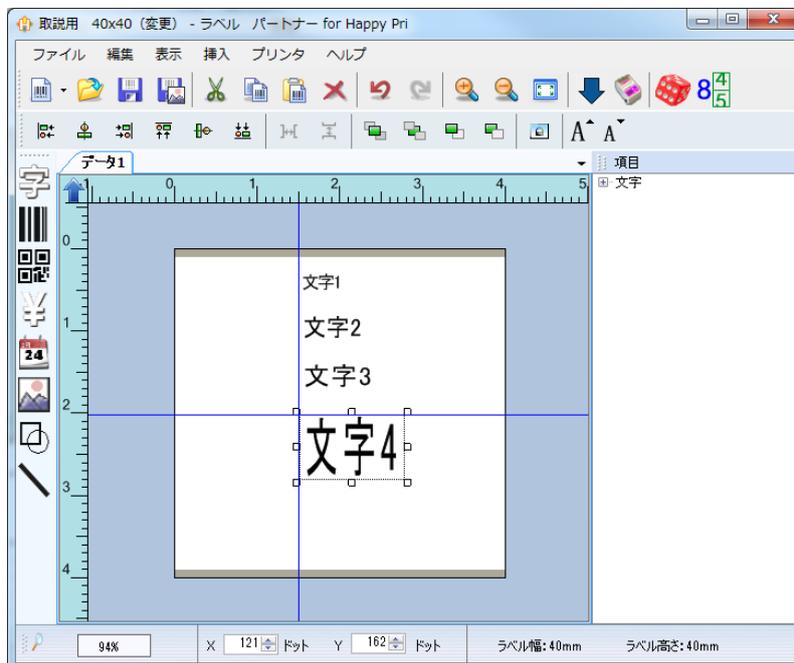
データ作成・編集エリアにレイアウトした文字項目、価格項目、日付と時刻項目のフォントを拡大・縮小することができます。

※バーコード、二次元バーコード、イメージ、四角、直線、斜線などの項目を拡大・縮小することはできません。

各項目のプロパティのフォントサイズ枠でも変更することができます。

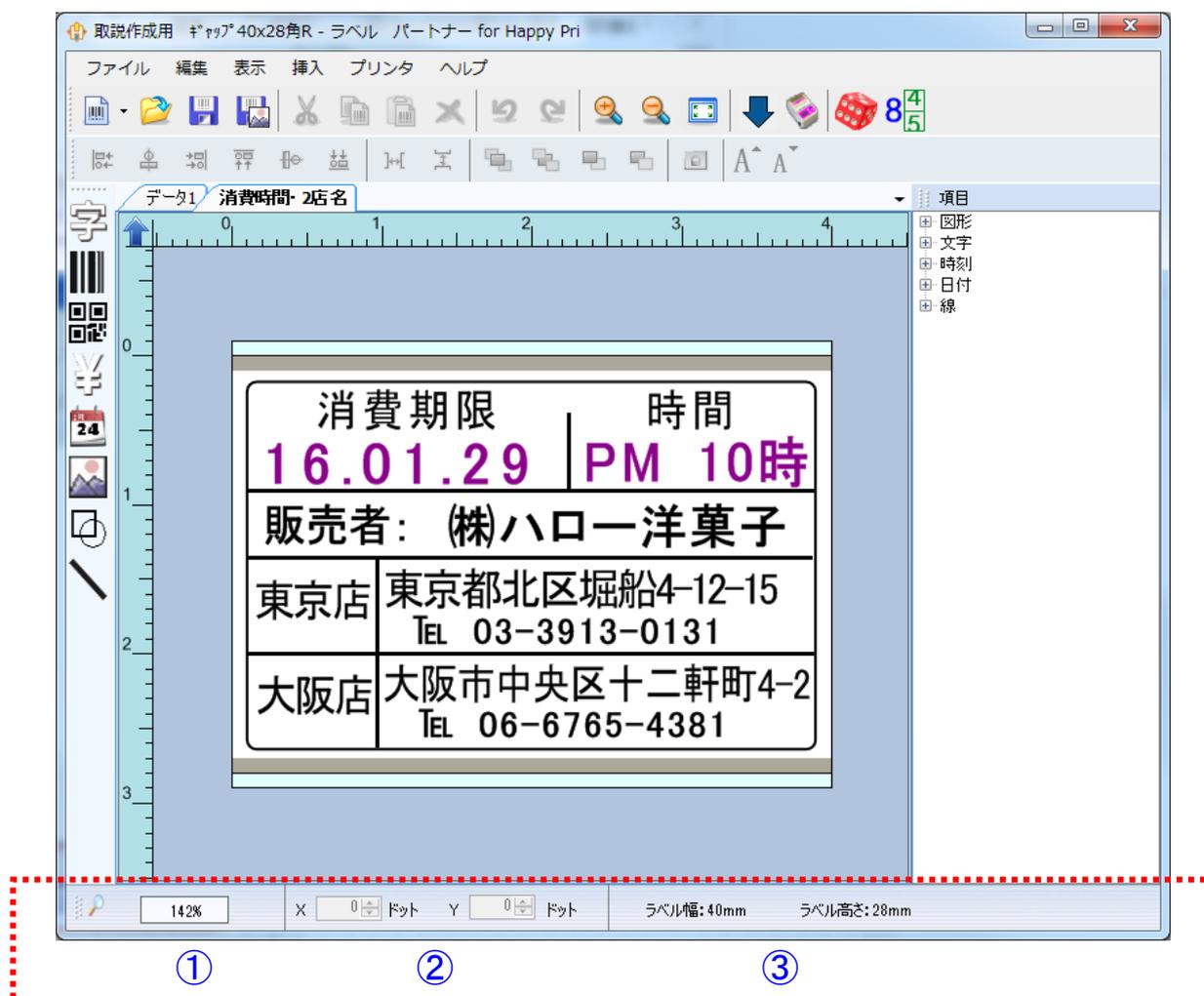


「shift」キーを押しながら文字項目などの枠を拡大縮小するとフォントサイズも自動的に変化します。



12、スケールバー

データ作成・編集エリアに表示されているラベルイメージの表示倍率(サイズ)、各データの座標位置、設定(表示)されているラベルのサイズを表示します。



① ラベルイメージの表示倍率

データ作成・編集エリアに表示されているラベルイメージの表示倍率となります。
前項6-⑨ラベルイメージ表示の拡大、縮小を参照下さい。

② データの座標位置

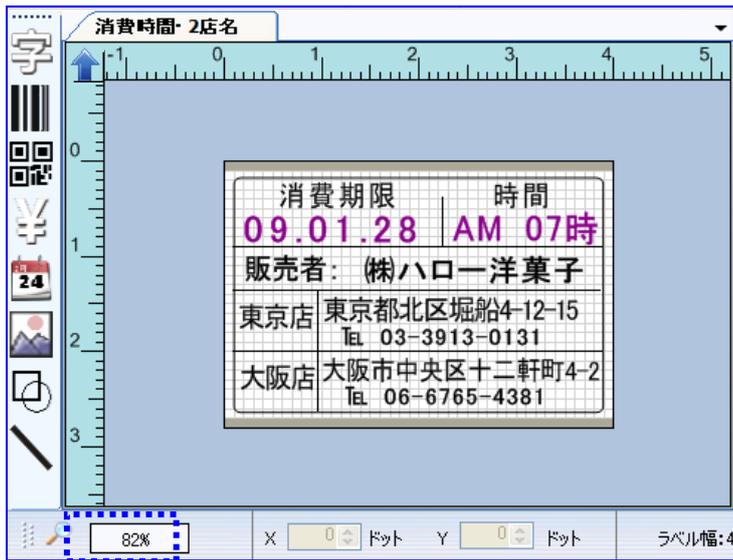
作成・編集エリアに表示されているデータを指定(クリック)すると指定されたデータの座標位置が表示されます。

上下、左右の位置調整などに数字を見ながら調整する事ができます。

※移動するにはデータをクリックしてドラッグ、微調整には座標窓の△▽ボタンをクリック、またはパソコンのキーボードの↑↓←→キーを使用する事ができます。

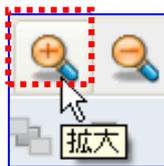
③ データ作成・編集エリアに表示されているラベルのサイズが表示されます。

12-① 表示倍率

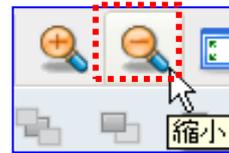


① ラベルイメージの表示倍率
表示倍率を拡大

現在の表示は82%



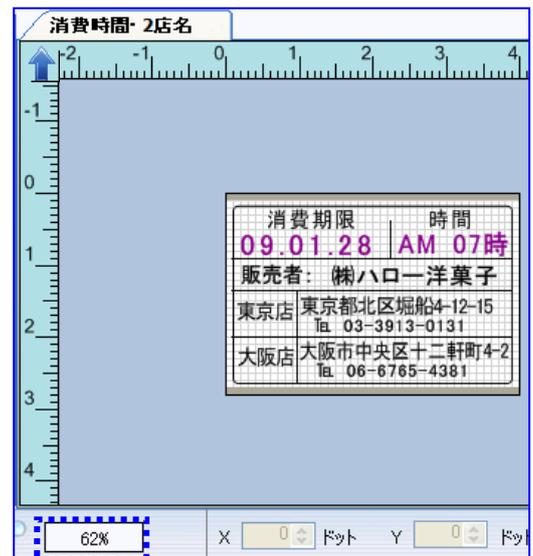
① 拡大アイコンをクリックします。
クリックするごとに拡大します。



① 縮小アイコンをクリックします。
クリックするごとに縮小します。

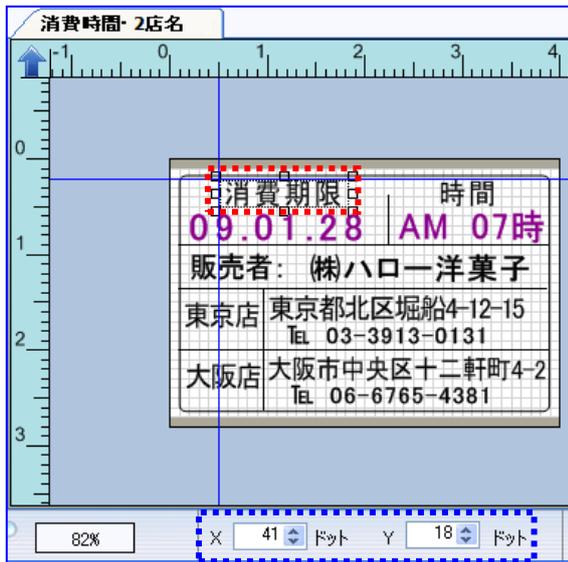


102% になりました。



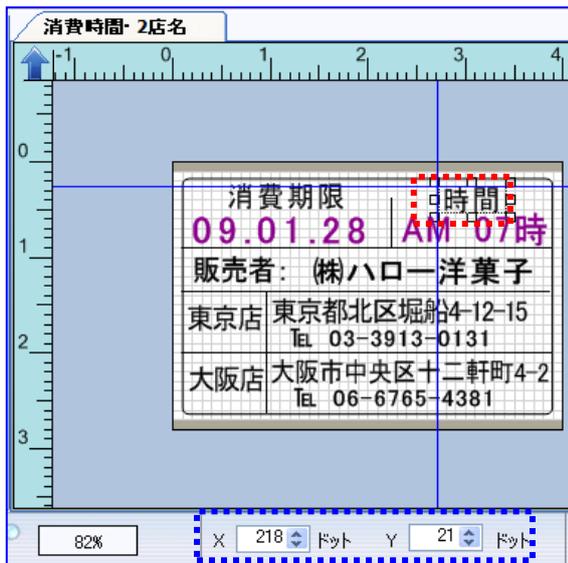
62% になりました。

12-② データの座標位置



- ② 選択されたデータの座標位置
作成・編集エリアに表示されている
データを指定(クリック)するとこの
データの座標が表示されます。

微調整をするにはパソコンのキーボードの
↑ ↓ ← → キーで1ドット単位で移動する事が
できます。



- ② 消費期限のデータと、時間のデータのY座標
位置が異なるので消費期限と時間は、上下
位置が異なっている事がわかります。
どちらかのデータのY座標位置に揃えると
ラベル上部からの高さが揃います。

X はラベル左端からデータの開始位置
までの距離(ドット)となります。

Y はラベル上端(上1mmを除いた)からの
データの上部までの距離(ドット)となります。

